

Dulight Spacious 組立作業手順書		
文書番号	NEMSAS DS211	Rev. 002A

## 組立作業手順書

*Dulight*<sup>®</sup>  
デュライト スペース  
**Spacious**

型式  
NER-DS2.1 片側仕様

承認	確認	作成
竹山	丸山	伊藤
2025. 03. 27	2025. 03. 27	2025. 03. 27

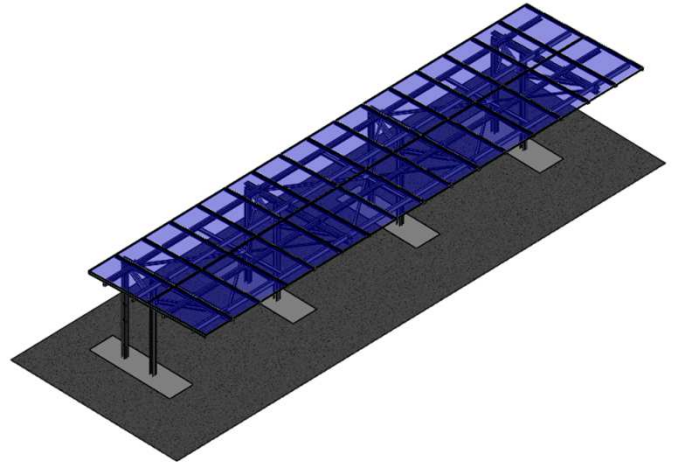
## 履 歴

改定	日付	内 容	担当	承認
001A	2024. 09. 16	初版発行	二田	竹山
002A	2025. 03. 27	D-Lock締付トルク値変更 ・ M8xL20、M8xL30 : 12 [N・m] (6~20 [N・m]) → 16 [N・m] (13~19 [N・m]) ・ M12xL45 : 42 [N・m] (33~60 [N・m]) → 56 [N・m] (48~64 [N・m]) 横樋取付金具、減勢アングル締付トルク値変更 ・ 12 [N・m] (6~20 [N・m]) → 12 [N・m] (9~20 [N・m])	伊藤	竹山

# 目 次

1. 架台の外観	1
2. パーツリスト	2
3. 柱の設置	5
3-1. 杭ベースの設置	6
3-2. 柱の組立て	8
3-2-1. 前柱部の組立て	8
3-2-2. 後柱部の組立て	9
3-3. 柱の設置	10
3-3-1. 前柱部と後柱部の設置	10
3-3-2. 斜材後の取付け	11
3-3-3. 柱部の仮固定及びコンクリート打設	12
3-3-4. 登り梁の組立て	13
3-3-5. 登り梁の取付け	14
3-3-6. 斜材前の取付け	15
4. 母屋の取付け	16
4-1. 母屋の配置	16
4-2. 母屋の取付け	17
5. 垂木の取付け	18
6. 屋根ブレースの取付け	19
7. 太陽電池モジュールの取付け	21
7-1. 1段目太陽電池モジュールの取付け	21
7-2. 2段目太陽電池モジュールの取付け	25
8. 雨樋取付金具の取付け	26
8-1. 横樋吊具の仮止め	26
8-2. 横樋取付金具の取付け	27
8-3. 減勢アングルの取付け	28
8-4. 横樋の取付け	29
8-4-1. 横樋の取付け	29
8-4-2. 集水器の取付け	29
8-5. 縦樋取付金具の取付け	30
9. 照明取付金具の取付け	31
9-1. 照明の仮固定	31
9-2. 照明取付け推奨位置	32
9-3. 照明の取付け	33
10. カーポート用ラベルシールの貼付け	34


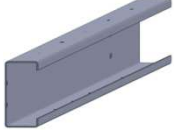
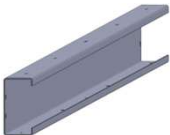
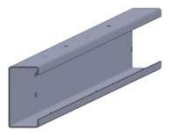
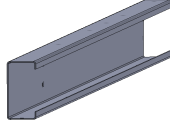
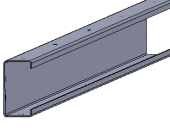
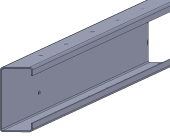
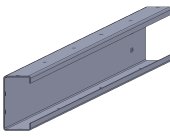
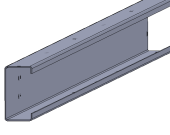
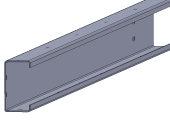
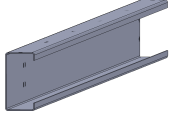
# 1. 架台の外観

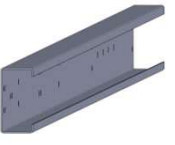

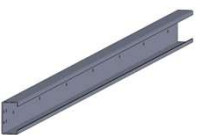
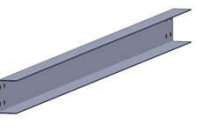
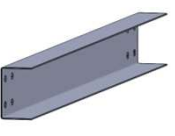

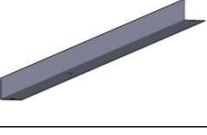
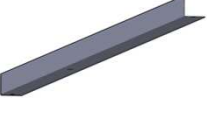


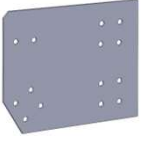


※. 図は太陽電池モジュールを透明化して示しています。



## 2. パーツリスト 架台本体部材

符号	部材番号 部材名称	外観
①	SAN-F1STA-002 垂木 C-60x30x10x1.6 (L=4945)	
②-1	SAN-F1SMA-002 母屋A C-150x75x20x3.2 (L=6618)	
②-2	SAN-F1SMB-002 母屋B C-150x75x20x3.2 (L=5190)	
②-3	SAN-F1SMC-002 母屋C C-150x75x20x3.2 (L=6618)	
②-4	SAN-F1SMD-002 母屋D C-150x75x20x3.2 (L=6718)	
②-5	SAN-F1SME-002 母屋E C-150x75x20x3.2 (L=4990)	
②-6	SAN-F1SMF-002 母屋F C-150x75x20x3.2 (L=6718)	
②-7	SAN-F1SMG-002 母屋G C-150x75x20x3.2 (L=5756)	
②-8	SAN-F1SMH-002 母屋H C-150x75x20x3.2 (L=5756)	
②-9	SAN-F1SMJ-002 母屋J C-150x75x20x3.2 (L=5756)	
②-10	SAN-F1SMK-002 母屋K C-150x75x20x3.2 (L=5756)	

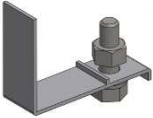




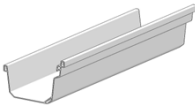
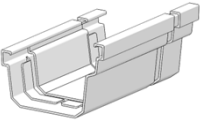
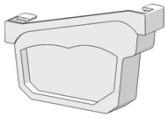
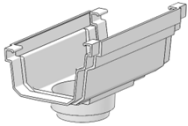


符号	部材番号 部材名称	外観
③-1	SAN-F1SNA-002 登り梁S C-150x75x20x3.2 (L=4428.5)	
④-1	KUI-F1S01-002 柱SF C-150x75x20x3.2 (L=3686)	
④-2	KUI-F1S02-002 柱SR C-150x75x20x3.2 (L=3623.5)	
⑤-1	BRA-F1S01-002 斜材SDF C-100x60x2.3 (L=2040)	
⑤-2	BRA-F1S02-002 斜材SR C-100x60x2.3 (L=1001)	
⑦	KNG-F1SCA-002 母屋繋ぎ C-100x60x2.3 (L=3755)	
⑧-1	BRA-F1S03-002 屋根ブレースA L-60x60x2.3 (L=3015.5)	
⑧-2	BRA-F1S04-002 屋根ブレースB L-60x60x2.3 (L=2936)	
⑨	KNG-F1SBA-002 屋根面プレート PL-t3.2	
⑩-1	KNG-F1SBB-002 ガセットプレート (柱頭) SDF PL-t4.5	
⑩-2	KNG-F1SBC-002 ガセットプレート (柱頭) SR PL-t4.5	


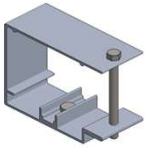

## 2. パーツリスト 架台本体部材

符号	部材番号 部材名称	外観
12-1	KNG-F1SBD-002 ガセットプレート (中間) S PL-t4.5	
13-1	KNG-F1SBE-002 ガセットプレート (先端) SA PL-t4.5	
13-2	KNG-F1SBF-002 ガセットプレート (先端) SB PL-t4.5	
14-1	KNG-F1SAA-002 母屋受金具A PL-t4.5	
14-2	KNG-F1SAB-002 母屋受金具B PL-t4.5	
15	KNG-AORAF-001 隙間樋 (アルマイト処理無) (L=4940)	
16	KNG-A1RAJ-001 端部樋30 (アルマイト処理有) (L=4940)	
17	KNG-AORAP-001 レインモール PB30 (1134) (アルマイト処理無)	
18	KNG-A0SPF-001 スペーサーS (アルマイト処理無)	
19-1	KNG-F1SBG-002 柱スペーサA PL-t4.5	
19-2	KNG-A1SBA-001 柱スペーサB (アルマイト処理有)	

符号	部材番号 部材名称	外観
20	KNG-F1BAF-001 杭ベース	
21	KNG-SOEPK-001 アースプレートP	
D1	PUR-F1BTC-001 D-Lock M8xL20 (ボルト-ナット)	
D2	PUR-F1BTC-002 D-Lock M8xL30 (全ネジ) (ボルト-ナット)	
D3	PUR-F1BTB-001 D-Lock M12xL45 (全ネジ) (ボルト-ナット)	

## 2. パーツリスト 付属品部材

符号	部材番号 部材名称	外観
R1	PRA-LC8AB-0A1 減勢アングル ブリアセンブル	
R3	PRA-LC8AA-0A2 横樋取付金具B2 ブリアセンブル	
R4	KNG-AONTM-001 板ナット	
R5	PUR-S0BTE-001 六角フランジボルト M4xL15 (セレーション無)	
R6	PUR-COAME-001 135603 APCFR10-30 (横樋吊具)	
R8	PUR-ROAMA-001 103244 カクノキトイTRU (横樋)	
R10	PUR-ROAMB-007 053242 Aカクシンシクツギ	
R12	PUR-ROAMB-002 050241 Aカクトマリ	
R14	PUR-ROAMB-003 062343 AカクシュスイマルN	
R16	PUR-ROAMD-002 020541 Aエルボ(φ60)	
R18	PUR-ROAMC-001 110242 タテトイ(縦樋φ60)	

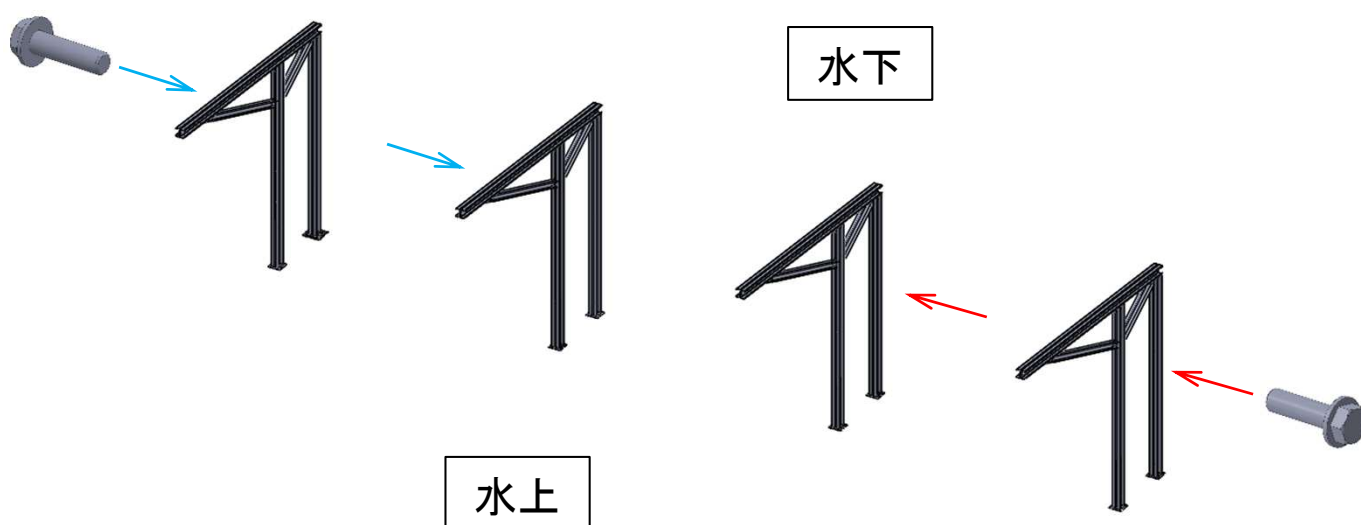
符号	部材番号 部材名称	外観
R20	PUR-F1AME-001 AA6233360 キャッチャーT字 デンデン(φ60) (縦樋控具φ60)	
R22	PUR-ROAMD-001 025744 Aタテツギ(φ60)	
R23	KNG-AOBAQ-001 縦樋取付金具S2	
R24	HDS-S0S42-025 タッピングビス ST4. 2xL25	
L1	PRA-LCEAB-0A1 照明取付金具S2 ブリアセンブル	
K	カーポート用 ラベルシール	

### 3. 柱の設置

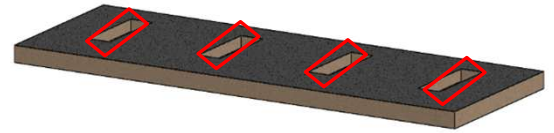
#### ボルトの向きについて

各柱部(柱及び登り梁、ガセットプレート)のボルトの向きは、  
下図のように行います。

※. 逆向きでも性能に支障をきたすことはありません。

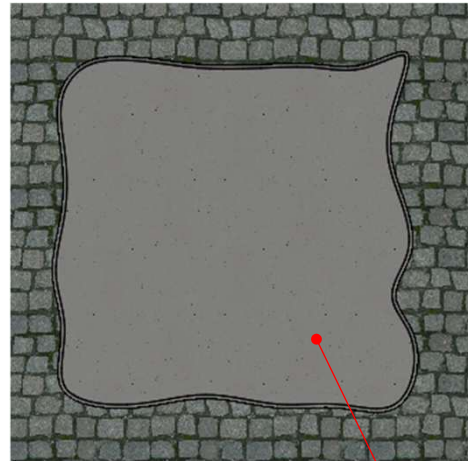
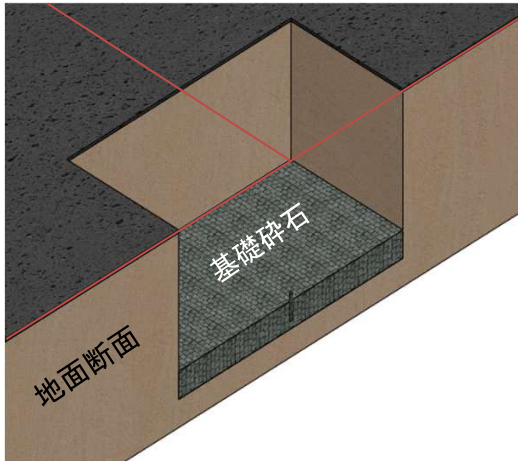






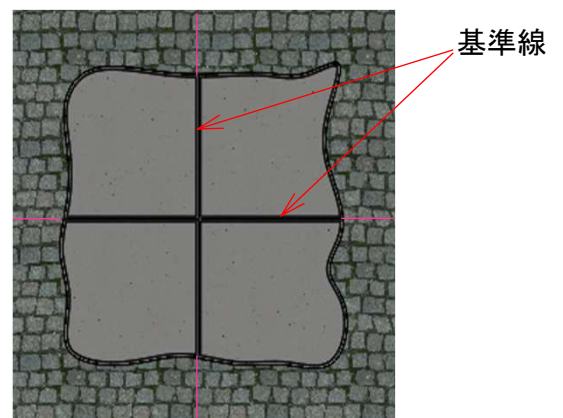
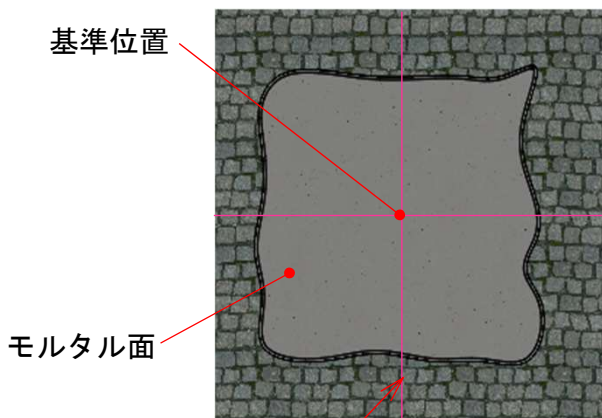
### 3-1. 杭ベースの設置

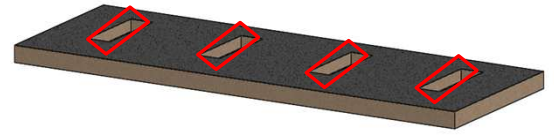
- 1). 柱設置個所の地面を所定の深さまで掘削した後、基準位置を中心として縦横幅300mm程度のモルタル面を作成します。



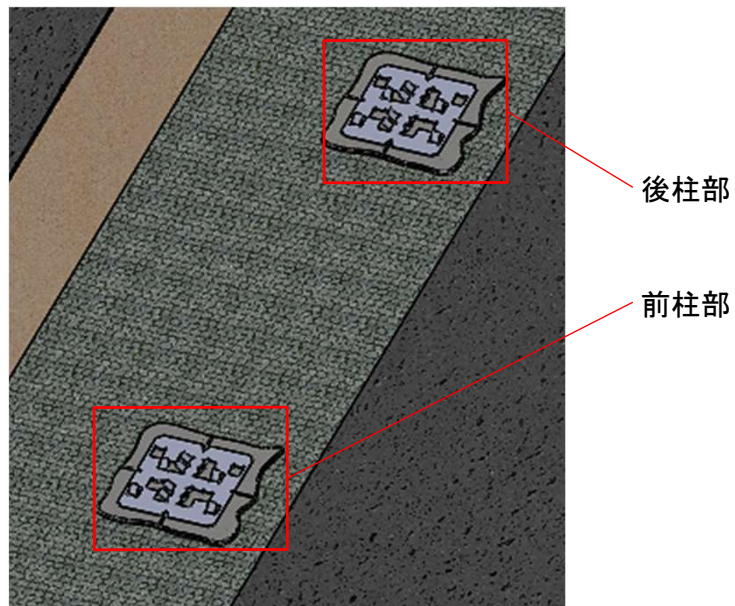
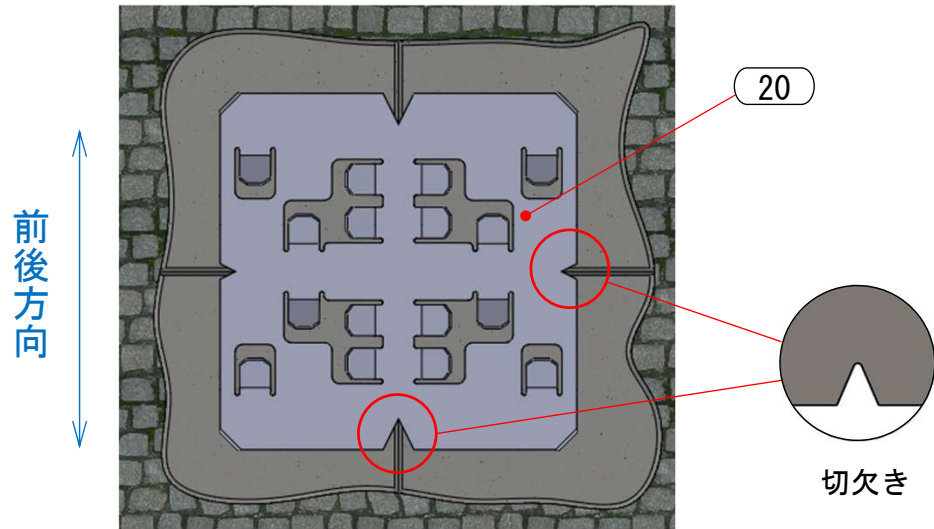
モルタル面

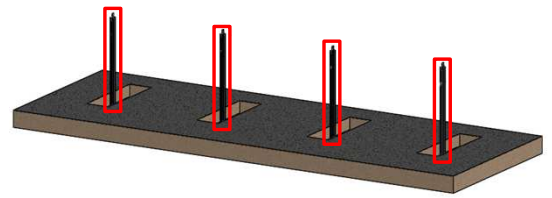
- 2). 基準位置に合わせて、モルタル面に基準線を入れます。





- 3). 杭ベースの切欠きをモルタル面の基準線に合わせて、水平を出しながら設置します。  
※. 杭ベースの向きに注意してください。

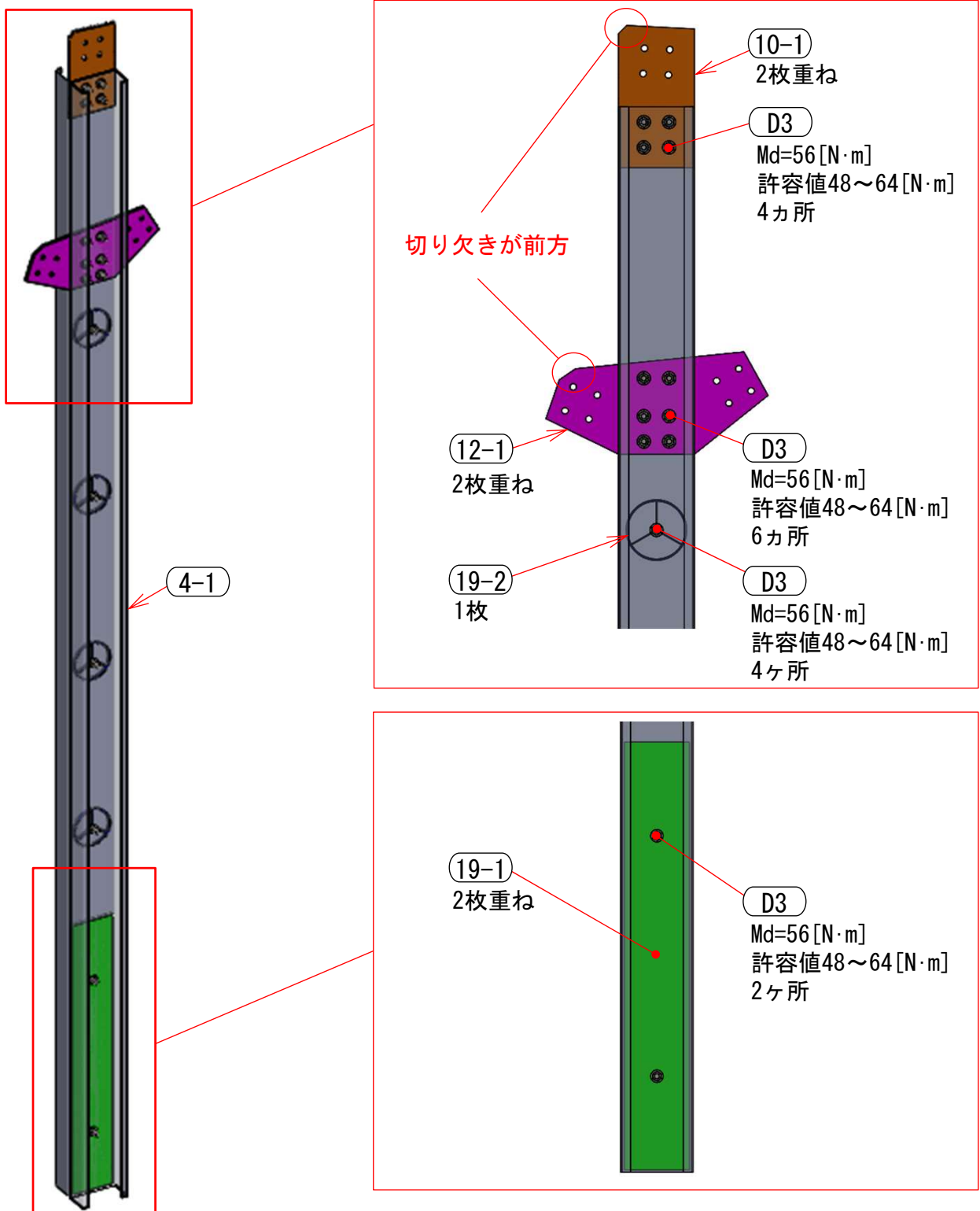




## 3-2. 柱の組立て

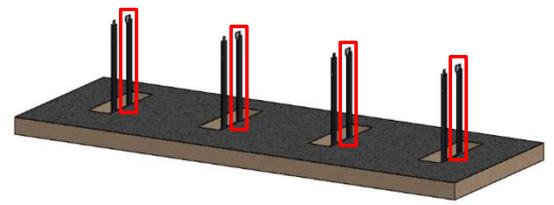
### 3-2-1. 前柱部の組立て

下図のように、2本背合せで構成される柱SFの間に、柱スペーサA、柱スペーサB、ガセットプレート(中間)S、ガセットプレート(柱頭)SDFをD-Lockボルト(M12xL45)で取付けて、トルクMd=56[N・m] (許容値48~64[N・m])※<sup>1</sup>で締付けます。



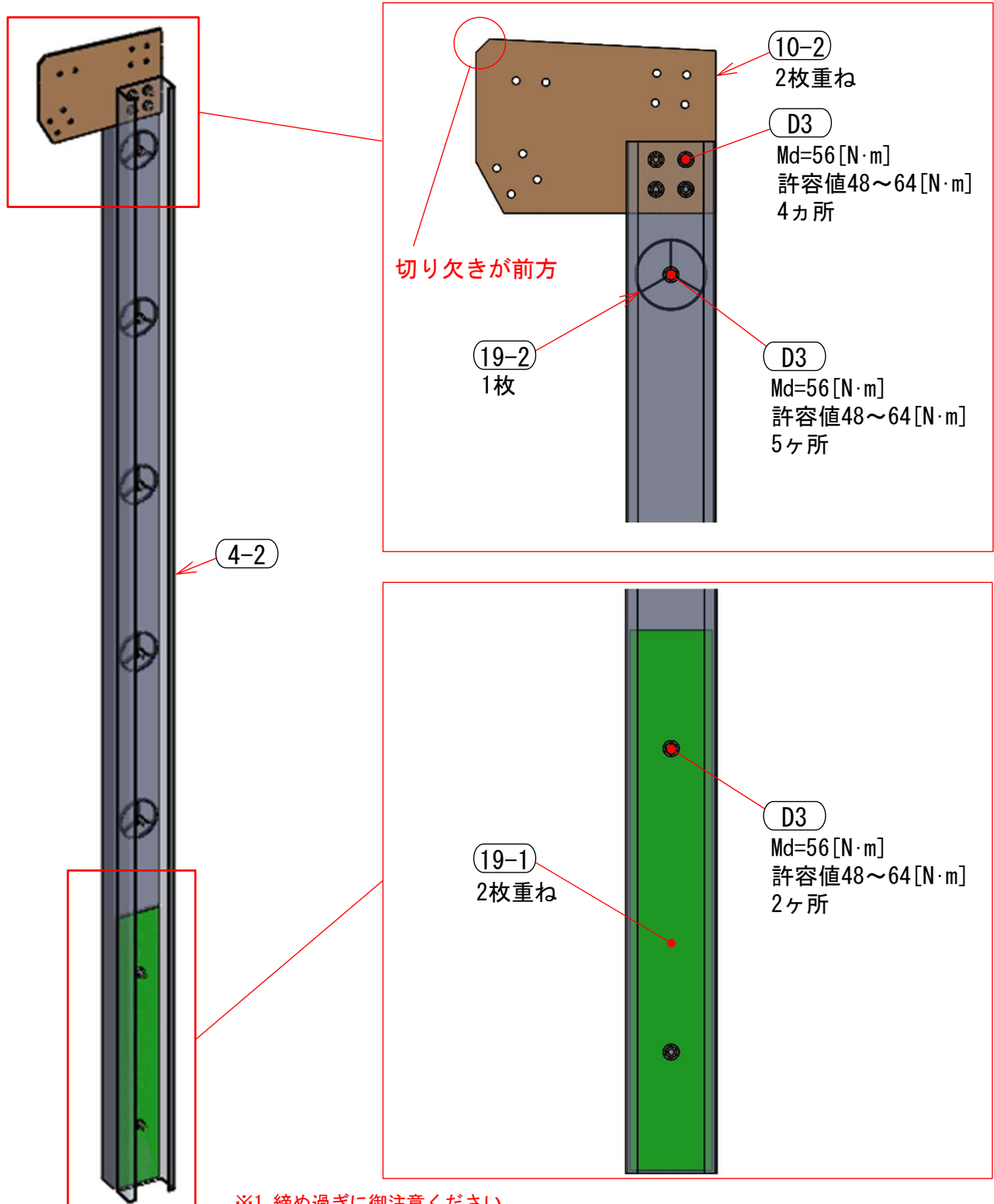
※1. 締め過ぎに御注意ください。

※2. 部材メッキ層に傷がついた場合には、次工程に移る前にローバル等により補修してください。



### 3-2-2. 後柱部の組立て

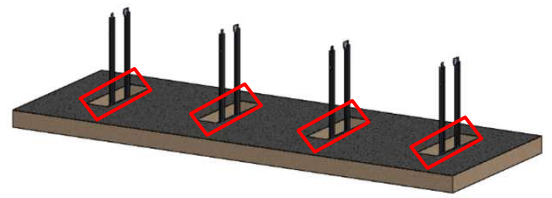
下図のように、2本背合せで構成される柱SRの間に、柱スペーサA、柱スペーサB、ガゼットプレート(柱頭)SRをD-Lockボルト(M12xL45)で取付けて、トルクMd=56[N・m] (許容値48~64[N・m])<sup>※1</sup>で締付けます。



※1. 締め過ぎに御注意ください。

※2. 部材メッキ層に傷がついた場合には、次工程に移る前にローバル等により補修してください。

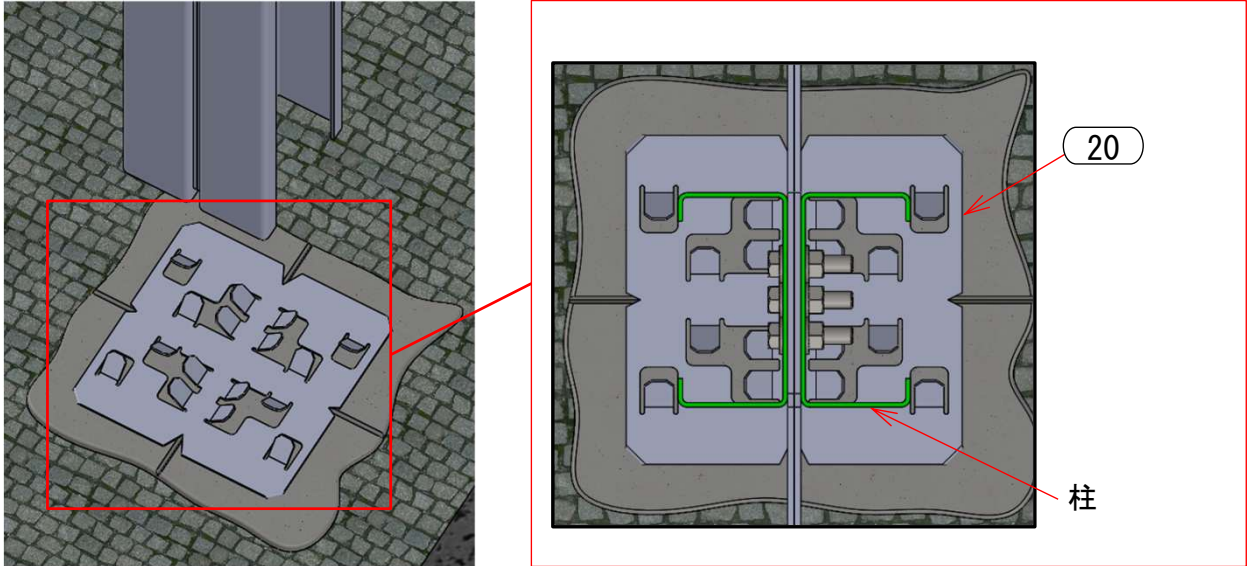




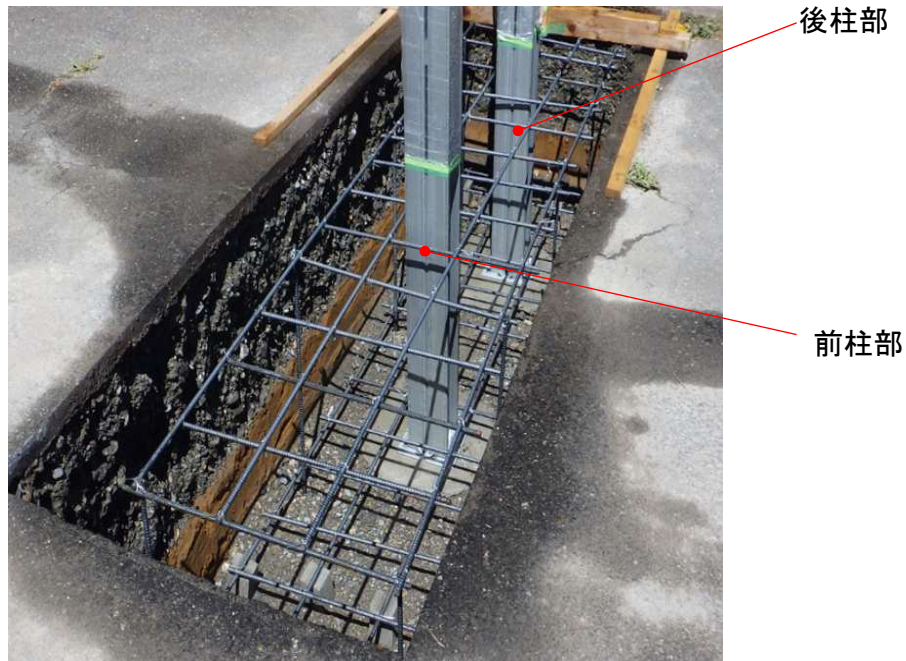
### 3-3. 柱の設置

#### 3-3-1. 前柱部と後柱部の設置

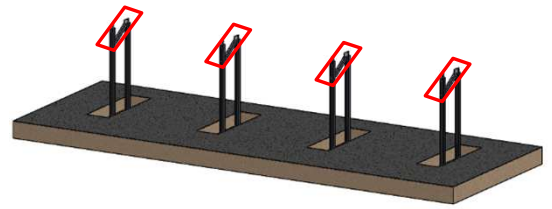
- 1). モルタル面が固まったことを確認し、下図のように前柱部と後柱部をそれぞれ杭ベースに載せます。



- 2). コンクリート基礎の補強用鉄筋を組立てます。

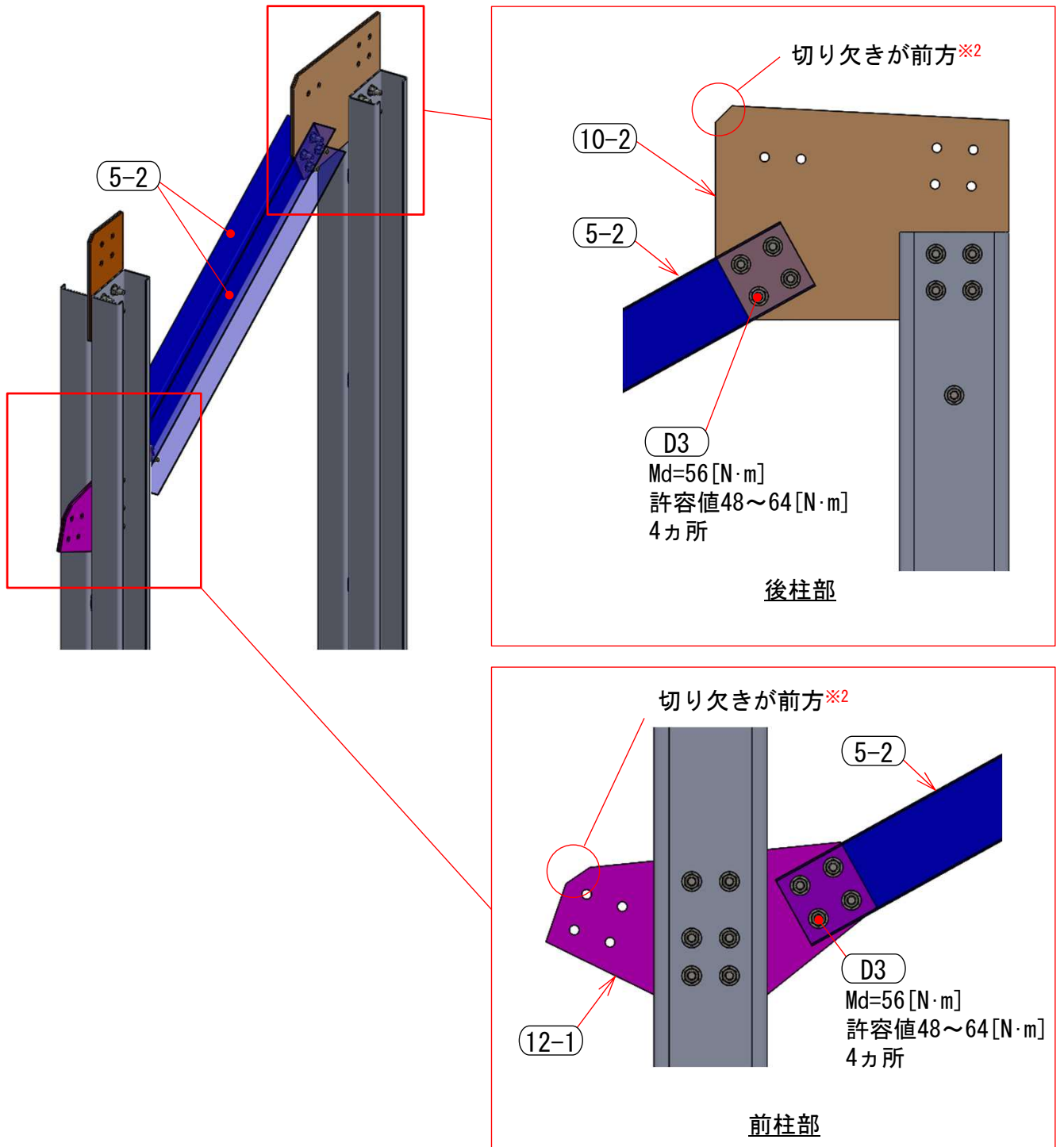


鉄筋組立て例



### 3-3-2. 斜材後の取付け

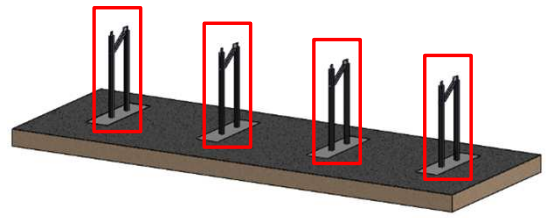
下図のように、前柱部のガセットプレート(中間)Sと後柱部のガセットプレート(柱頭)SRを繋ぐように、2本背合せで斜材SRをD-Lockボルト(M12xL45)で取付けて、トルクMd=56[N・m] (許容値48~64[N・m])※1で締付けます。



※1. 締め過ぎに御注意ください。

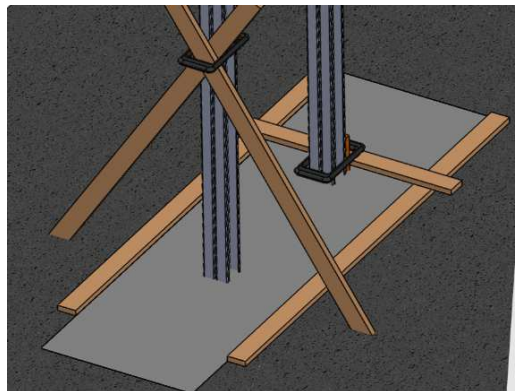
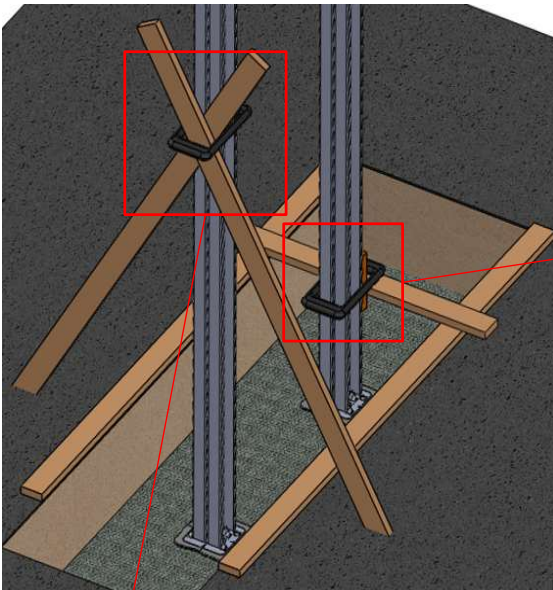
※2. ガセットプレートの隅切部が前方上方に向くように取り付けてください。

※3. 部材メッキ層に傷がついた場合には、次工程に移る前にローバル等により補修してください。

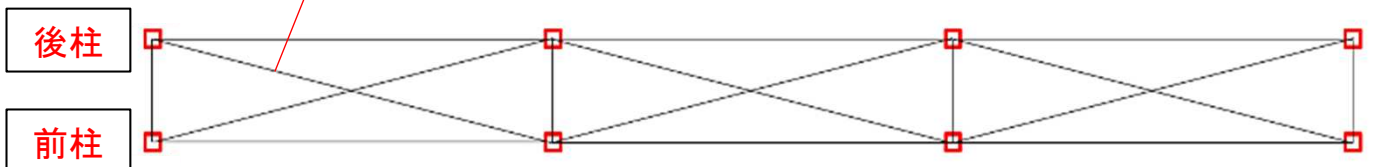


### 3-3-3. 柱部の仮固定及びコンクリート打設

- 1). 柱から下げ振り(錘垂)を垂らして柱の鉛直度を確認し、水平方向と鉛直方向を固定します。  
下図に栈木による筋交いやゴムバンドによる結束方法の例を示します。  
**※. 水平器では十分な鉛直度を確保できませんのでご注意ください。**
- 2). 柱の設置精度を再度確認した後、コンクリートを打設します。
- 3). 柱位置のコンクリート天端が低くならないように(水溜まりができないように)配慮しながら天端を均し、金ゴテ仕上げを行います。

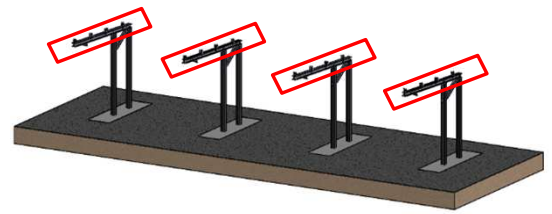


**※. オプション品の柱間固定治具を使用することで、柱の間隔、対角、直角度を精度良く確保することが可能です。**



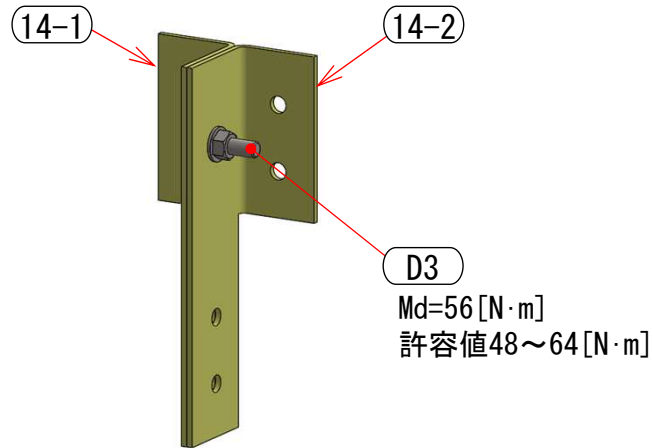
柱間固定治具の例



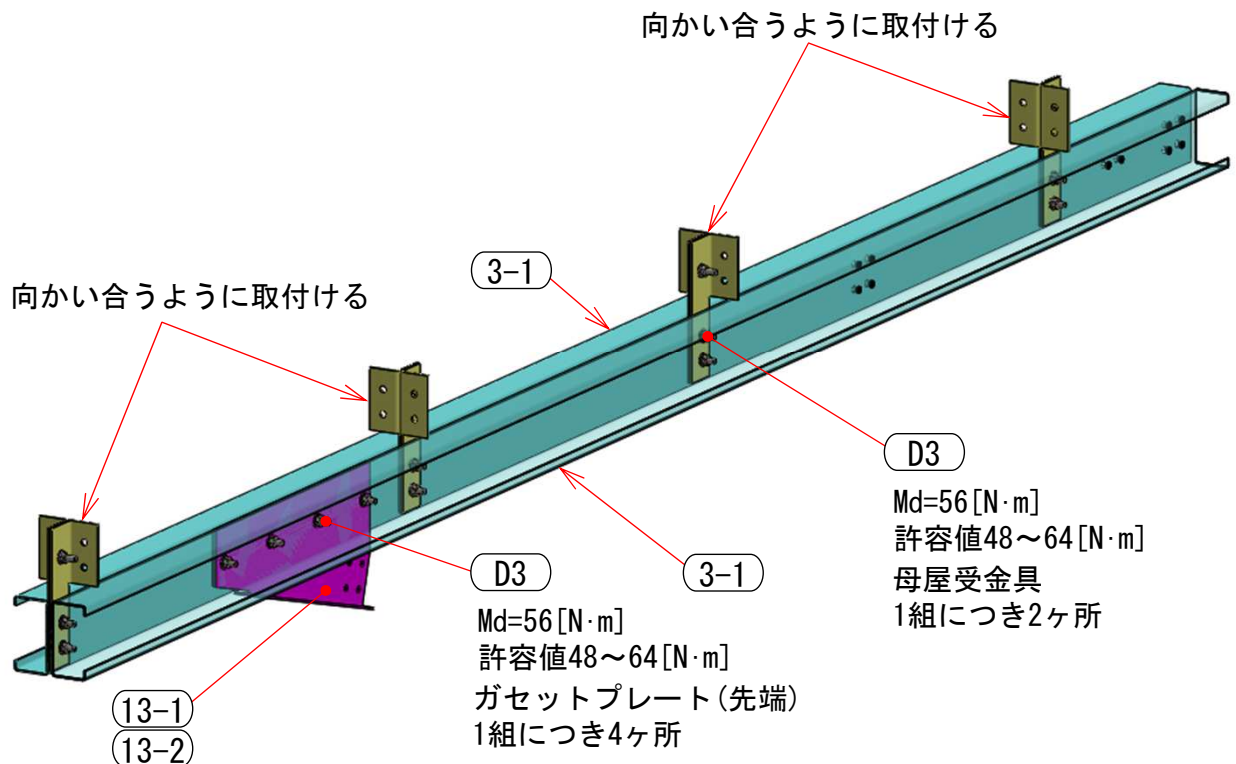


### 3-3-4. 登り梁の組立て

- 1). 下図のように、2枚1組の母屋受金具をD-Lockボルト (M12xL45) で組立て、トルクMd=56 [N・m] (許容値48~64 [N・m]) ※1で締付けます。



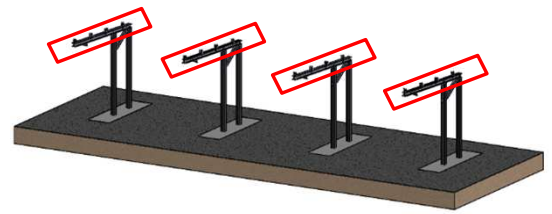
- 2). 登り梁Sに、組立てた母屋受金具、2枚1組のガセットプレート (先端) をD-Lockボルト (M12xL45) で取付けて、仮締めします。



※1. 締め過ぎに御注意ください。

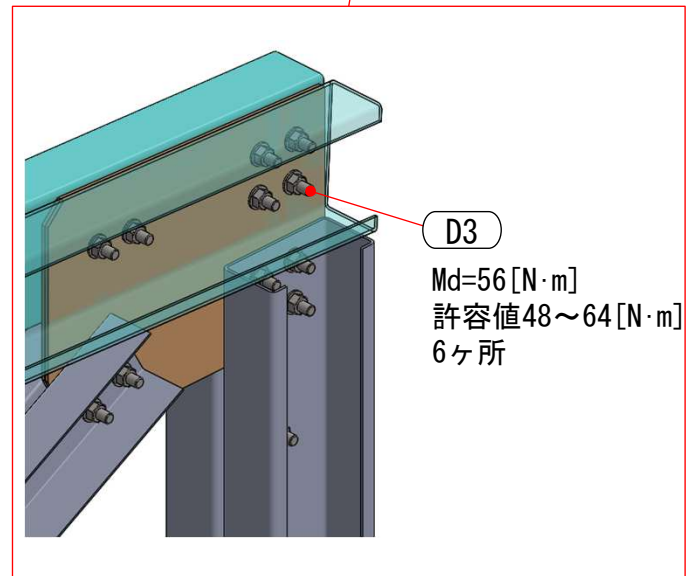
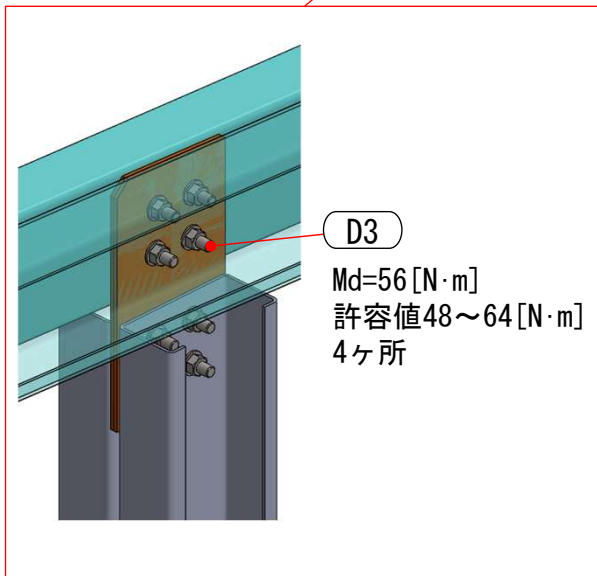
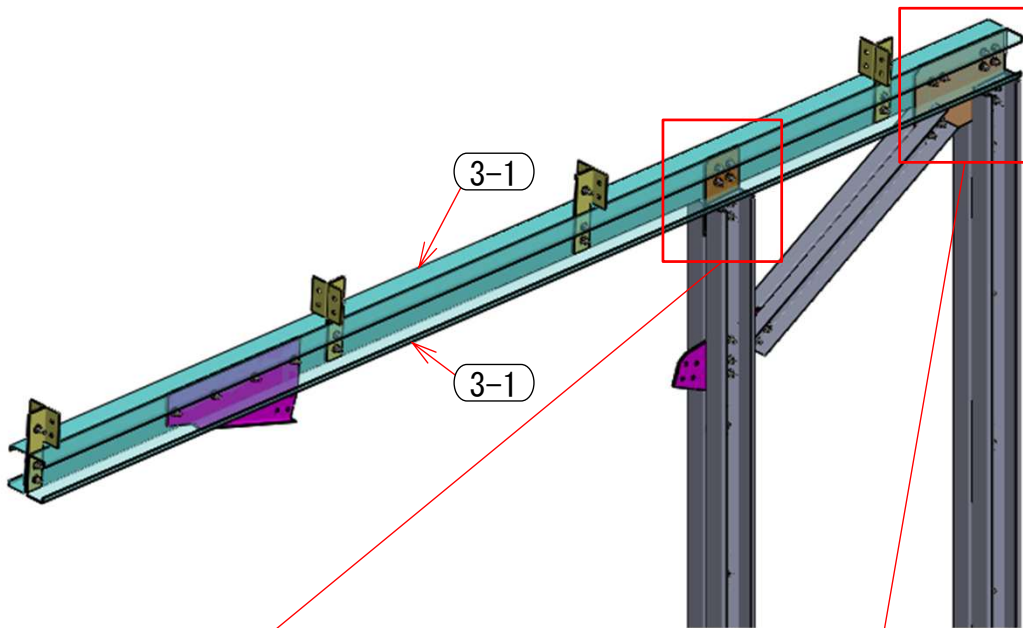
※2. 部材メッキ層に傷がついた場合には、次工程に移る前にローバル等により補修してください。





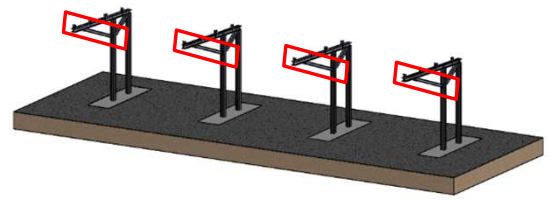
### 3-3-5. 登り梁の取付け

下図のように、組立てた登り梁SをD-Lockボルト (M12xL45) で各柱部に取付け、トルクMd=56 [N・m] (許容値48~64 [N・m])※1で締付けます。



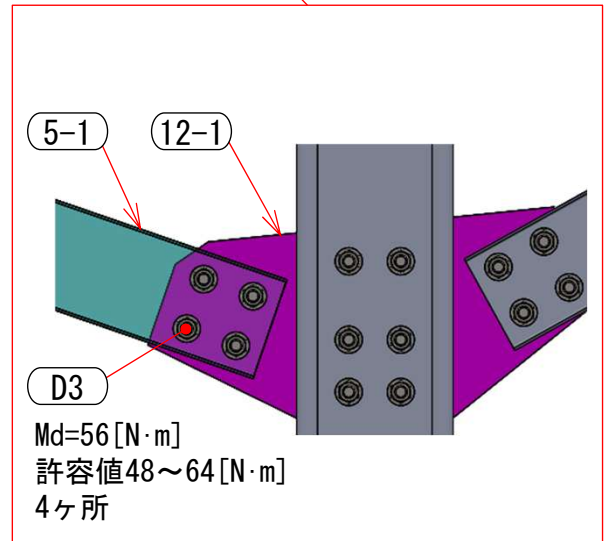
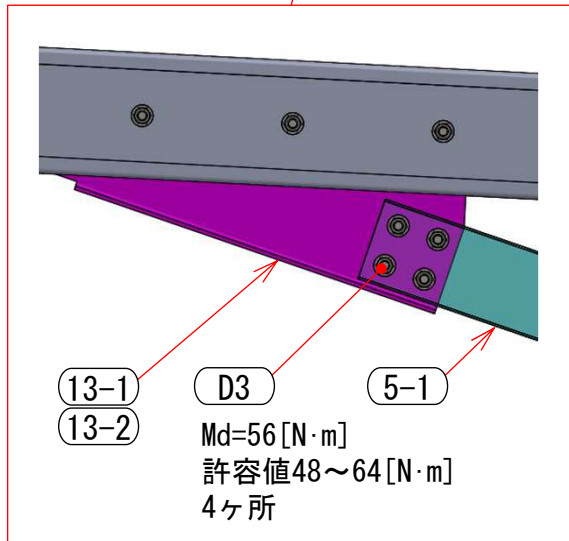
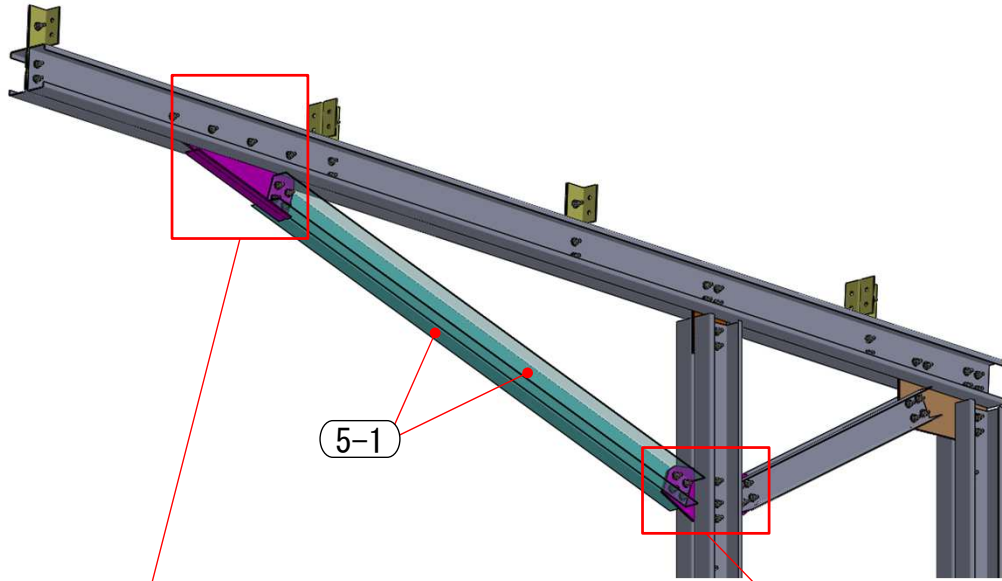
※1. 締め過ぎに御注意ください。

※2. 部材メッキ層に傷がついた場合には、次工程に移る前にローバル等により補修してください。



### 3-3-6. 斜材前の取付け

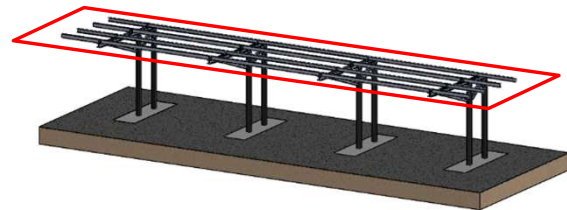
下図のように、前柱部のガセットプレート(中間)Sと  
登り梁S先端のガセットプレート(先端)を繋ぐように、  
2本背合せで斜材SDFをD-Lockボルト(M12xL45)で取付けて、  
トルクMd=56[N・m] (許容値48~64[N・m])※1で締付けます。



※1. 締め過ぎに御注意ください。

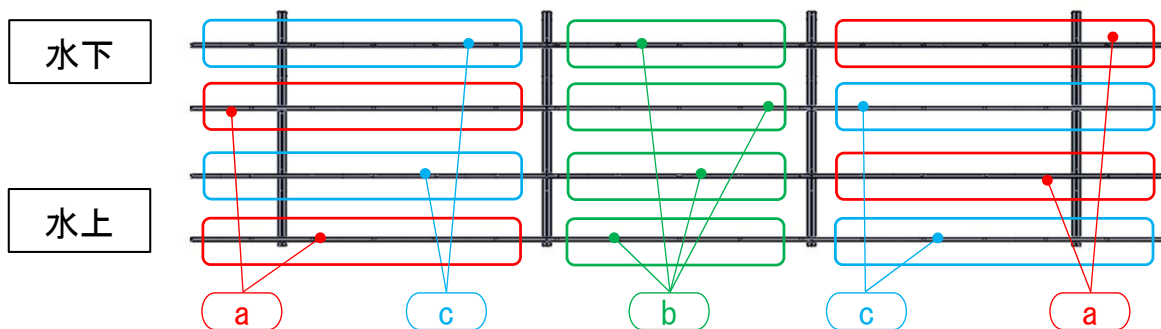
※2. 部材メッキ層に傷がついた場合には、次工程に移る前にローバル等により補修してください。

## 4. 母屋の取付け



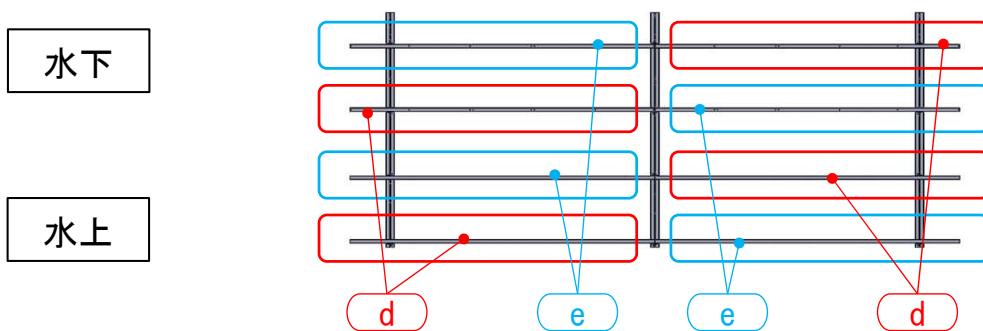
### 4-1. 母屋の配置

母屋は各仕様により、下記のように配置します。



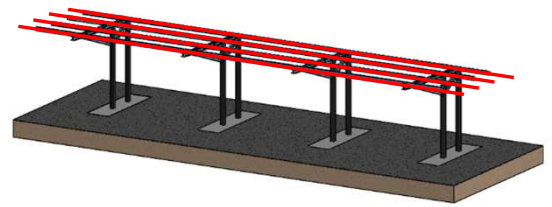
柱間ピツチ [mm]	a	b	c
5000	(2-4)	(2-5)	(2-6)
5200	(2-1)	(2-2)	(2-3)

片側6台仕様の場合



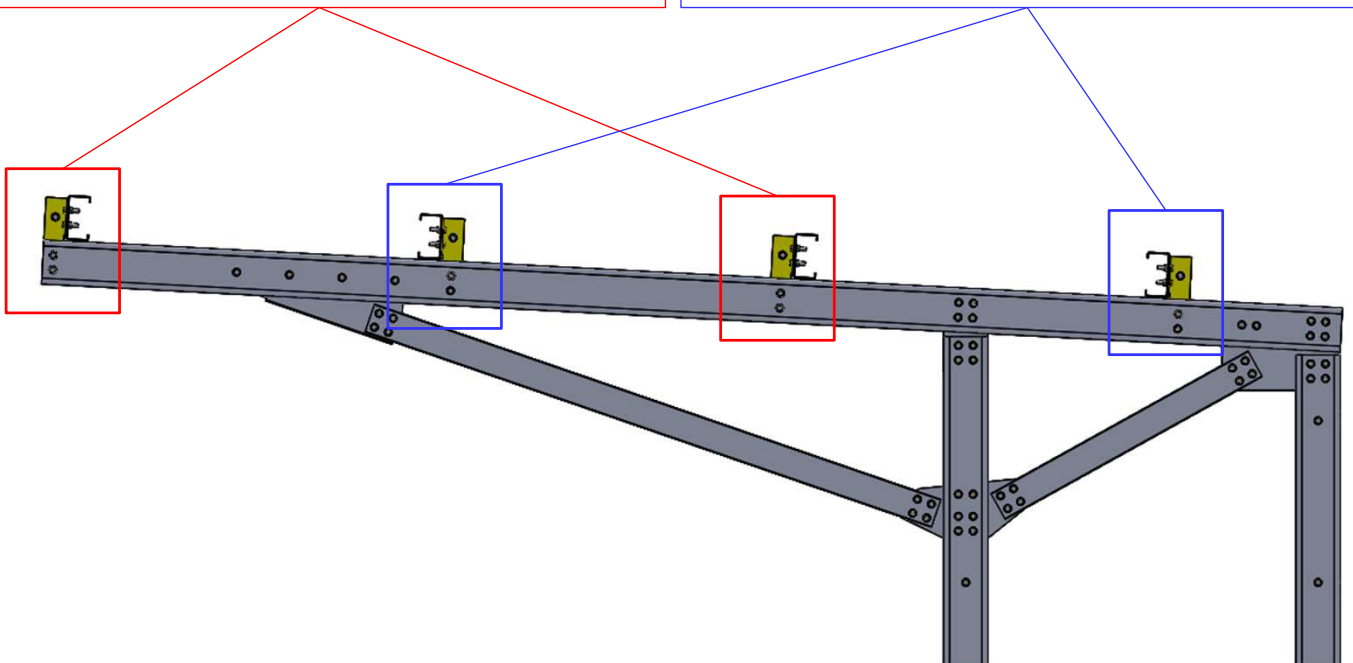
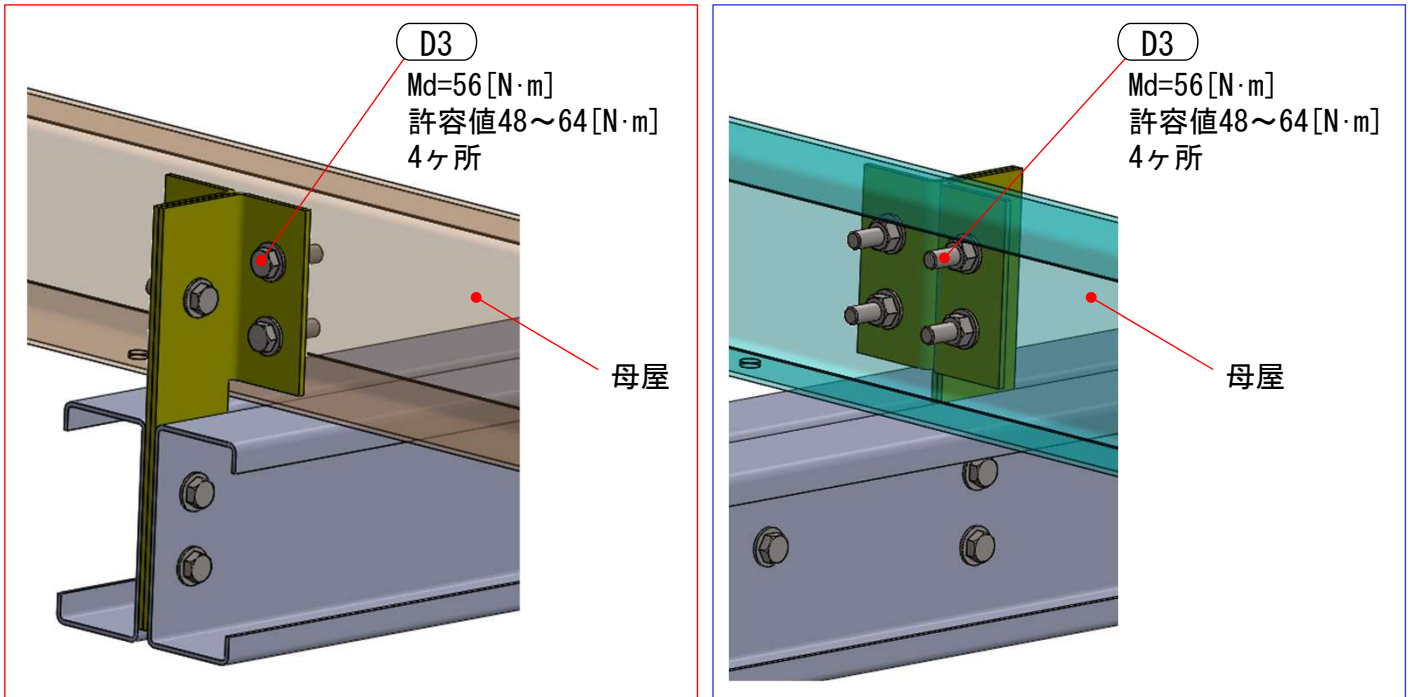
柱間ピツチ [mm]	d	e
5000	(2-9)	(2-10)
5200	(2-7)	(2-8)

片側4台仕様の場合



## 4-2. 母屋の取付け

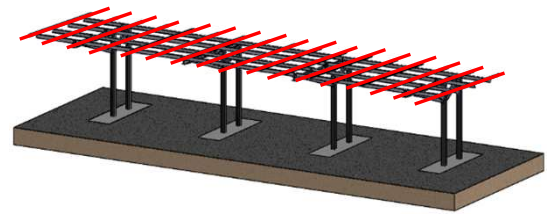
下図のように母屋が向い合せになるようにD-Lockボルト (M12xL45) で取付け、トルクMd=56 [N・m] (許容値48~64 [N・m])<sup>※1</sup>で締付けます。



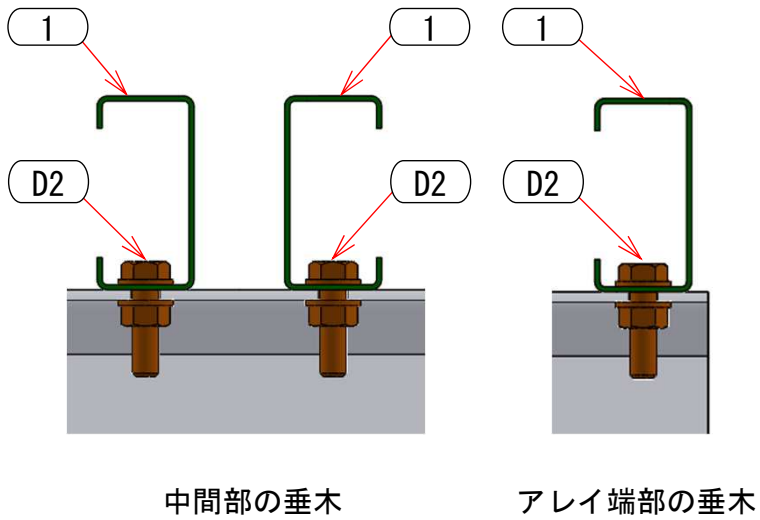
※1. 締め過ぎに御注意ください。

※2. 部材メッキ層に傷がついた場合には、次工程に移る前にローバル等により補修してください。

## 5. 垂木の取付け



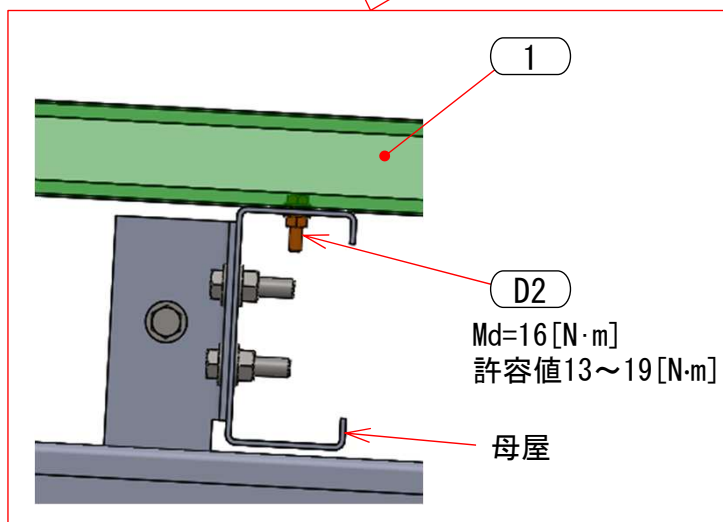
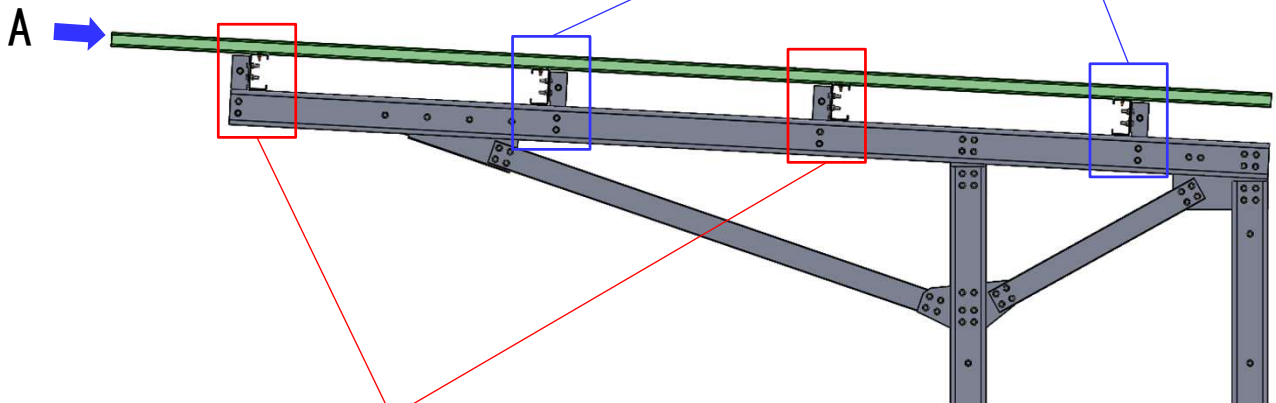
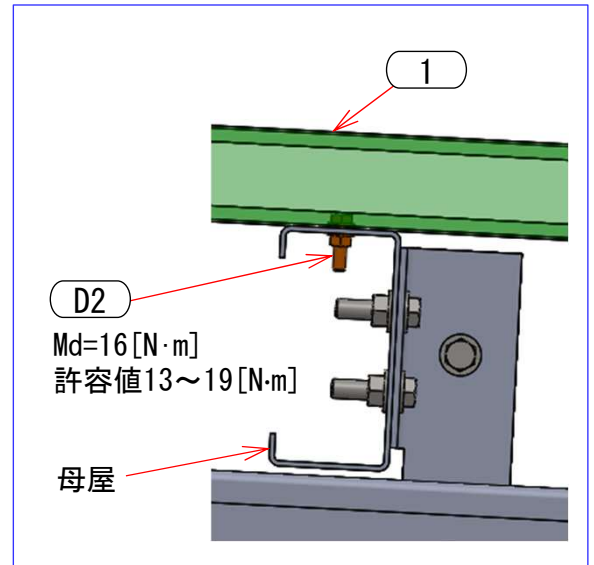
下図のように垂木をD-Lockボルト (M8xL30) で取付け、トルクMd=16[N・m] (許容値13~19[N・m])※1で締付けます。



中間部の垂木

アレイ端部の垂木

A矢示図

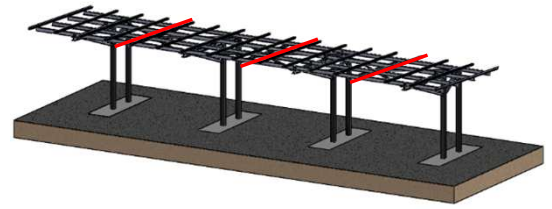


※1. 締め過ぎに御注意ください。

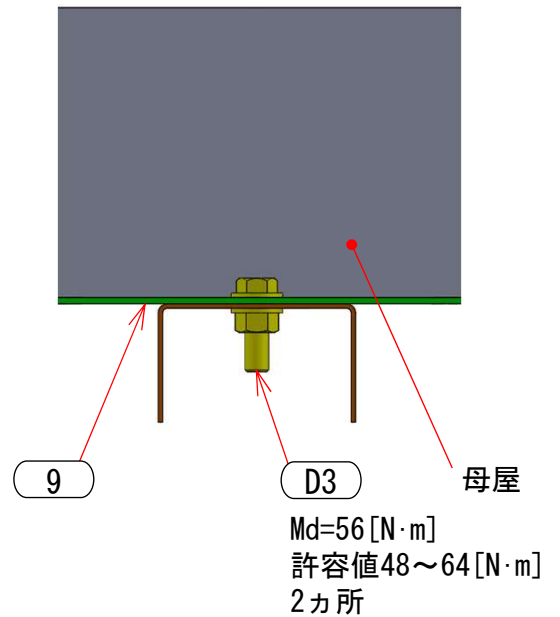
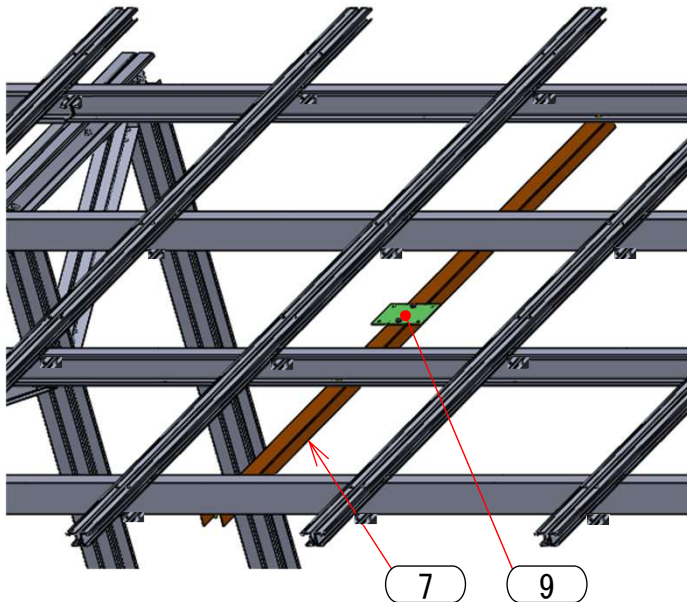
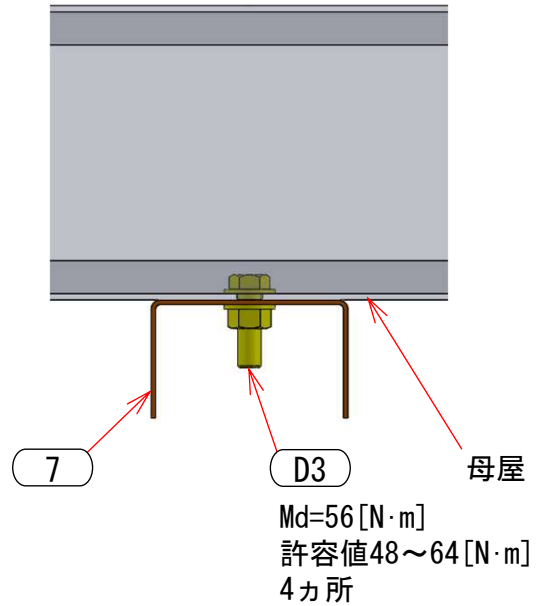
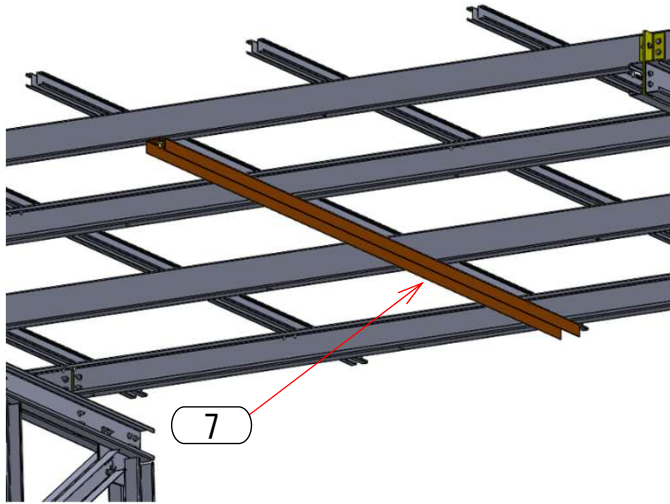
※2. 部材メッキ層に傷がついた場合には、次工程に移る前にローバル等により補修してください。



## 6. 屋根ブレースの取付け

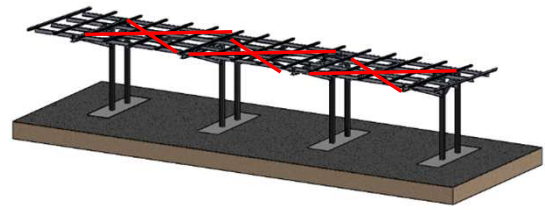


- 1). 下図のように母屋に母屋繋ぎをD-Lockボルト (M12xL45) で取付けて、トルクMd=56 [N・m] (許容値48~64 [N・m]) ※1で締付けます。
- 2). 母屋繋ぎに屋根面プレートをD-Lockボルト (M12xL45) で取付けて、トルクMd=56 [N・m] (許容値48~64 [N・m]) ※1で締付けます。

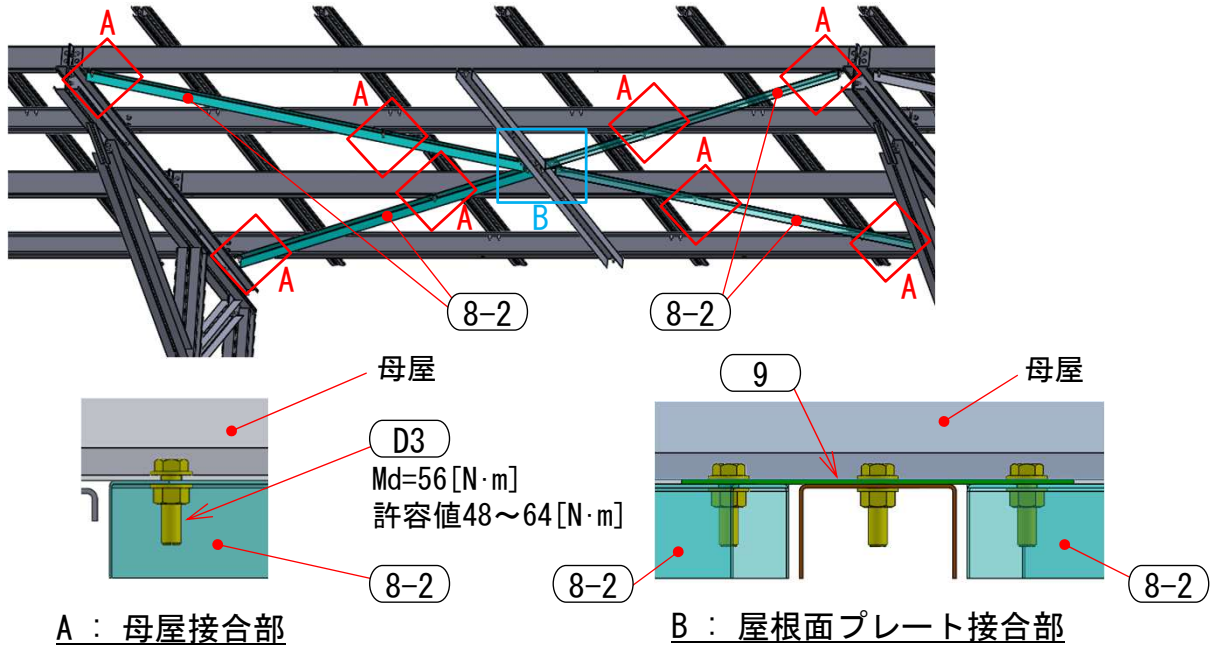


※1. 締め過ぎに御注意ください。

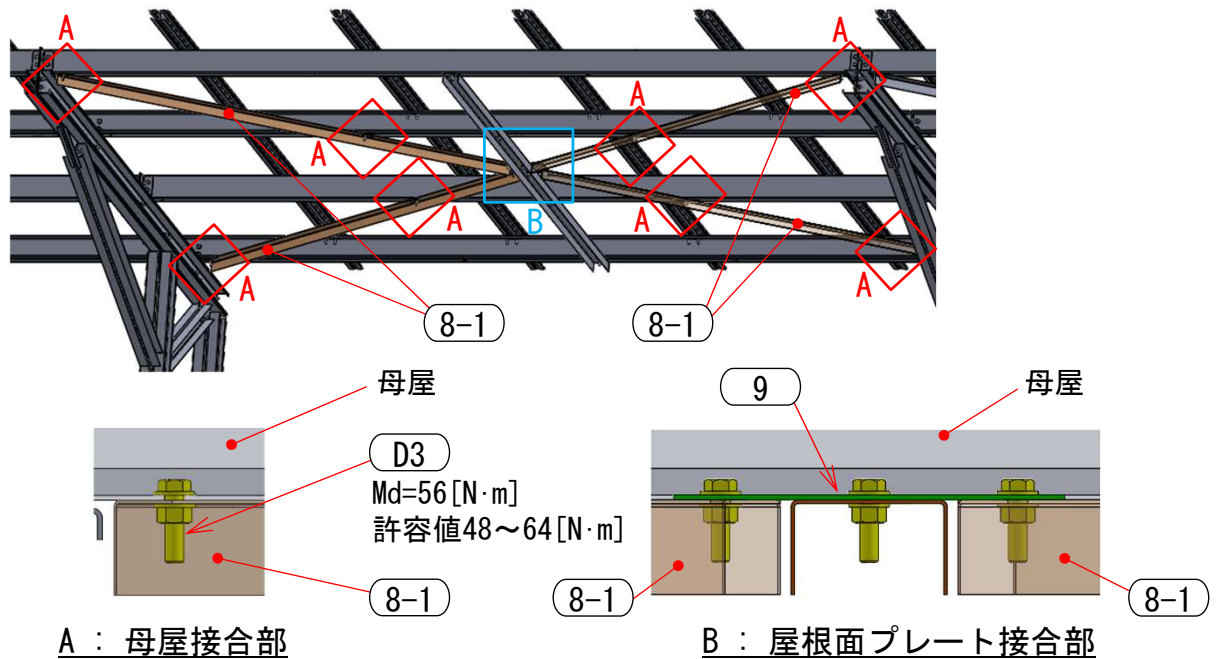
※2. 部材メッキ層に傷がついた場合には、次工程に移る前にローバル等により補修してください。



- 3). 下図のように、母屋と屋根面プレートを繋ぐように屋根ブレースをD-Lockボルト (M12xL45) で取付けて、トルクMd=56 [N・m] (許容値48~64 [N・m]) ※1で締付けます。



柱間ピッチ5000mm

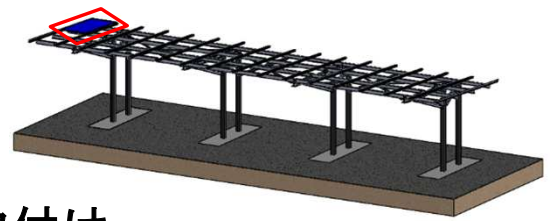


柱間ピッチ5200mm

※1. 締め過ぎに御注意ください。

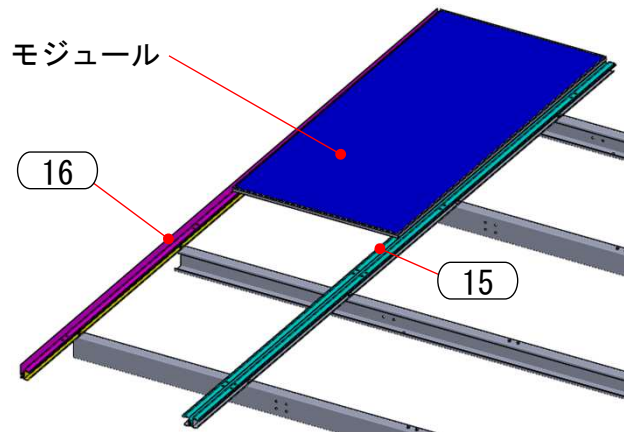
※2. 部材メッキ層に傷がついた場合には、次工程に移る前にローバル等により補修してください。

## 7. 太陽電池モジュールの取付け

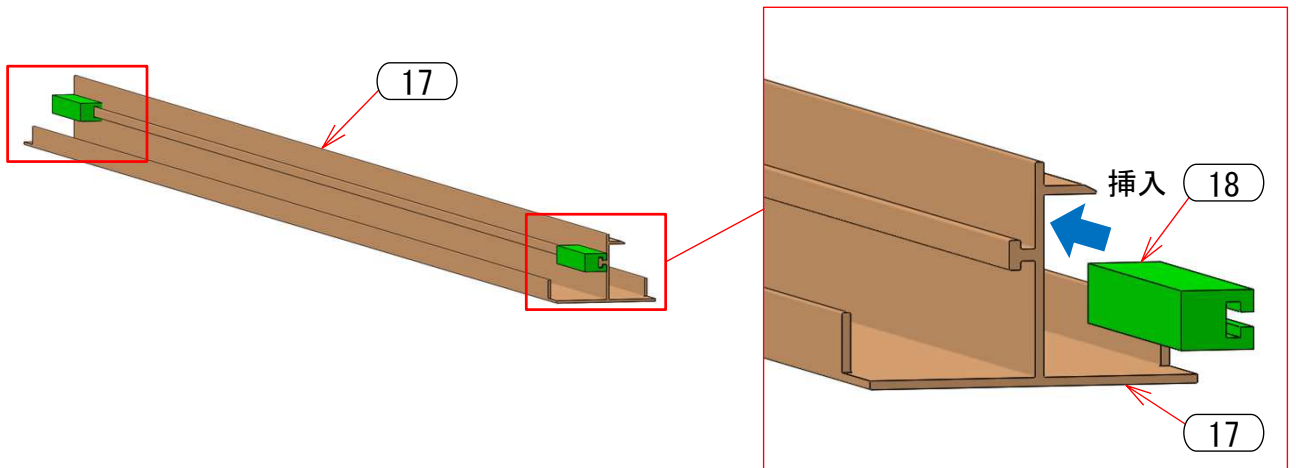


### 7-1. 1段目太陽電池モジュールの取付け

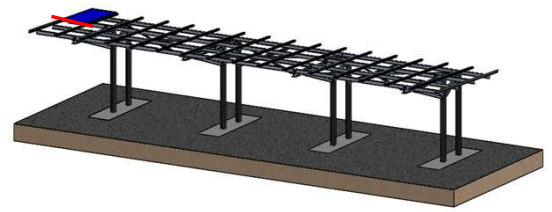
- 1). 取付けた垂木の上に隙間樋を仮置きし、隙間樋の上に太陽電池モジュール(以降「モジュール」)を仮置きします。  
※. アレイ端の垂木には端部樋30を使用します。



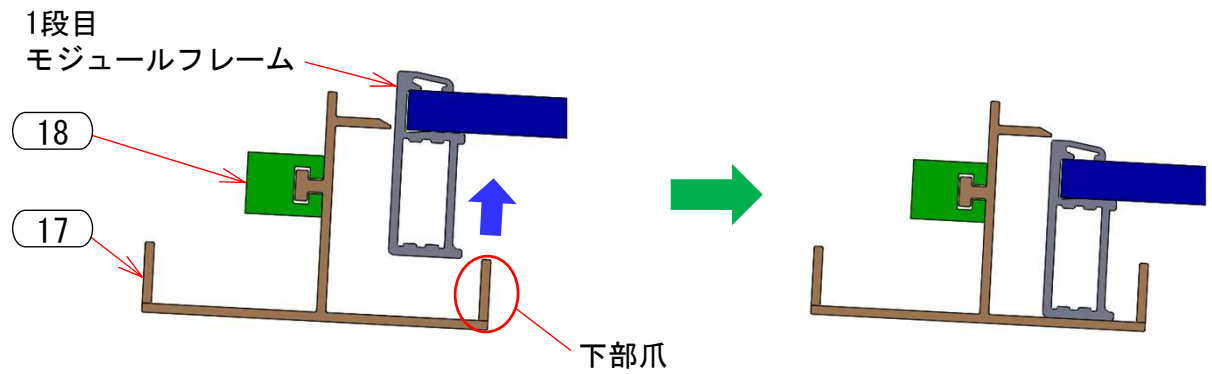
- 2). レインモールPB30(1134)(以降「レインモール」)の両端にスペーサーSを挿入します。



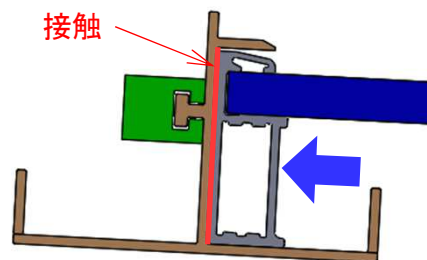




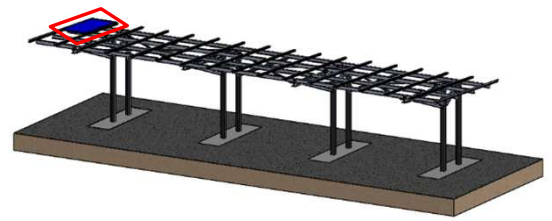
- 3). 1段目のモジュールを持ち上げて、下図の様にレインモールの下部爪にモジュールが被さる様に配置します。



- 4). レインモールがモジュールフレームに接触するまで、しっかりと寄せます。

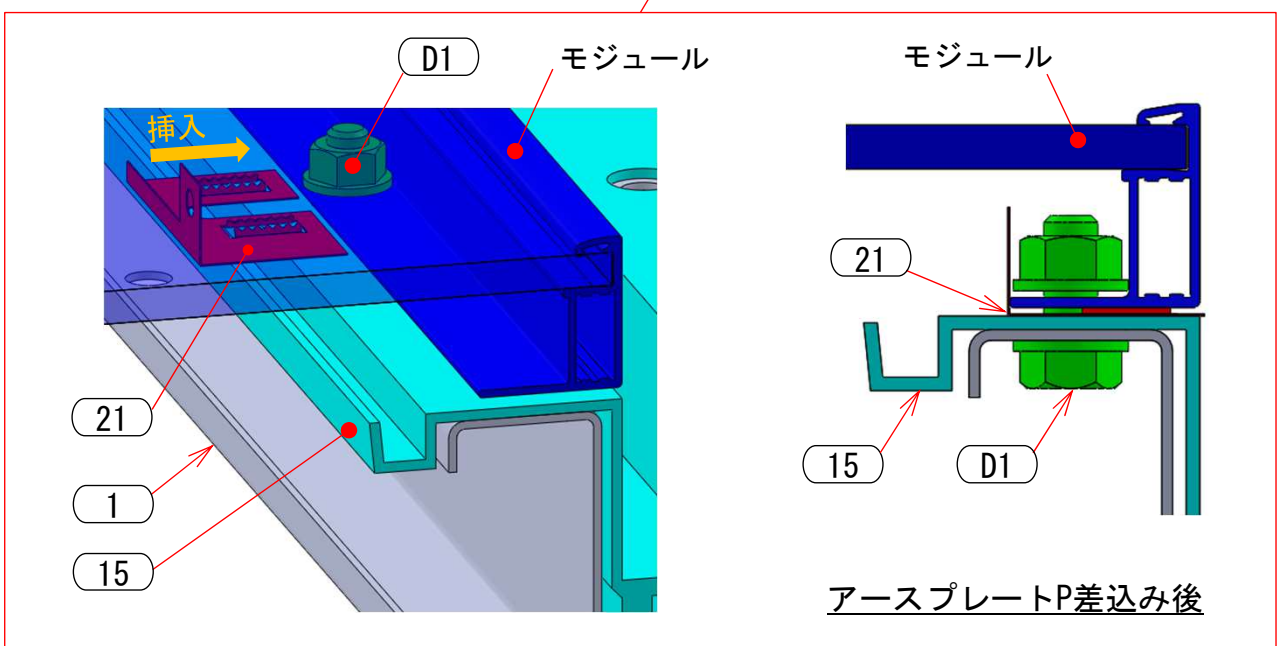
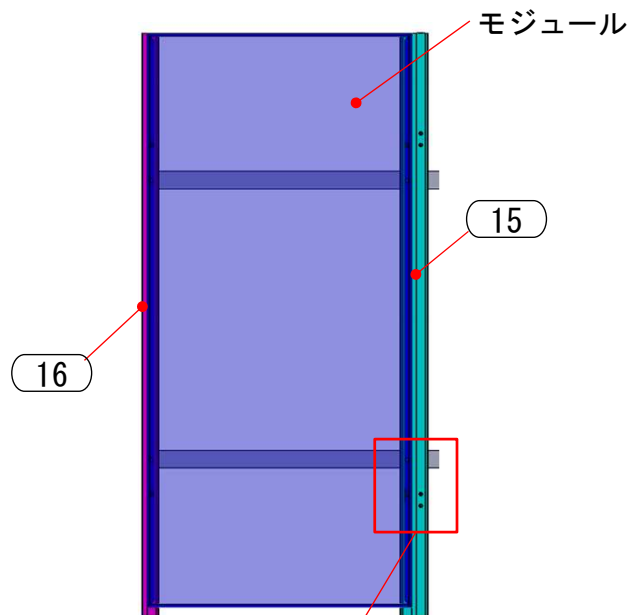


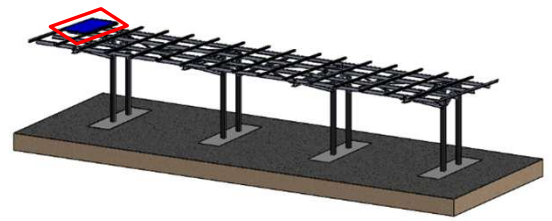
※. レインモールは実用的な防水性能を有していますが、雨量、地成り設置角度、風速が大きい場合また、積雪後の雪解け時に雨垂れが発生することがあり、完全防水とはなっておりません。



- 5). 下図のようにモジュールと隙間樋及び端部樋30を、垂木側からD-Lockボルト (M8xL20) を挿入して仮締めします。モジュールを押し上げて、モジュールフレームと隙間樋の間にアースプレートPを差込みます。

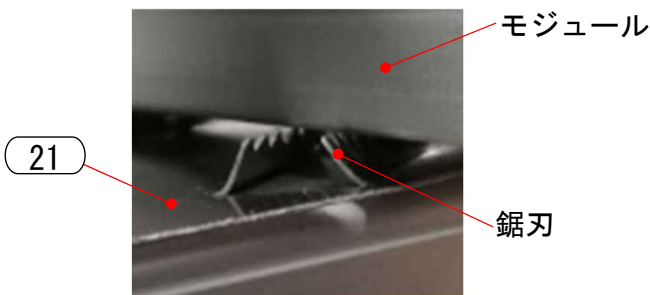
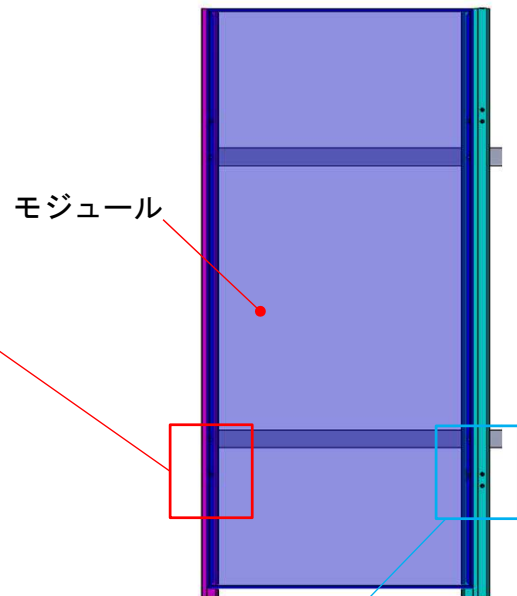
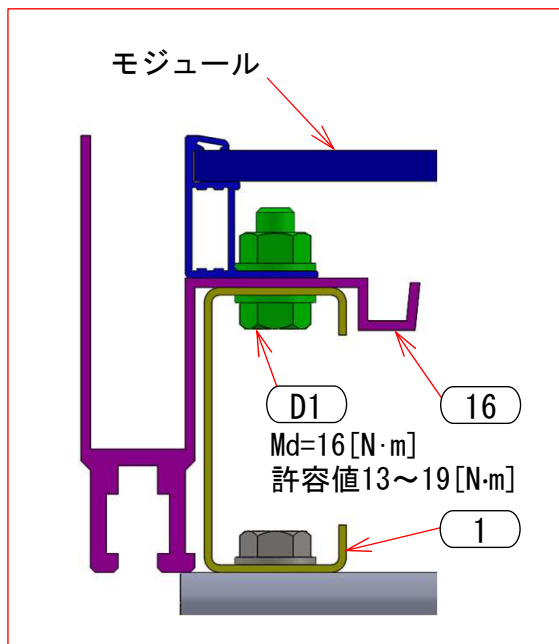
※. アースプレートPの取付け位置は、アレイ架台構造図を参照して下さい。



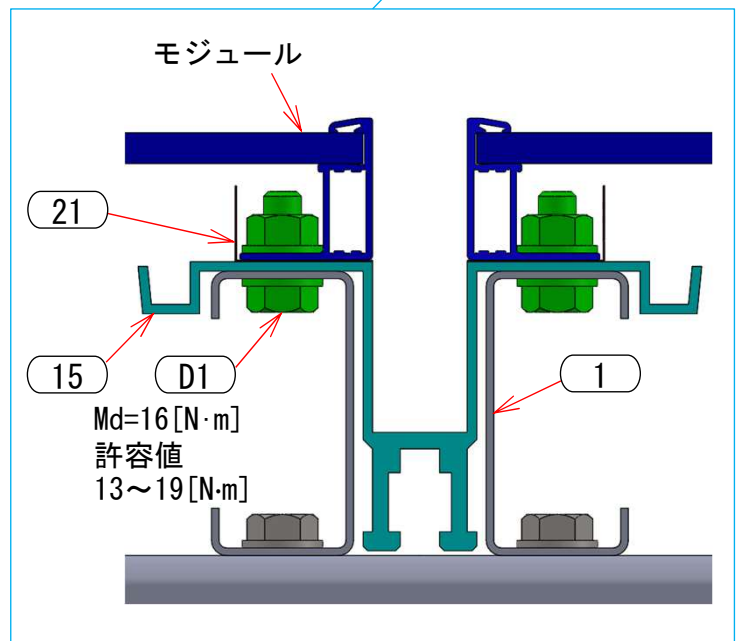


- 6). 仮締めしていたD-Lockボルト (M8xL20) をトルクMd=16 [N·m] (許容値13~19 [N·m]) で締付けます。アースプレートPの鋸刃が倒れていない時は、既定トルクを上回っても鋸刃が倒れるまで、締付けてください。

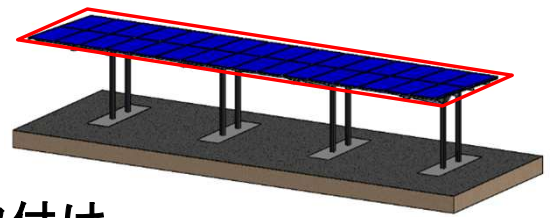
※. アースプレートで、モジュールのアルミフレーム表面のアルマイト層を、傷つけることによりモジュール同士を導通する構造となっています。ただし、一定の導通効果を保証するものではなく、アレイ全体としての接地についてはお客様自身で設計願います。



※. 規定トルクを上回っても鋸刃が倒れるまで、締付けて下さい

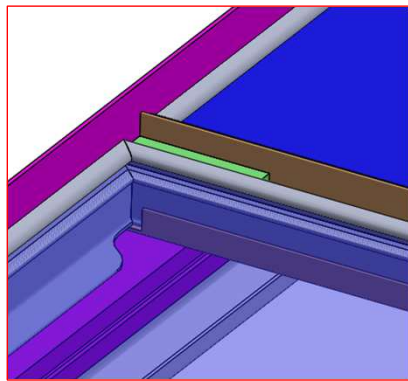
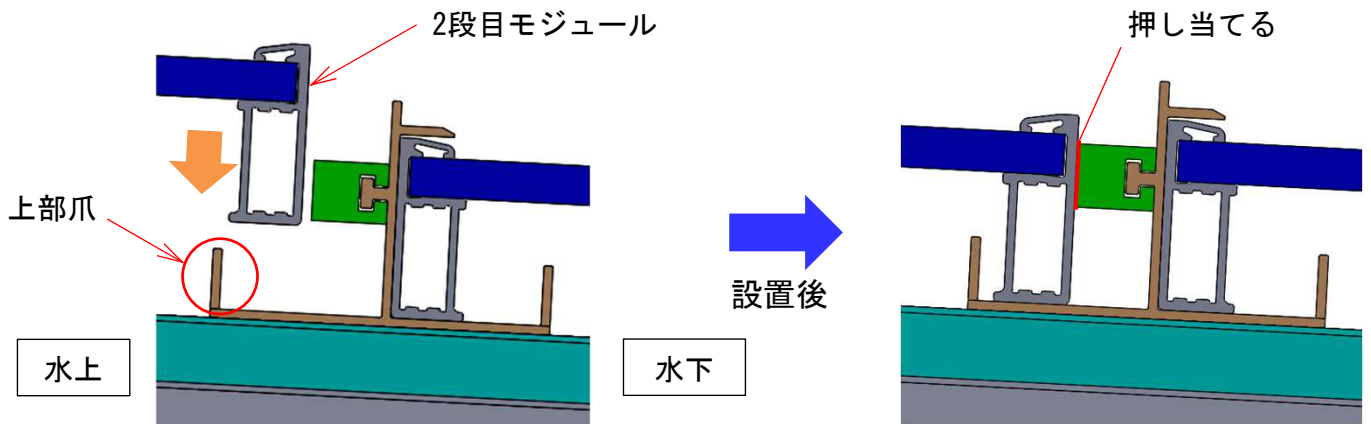


※. 締め過ぎにご注意ください

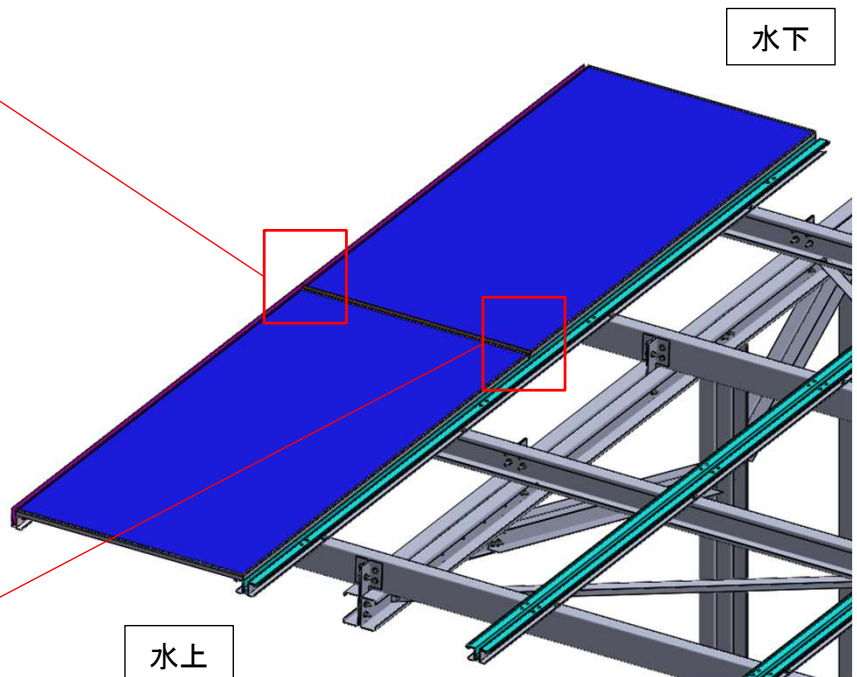
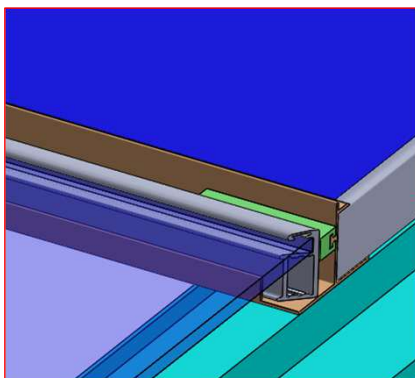


## 7-2. 2段目太陽電池モジュールの取付け

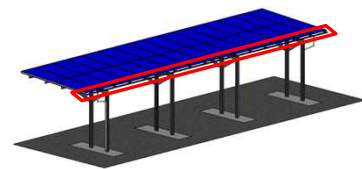
- 1). 下図のようにレインモールの上部爪に、2段目のモジュールフレームが被さるように配置します。
- 2). モジュールフレームがスペーサーSに接触するまで、1段目側に寄せます。



両端のスペーサーSに  
モジュールが接していること

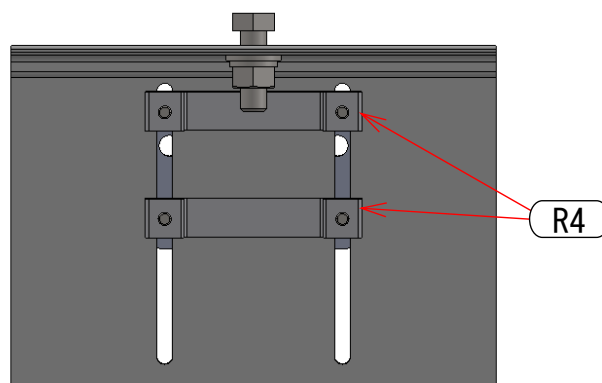
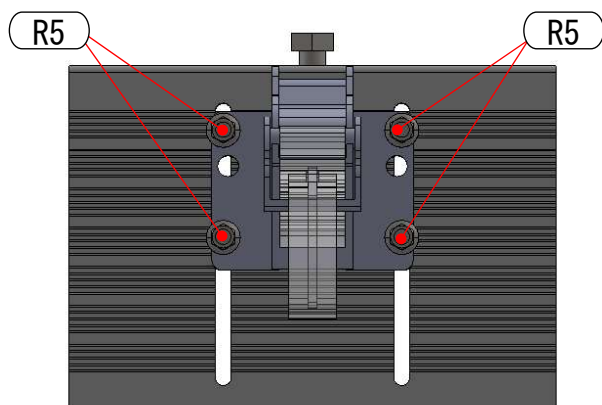
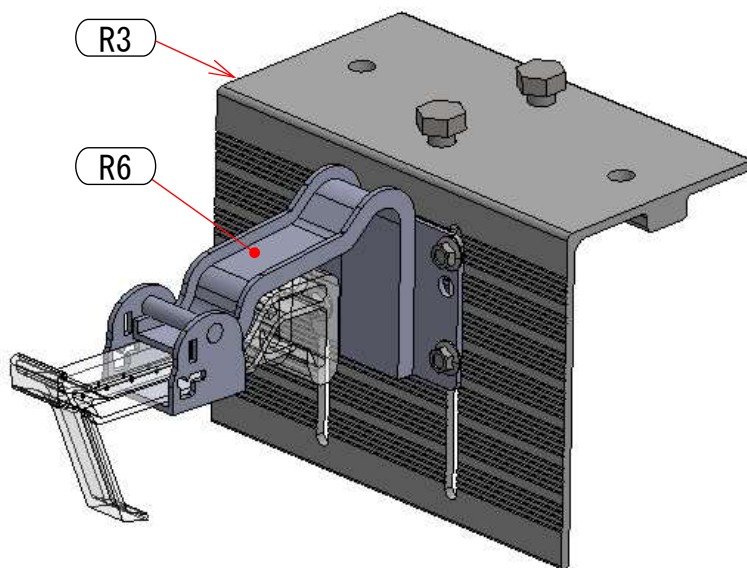


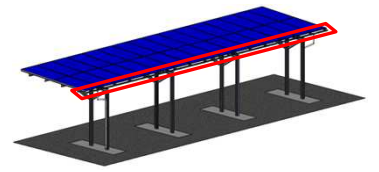
## 8. 雨樋取付金具の取付け



### 8-1. 横樋吊具の仮止め

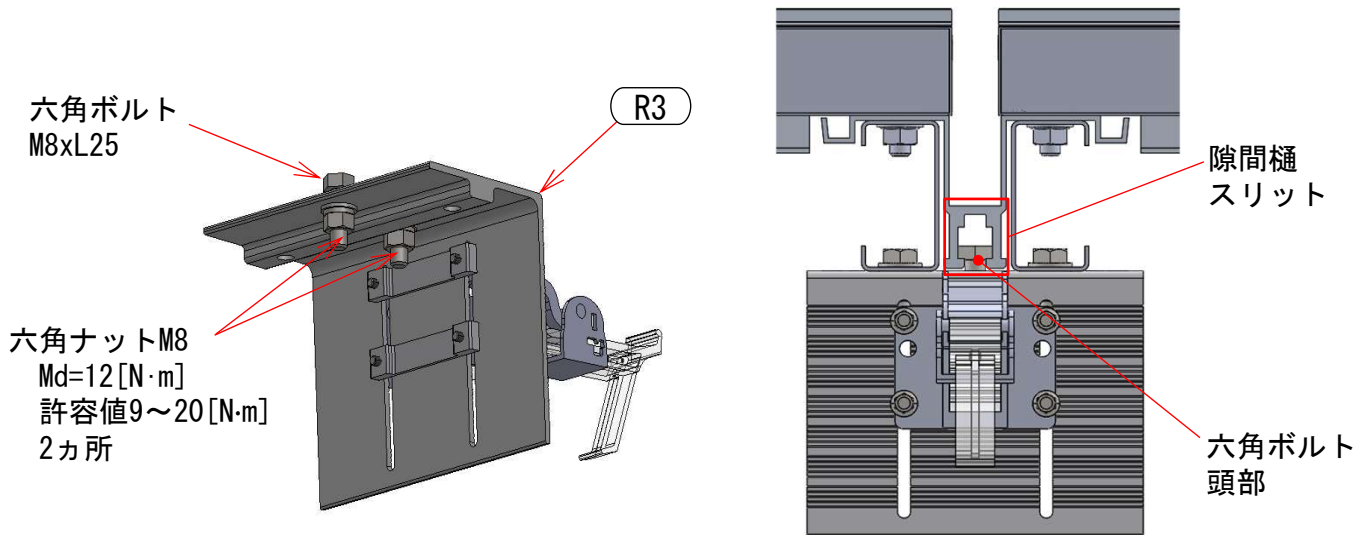
横樋吊具を、六角フランジボルトM4xL15と板ナットを用いて横樋取付金具B2プリアSEMBル(以降「横樋取付金具」)に上下にスライド出来る程度に仮止めします。





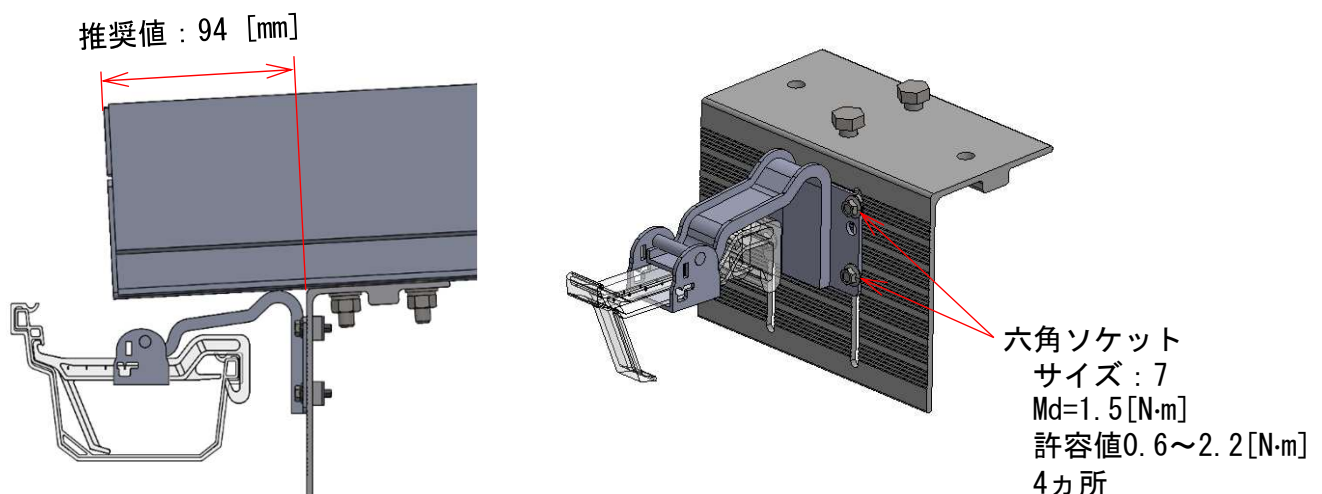
## 8-2. 横樋取付金具の取付け

- 1). 横樋取付金具構成品の六角ナットM8 (2カ所) を緩め、  
図のように、隙間樋または端部樋30のスリット部に  
六角ボルトの頭部を挿入し、六角ナットM8 (2カ所) で仮固定します。



六角ボルト挿入位置

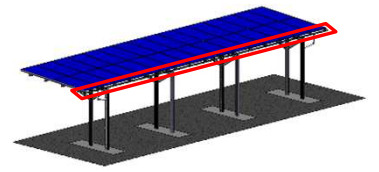
- 2). 横樋取付金具を規定位置に合わせた後、六角ナットM8 (2カ所) を  
トルクMd=12 [N・m] (許容値9~20 [N・m]) で締付けます。
- 3). 仮止めした横樋吊具の高さを規定位置に合わせ、  
六角フランジボルトM4xL15をトルクMd=1.5 [N・m] (許容値0.6~2.2 [N・m])  
で締付けます。



横樋取付金具位置

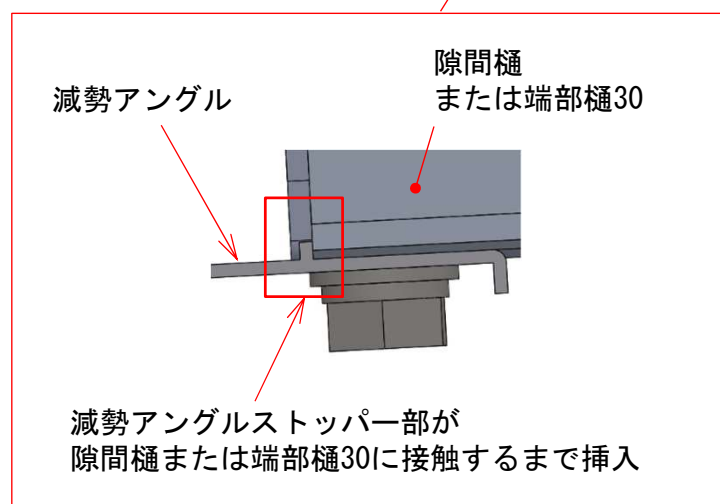
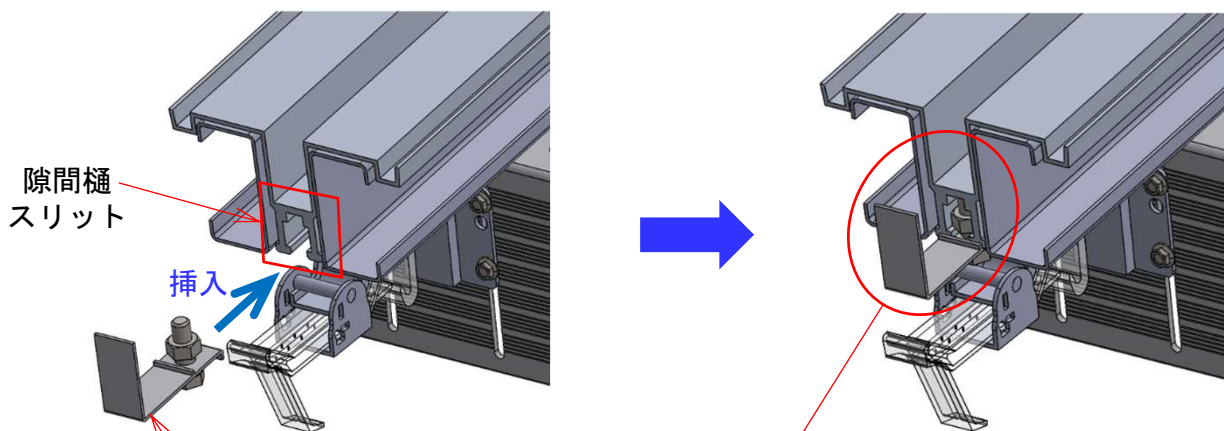
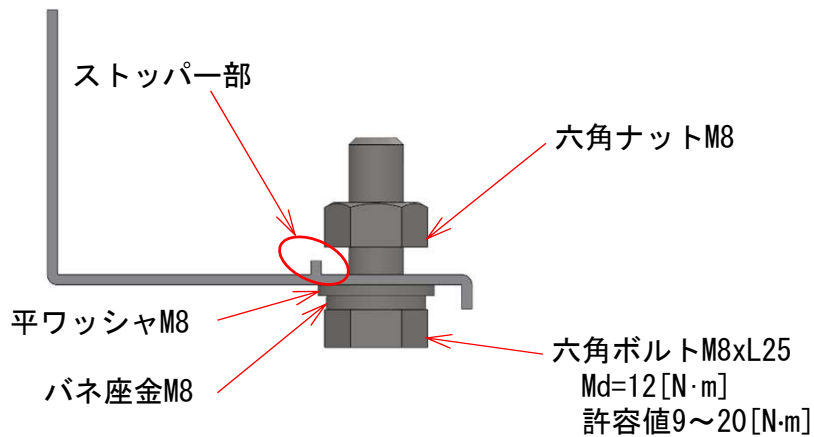
※. 締め過ぎにご注意ください



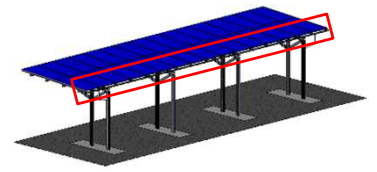


### 8-3. 減勢アングルの取付け

- 1). 減勢アングルプリアセンブル構成品の六角ナットM8を緩め、  
下図のように隙間樋または、端部樋30のスリット部に六角ナットを  
挿入し、減勢アングルのストッパー部分が隙間樋または端部樋30に  
接触するまで挿入します。
- 2). 六角ボルトM8xL25をトルクMd=12[N・m] (許容値9~20[N・m])で締付けます。



※. 締め過ぎにご注意ください



## 8-4. 横樋の取付け

### 8-4-1. 横樋の取付け

カクノキトイTRU75(以降「横樋」)の切断寸法や横樋取付け位置寸法、勾配についてはアレイ構造図をご参照ください。

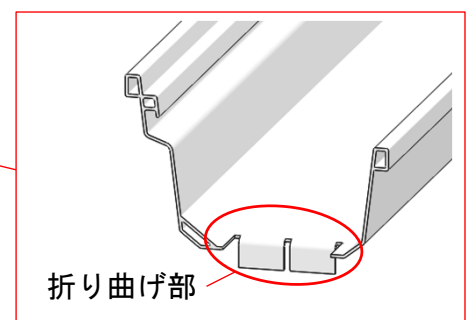
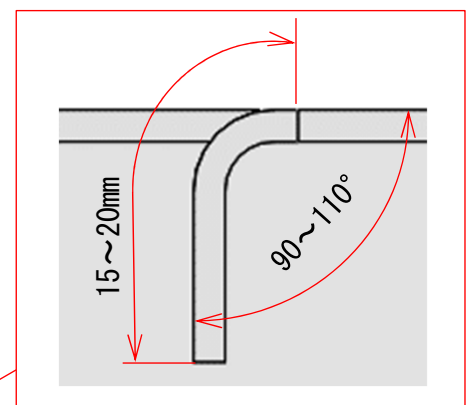
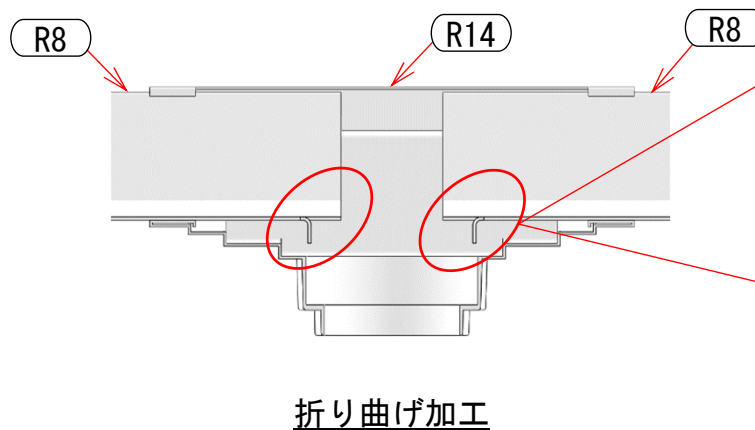
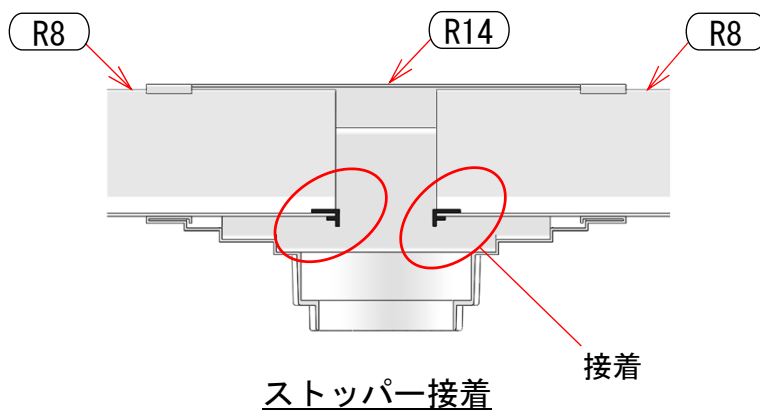
雨樋部材の切断及び接着剤の使用箇所等については、タキロンシーアイ社による下記をご参照ください。

「シェイプリーラインTRU75, TRU110\_雨どい施工手順書(IP-TRU 2017.04)」

「たてどい60\_施工説明書(IP-60 2017.4)」

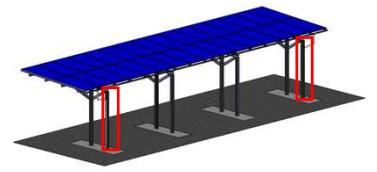
### 8-4-2. 集水器の取付け

横樋とAカクシュスイマルN(以降「集水器」)を接続する際は、横樋脱落防止の為に集水器付属の「ストッパー」を横樋に接着する、または横樋に折り曲げ加工※を施してください。



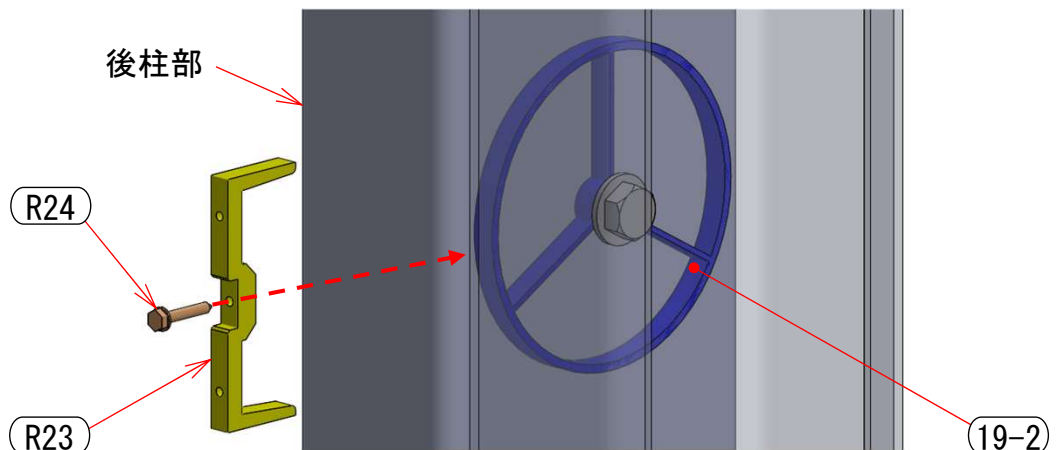
※. 折り曲げ加工は、横樋端部の底面に約20[mm]間隔で3ヶ所に15~20[mm]ハサミ等で切り込みを入れて、下方へ90~110°折り曲げてください。



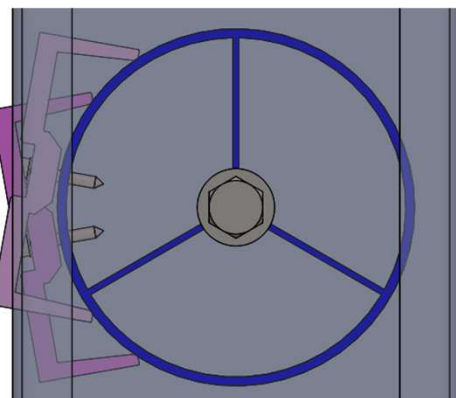


## 8-5. 縦樋取付金具の取付け

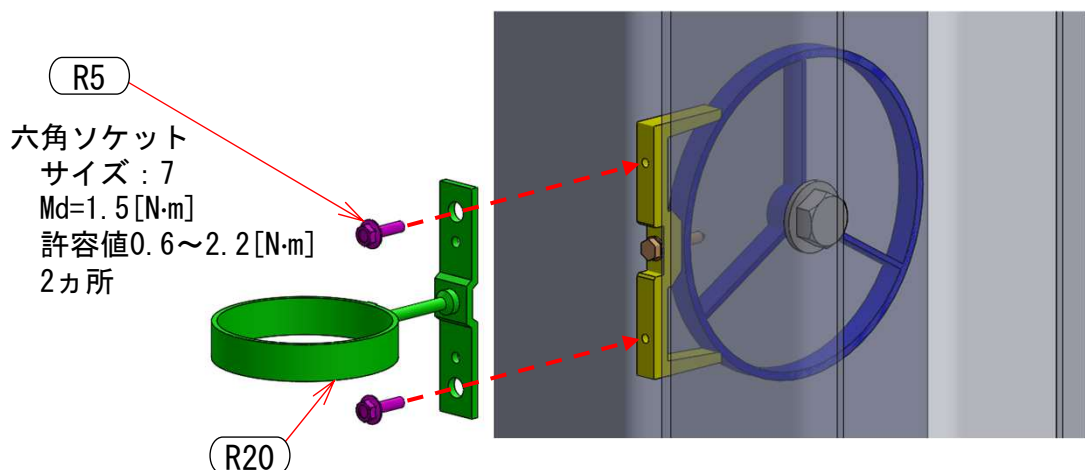
- 1). 縦樋取付金具S2を縦樋取付箇所の子スペーサBに水下側から、タッピングビスST4. 2xL25を用いて下図のように取付けます。



縦樋取付金具Sの傾きに注意して下さい。  
柱スペーサBを固定しているD-Lockボルトを  
緩めることで傾き調整が可能です。

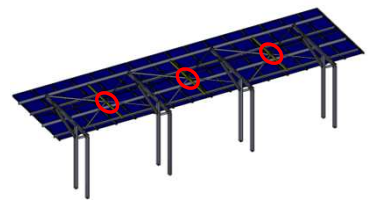


- 2). 縦樋控具φ60と縦樋取付金具S2を六角ソケットサイズ:7六角フランジボルトM4xL15(セレーション無)を2個用いて、締付トルクMd=1.5[N·m](許容値0.6~2.2[N·m])で固定します。



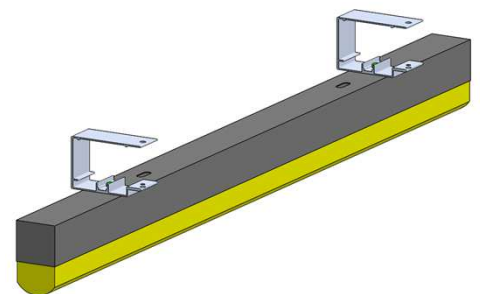
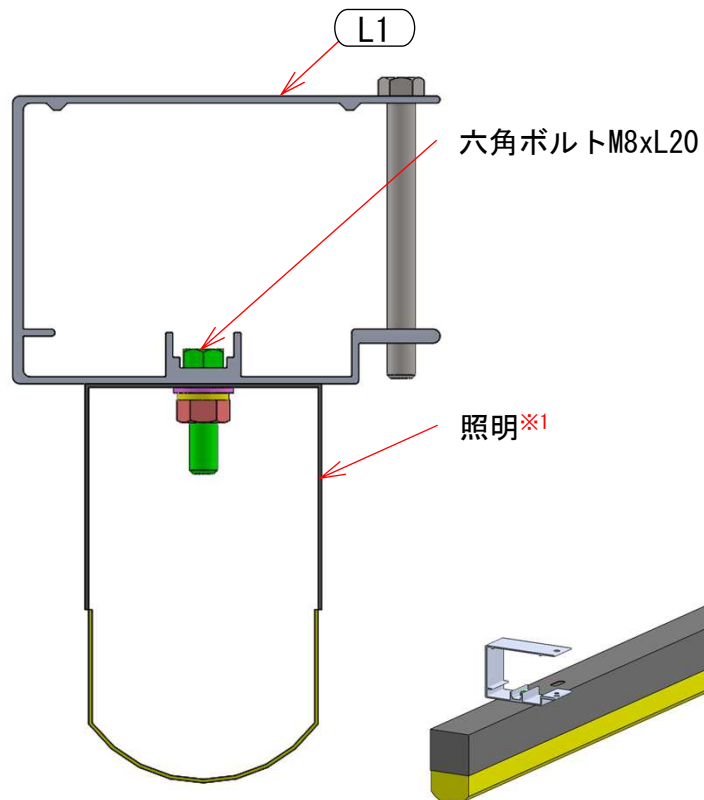
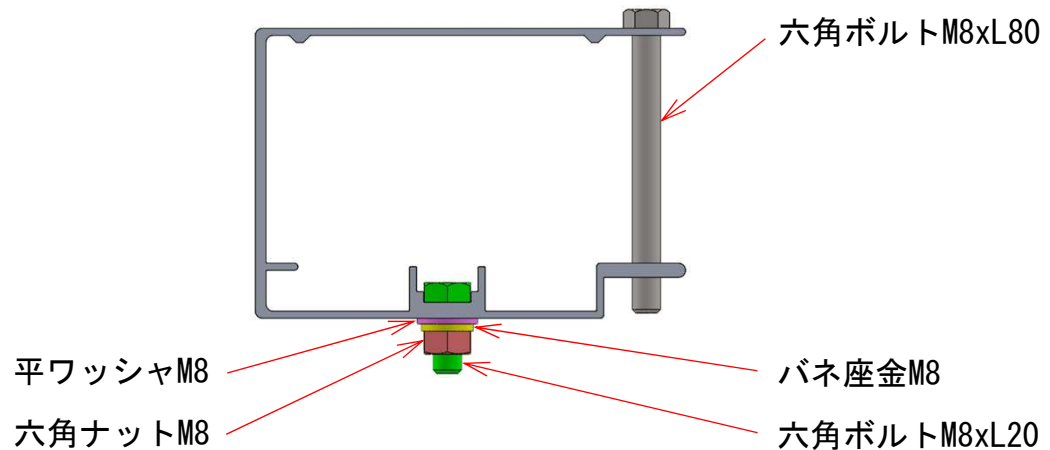
※. 締め過ぎにご注意ください

## 9. 照明取付金具の取付け



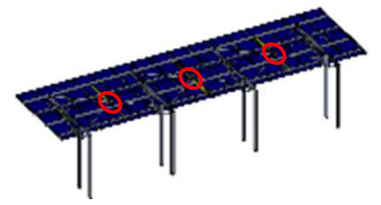
### 9-1. 照明の仮固定

照明取付金具S2プリアセンブル(以降「照明取付金具」)  
構成品を使用し、下記のように照明を仮固定します。



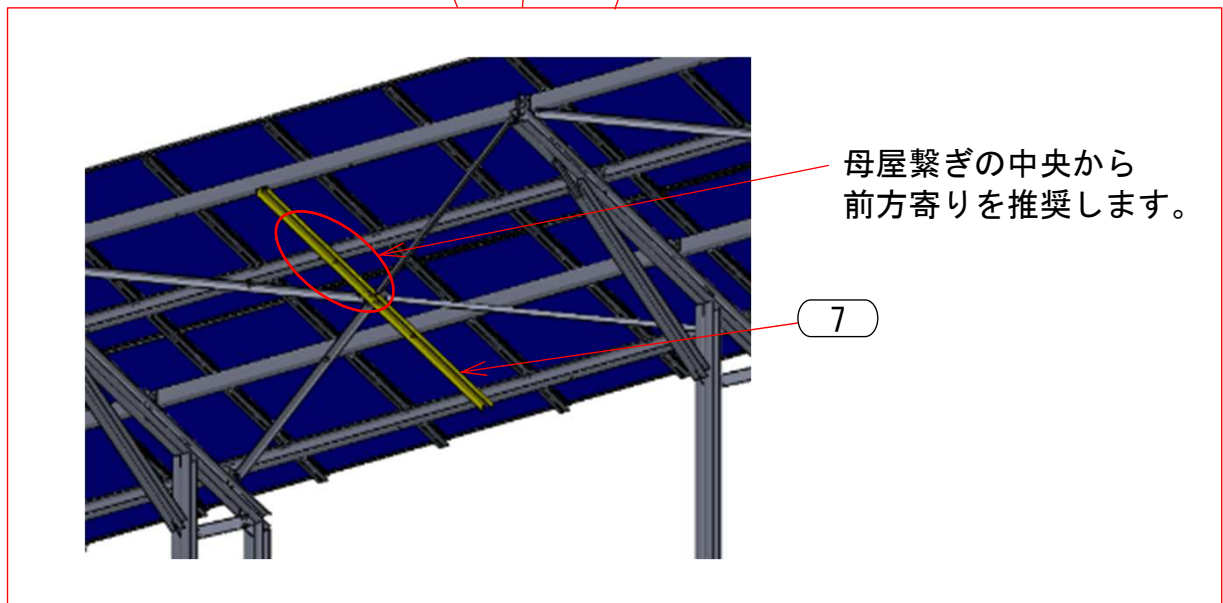
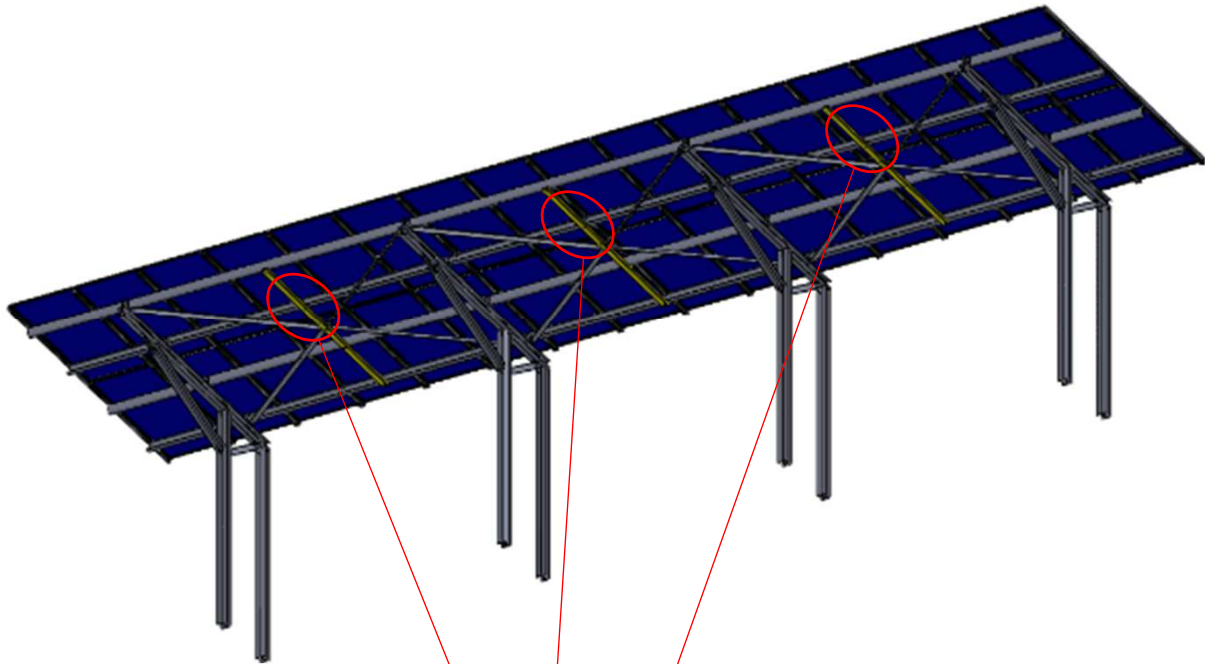
照明仮固定イメージ

- ※1. 照明は屋外用品を使用し、照明の取扱説明書に従い施工して下さい。
- ※2. ボルトには、ねじゆるみ止め用接着剤の塗布を推奨します。

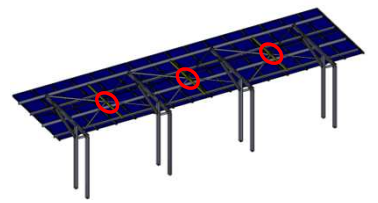


## 9-2. 照明取付け推奨位置

照明取付け位置は、母屋繋ぎの前方～後方までの任意の位置をお選び頂けますが、下図のように母屋繋ぎの中央から前方寄りの母屋直下付近を推奨します。照明を前方寄りに取付けることで、運転席、車両前方の通行路、前柱を効率よく照らすことができます。

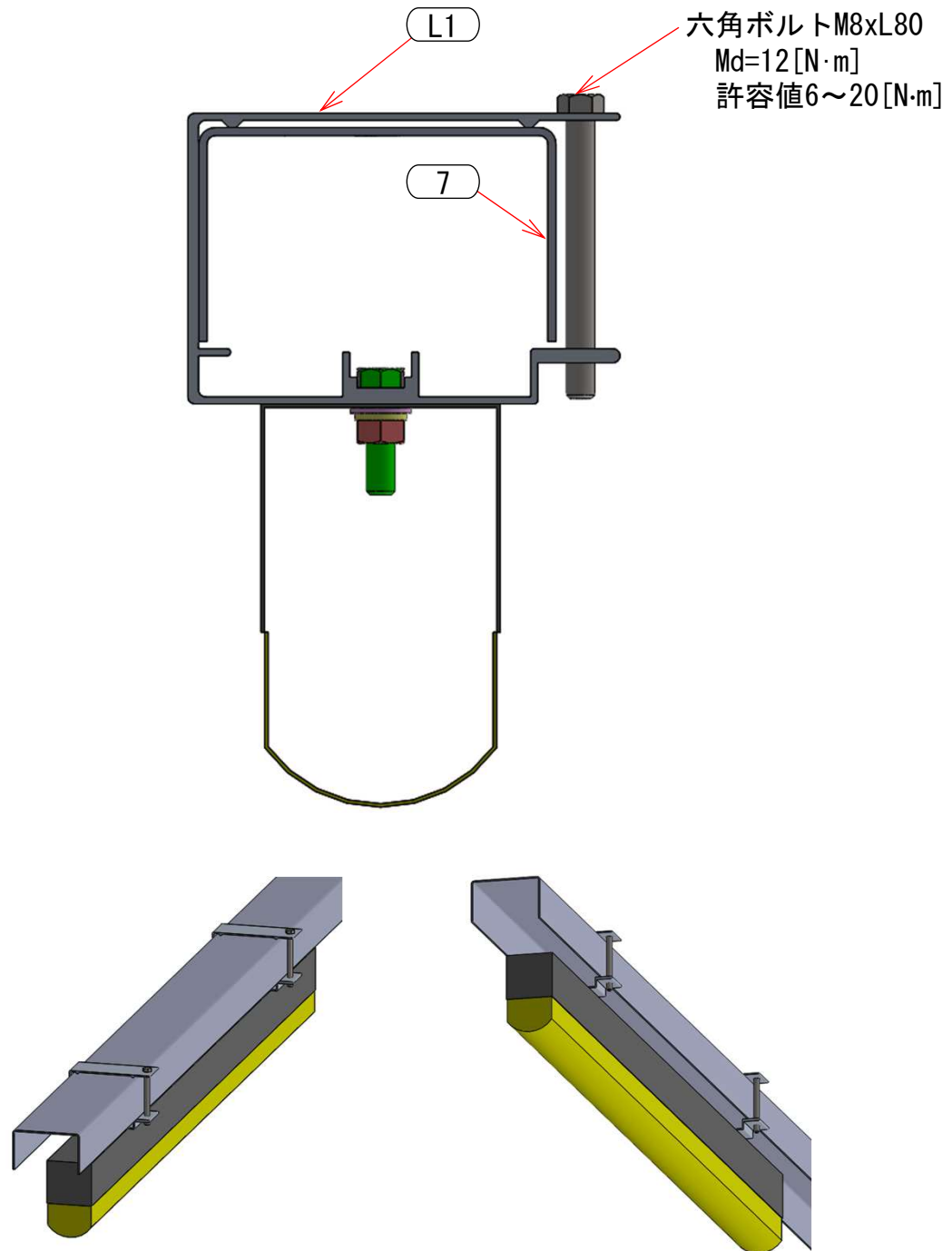


照明取付け推奨位置



### 9-3. 照明の取付け

照明取付金具の六角ボルトM8xL80を取外します。  
照明取付金具を下図のように母屋繫ぎに設置した後、  
取外した六角ボルトM8xL80を使用して、  
トルクMd=12[N・m] (許容値6~20[N・m])で締付けます。

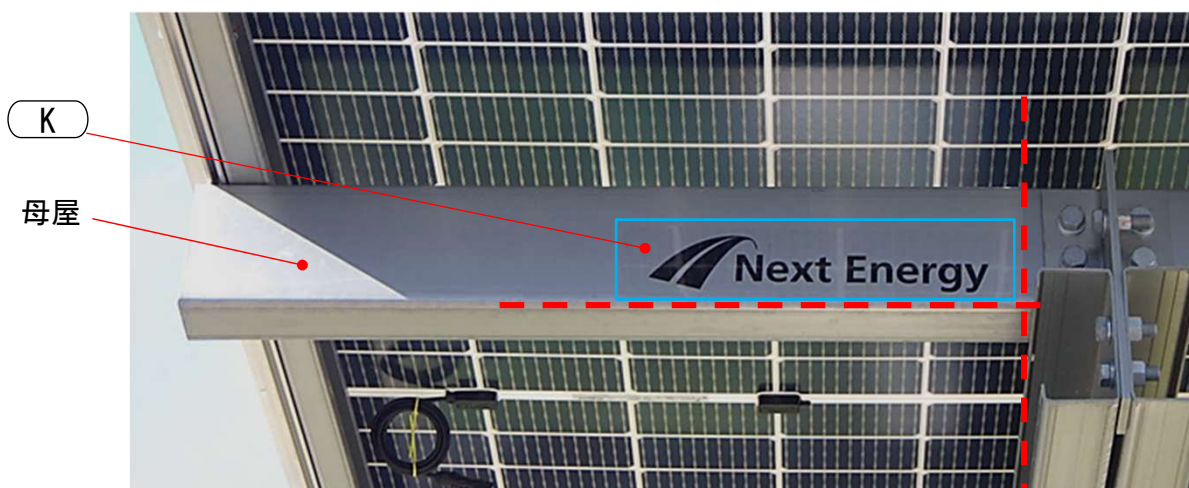
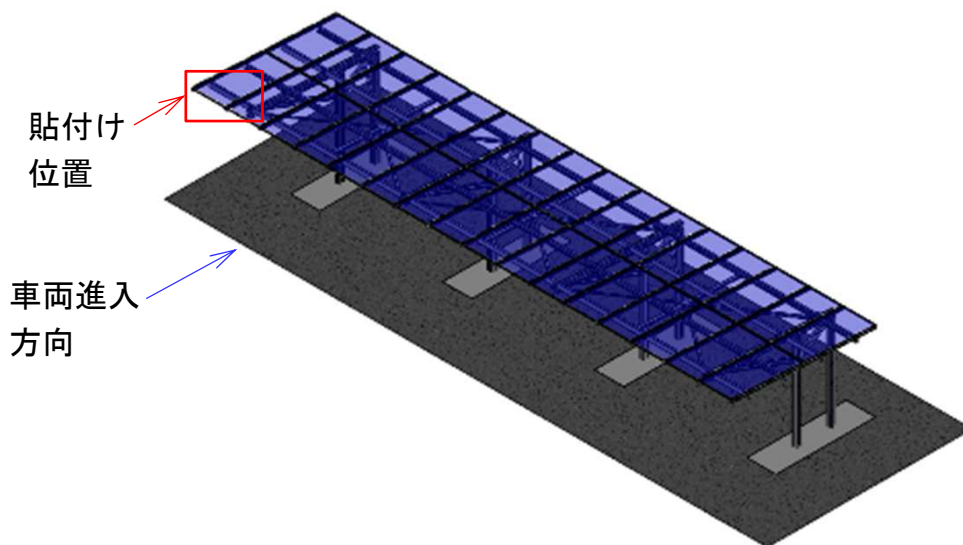


照明取付けイメージ

※. 締め過ぎにご注意ください

## 10. カーポート用ラベルシールの貼付け

- 1). 下図貼付け推奨位置※の母屋正面側を清掃して、ゴミや埃、油分を除去します。  
※. 配線等の関係でラベルシールが見えにくくなる場合は、貼付け位置を変更しても可とします。
- 2). カーポート用ラベルシールの右端を登り梁の延長線上に、下端を母屋の下端に合わせて、カーポート用ラベルシールの保護フィルムを端からゆっくり剥がし、ずれないように軽く指で押えながら、気泡やしわが入らないように貼付けます。



貼付け推奨位置

Dulight Spacious 組立作業手順書		
文書番号	NEMSAS DS212	Rev. 002A

## 組立作業手順書

*Dulight*<sup>®</sup>  
デュライト スペース  
**Spacious**

型式  
NER-DS2.1 背合せ仕様

承認	確認	作成
竹山	丸山	伊藤
2025. 03. 27	2025. 03. 27	2025. 03. 27

# 履 歴

改定	日付	内 容	担当	承認
001A	2024. 10. 22	初版発行	二田	竹山
002A	2025. 03. 27	変更(D-Lock締付トルク、許容値) ・ M8xL20、M8xL30 : 12 [N・m] (6~20 [N・m]) → 16 [N・m] (13~19 [N・m]) ・ M12xL45 : 42 [N・m] (33~60 [N・m]) → 56 [N・m] (48~64 [N・m]) 減勢アングルD締付トルク値変更 ・ 12 [N・m] (6~20 [N・m]) → 12 [N・m] (9~20 [N・m]) 3-3-1 (誤記訂正) 8-1. 2. 3題名変更 (表記変更)	伊藤	竹山

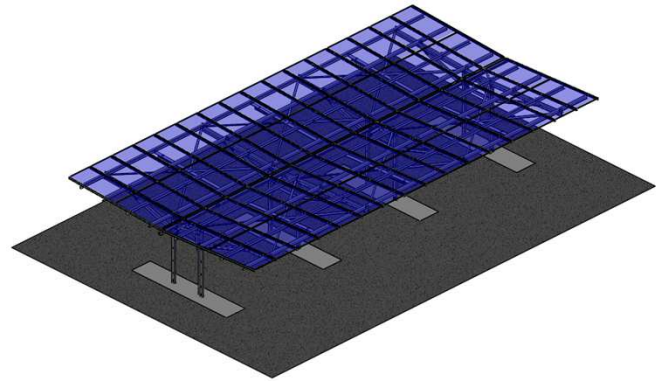
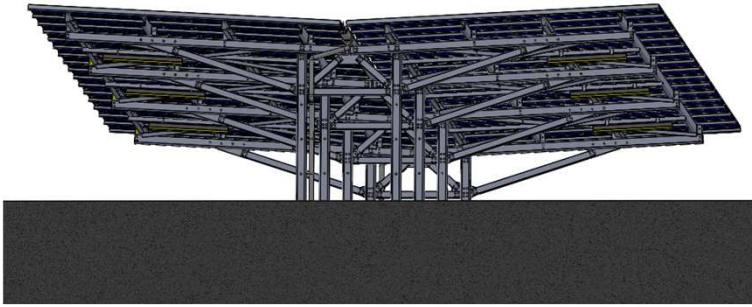


# 目 次

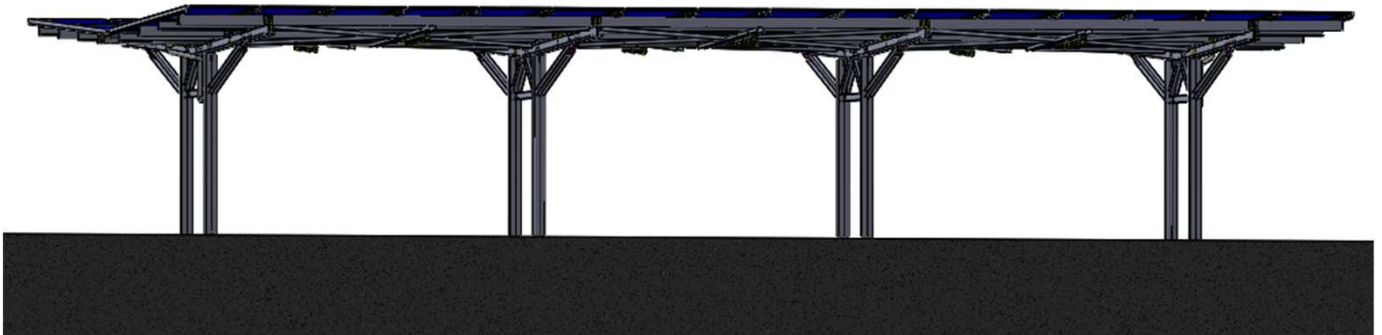
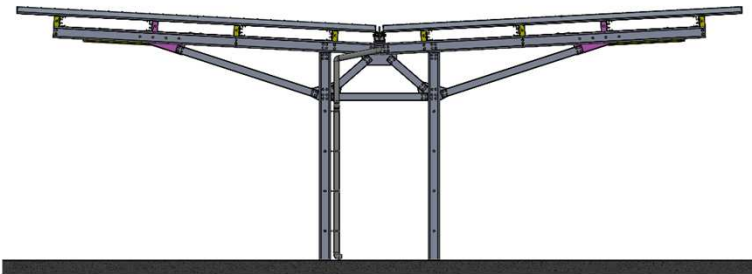
1. 架台の外観	1
2. パーツリスト	2
3. 柱の設置	5
3-1. 杭ベースの設置	6
3-2. 柱の組立て	8
3-2-1. 前柱部の組立て	8
3-2-2. 後柱部の組立て	9
3-2-3. ガセットプレート(連結)の組立て	10
3-3. 柱の設置	11
3-3-1. 柱の設置	11
3-3-2. 柱部の仮固定及びコンクリート打設	12
3-3-3. 登り梁の組立て	13
3-3-4. 登り梁の取付け	14
3-3-5. 斜材前の取付け	15
4. 母屋の取付け	16
4-1. 母屋の配置	16
4-2. 母屋の取付け	17
5. 垂木の取付け	18
6. 屋根ブレースの取付け	19
7. 太陽電池モジュールの取付け	21
7-1. 1段目太陽電池モジュールの取付け	21
7-2. 2段目太陽電池モジュールの取付け	25
8. 雨樋取付金具の取付け	26
8-1. 減勢アングルの分解	26
8-2. 減勢アングルの取付け	27
8-3. 横樋吊具の取付け	28
8-4. 横樋の取付け	29
8-5. 縦樋取付金具の取付け	30
9. 照明取付金具の取付け	31
9-1. 照明の仮固定	31
9-2. 照明取付け推奨位置	32
9-3. 照明の取付け	33
10. カーポート用ラベルシールの貼付け	34




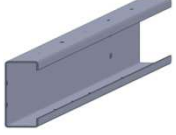
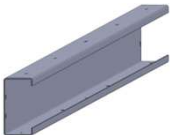
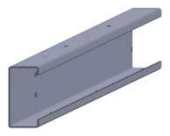
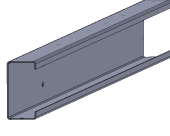
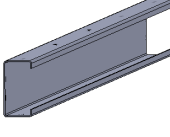
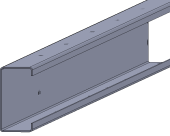
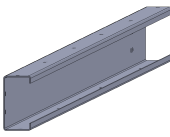
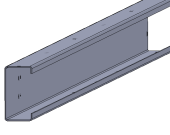
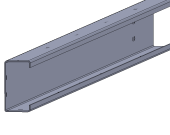
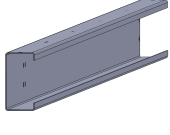
# 1. 架台の外観



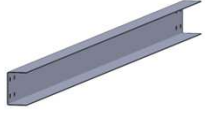
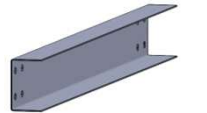






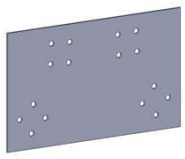


※. 図は太陽電池モジュールを透明化して示しています。

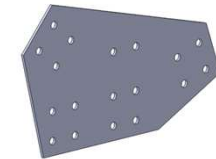
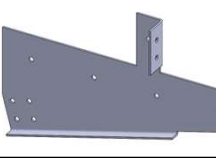
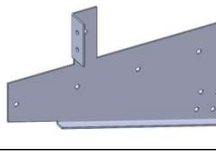
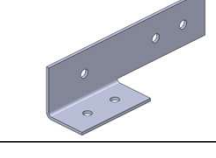
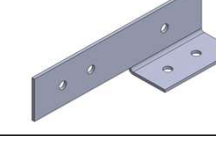
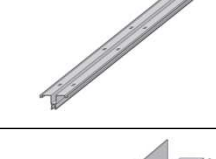
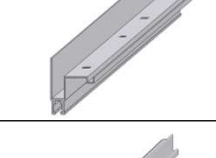
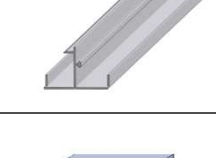
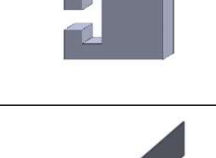




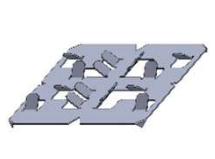
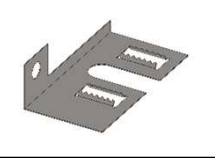
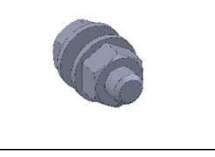
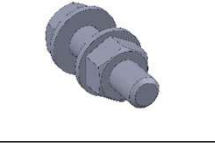
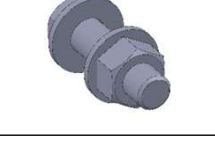
## 2. パーツリスト 架台本体部材

符号	部材番号 部材名称	外観
①	SAN-F1STA-002 垂木 C-60x30x10x1.6 (L=4945)	
②-1	SAN-F1SMA-002 母屋A C-150x75x20x3.2 (L=6618)	
②-2	SAN-F1SMB-002 母屋B C-150x75x20x3.2 (L=5190)	
②-3	SAN-F1SMC-002 母屋C C-150x75x20x3.2 (L=6618)	
②-4	SAN-F1SMD-002 母屋D C-150x75x20x3.2 (L=6718)	
②-5	SAN-F1SME-002 母屋E C-150x75x20x3.2 (L=4990)	
②-6	SAN-F1SMF-002 母屋F C-150x75x20x3.2 (L=6718)	
②-7	SAN-F1SMG-002 母屋G C-150x75x20x3.2 (L=5756)	
②-8	SAN-F1SMH-002 母屋H C-150x75x20x3.2 (L=5756)	
②-9	SAN-F1SMJ-002 母屋J C-150x75x20x3.2 (L=5756)	
②-10	SAN-F1SMK-002 母屋K C-150x75x20x3.2 (L=5756)	

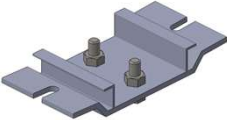

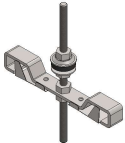
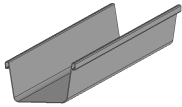
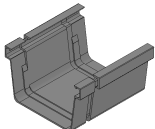
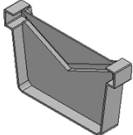
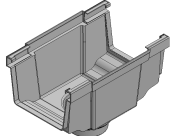


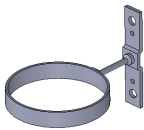
符号	部材番号 部材名称	外観
③-2	SAN-F1SNA-003 登り梁D C-150x75x20x3.2 (L=4478.5)	
④-3	KUI-F1S03-001 柱D C-150x75x20x4 (L=3655)	
⑤-1	BRA-F1S01-002 斜材SDF C-100x60x2.3 (L=2040)	
⑤-3	BRA-F1S05-001 斜材DR C-100x60x2.3 (L=668)	
⑥	BRA-F1S06-001 水平繋ぎ C-100x60x2.3 (L=1330)	
⑦	KNG-F1SCA-002 母屋繋ぎ C-100x60x2.3 (L=3755)	
⑧-1	BRA-F1S03-002 屋根ブレースA L-60x60x2.3 (L=3015.5)	
⑧-2	BRA-F1S04-002 屋根ブレースB L-60x60x2.3 (L=2936)	
⑨	KNG-F1SBA-002 屋根面プレート PL-t3.2	
⑩-1	KNG-F1SBB-002 ガセットプレート (柱頭) SDF PL-t4.5	
⑪	KNG-F1SBJ-001 ガセットプレート (連結) PL-t4.5	

## 2. パーツリスト 架台本体部材

符号	部材番号 部材名称	外観
(12-2)	KNG-F1SBK-001 ガセットプレート (中間) D PL-t4.5	
(13-3)	KNG-F1SBL-001 ガセットプレート (先端) DA PL-t4.5	
(13-4)	KNG-F1SBM-001 ガセットプレート (先端) DB PL-t4.5	
(14-1)	KNG-F1SAA-002 母屋受金具A PL-t4.5	
(14-2)	KNG-F1SAB-002 母屋受金具B PL-t4.5	
(15)	KNG-AORAF-001 隙間樋 (アルマイト処理無) (L=4940)	
(16)	KNG-A1RAJ-001 端部樋30 (アルマイト処理有) (L=4940)	
(17)	KNG-AORAP-001 レインモール PB30 (1134) (アルマイト処理無)	
(18)	KNG-AOSPF-001 スペーサーS (アルマイト処理無)	
(19-1)	KNG-F1SBG-002 柱スペーサA PL-t4.5	
(19-2)	KNG-A1SBA-001 柱スペーサB (アルマイト処理有)	

符号	部材番号 部材名称	外観
(20)	KNG-F1BAF-001 杭ベース	
(21)	KNG-SOEPK-001 アースプレートP	
(D1)	PUR-F1BTC-001 D-Lock M8xL20 (ボルト-ナット)	
(D2)	PUR-F1BTC-002 D-Lock M8xL30 (全ネジ) (ボルト-ナット)	
(D3)	PUR-F1BTB-001 D-Lock M12xL45 (全ネジ) (ボルト-ナット)	

## 2. パーツリスト 付属品部材

符号	部材番号 部材名称	外観
R2	PRA-LC8AB-0A2 減勢アングルD ブリアセンブル	
R5	PUR-S0BTE-001 六角フランジボルト M4xL15 (セレーション無)	
R7	PUR-F1AME-002 164108 AKセツパンツリ 88 (横樋吊具)	
R9	PUR-ROAMA-002 105323 セツパントイ (横樋)	
R11	PUR-ROAMB-008 083324 Aセツハンシンシク2	
R13	PUR-ROAMB-005 081320 Aセツパントマリ	
R15	PUR-ROAMB-006 091121 Aセツハンジョゴ	
R17	PUR-ROAMD-003 021128 Aエルボ(φ75)	
R19	PUR-ROAMC-002 110327 タテトイ(縦樋φ75)	
R21	PUR-F1AME-003 AA6233375 キャッチャーT字 デンデン(φ75) (縦樋控具φ75)	

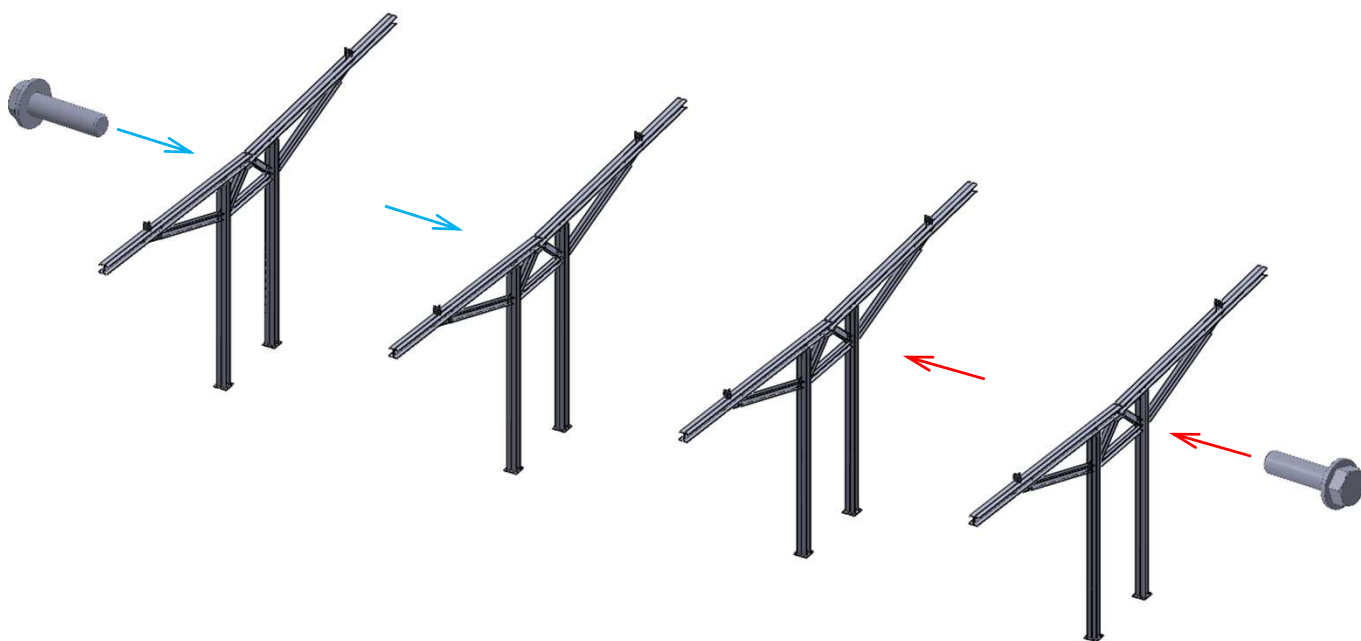
符号	部材番号 部材名称	外観
R23	KNG-A0BAQ-001 縦樋取付金具S2	
R24	HDS-S0S42-025 タッピングビス ST4. 2xL25	
L1	PRA-LCEAB-0A1 照明取付金具S2 ブリアセンブル	
K	カーポート用 ラベルシール	

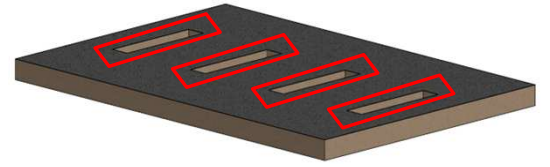
### 3. 柱の設置

#### ボルトの向きについて

各柱部(柱及び登り梁、ガセットプレート)のボルトの向きは、  
下図のように行います。

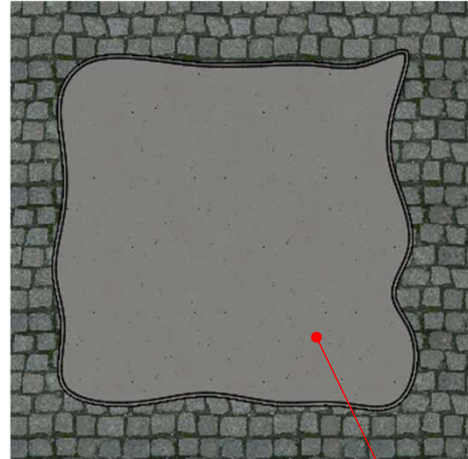
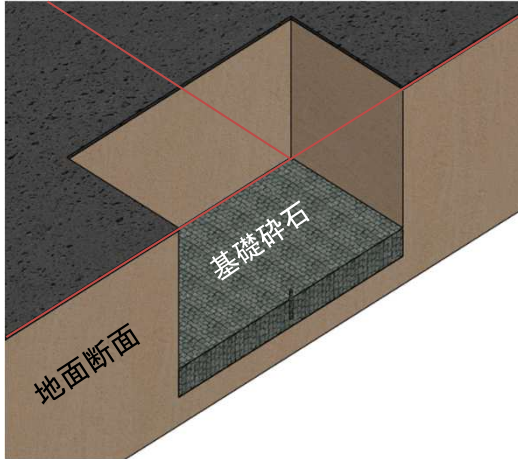
※. 逆向きでも性能に支障をきたすことはありません。





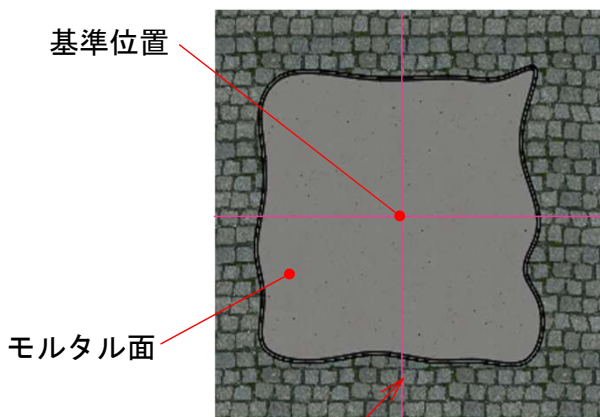
### 3-1. 杭ベースの設置

- 1). 柱設置個所の地面を所定の深さまで掘削した後、基準位置を中心として縦横幅300mm程度のモルタル面を作成します。

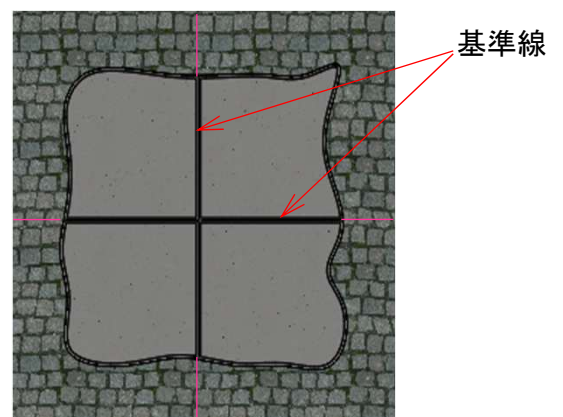


モルタル面

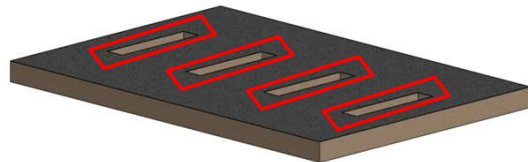
- 2). 基準位置に合わせてモルタル面に基準線を入れます。



設置基準線

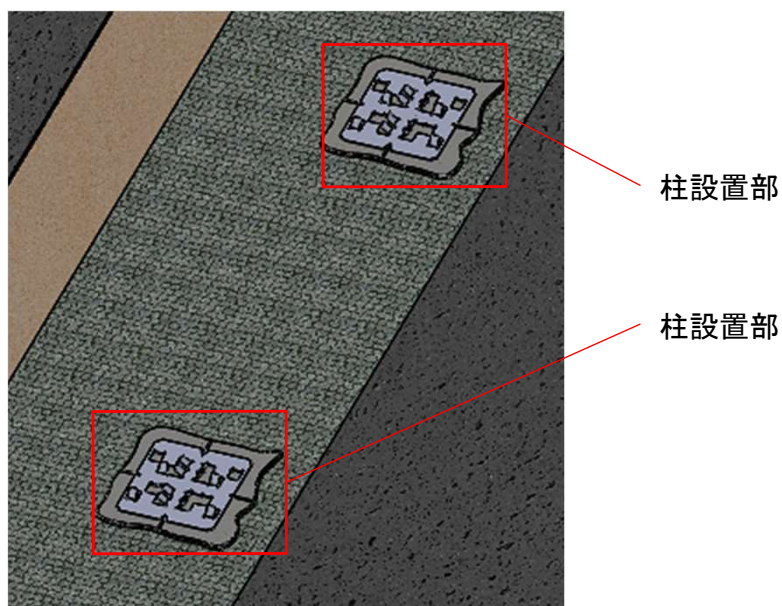
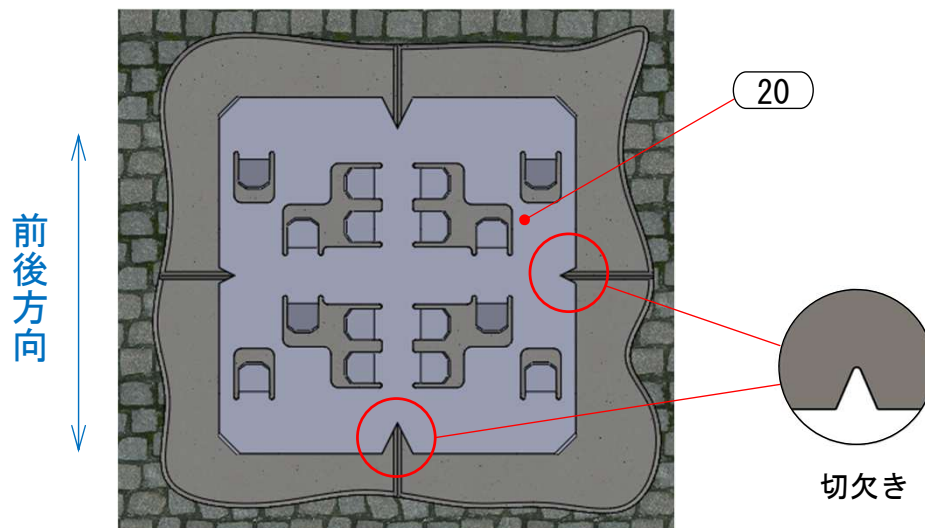




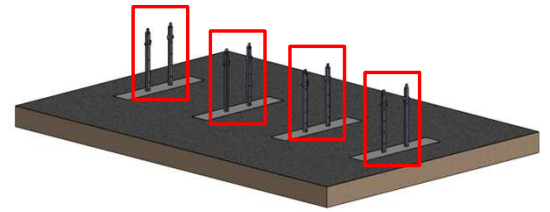


- 3). 杭ベースの切欠きをモルタル面の基準線に合わせて、水平を出しながら設置します。

※. 杭ベースの向きに注意してください。



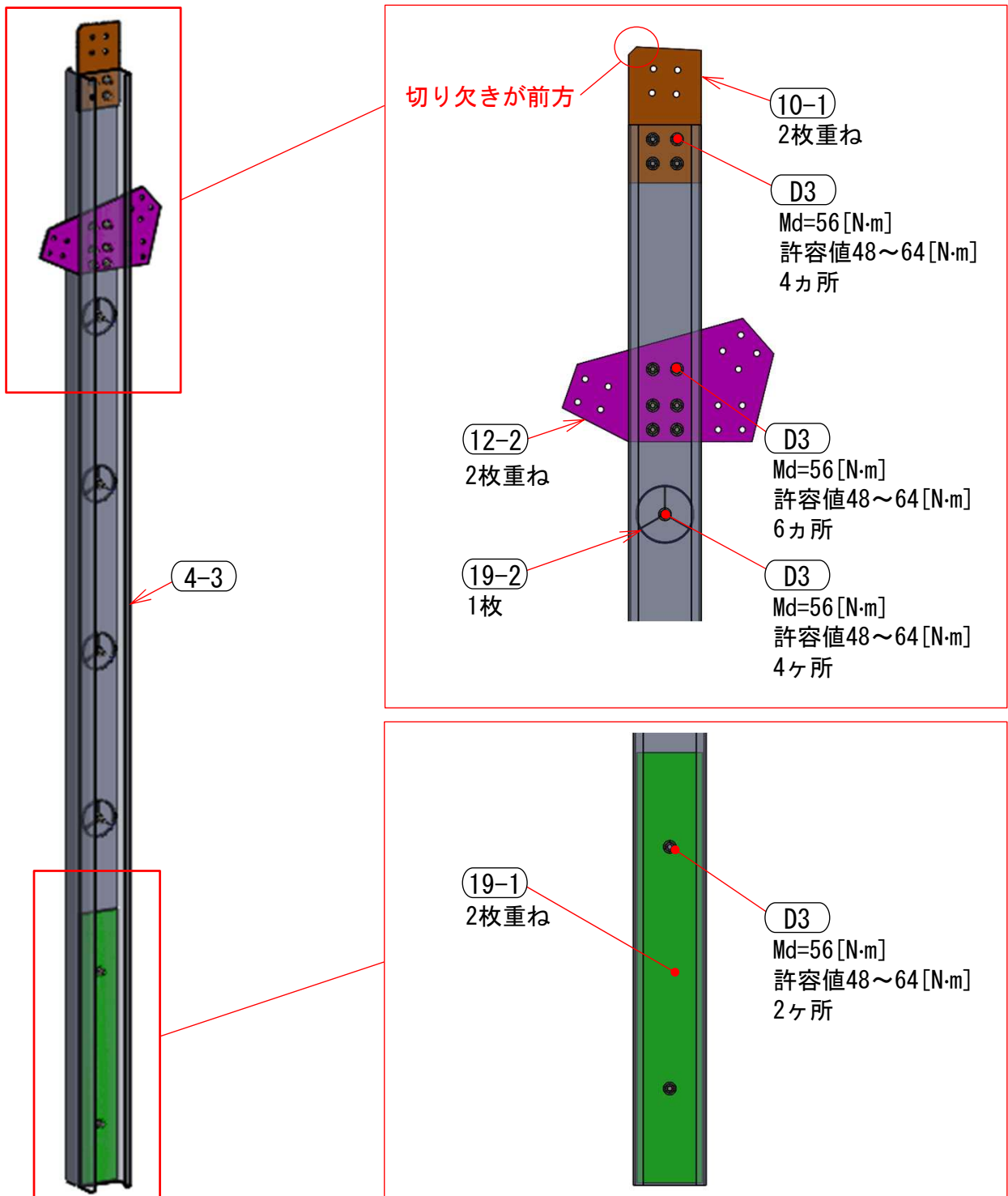




## 3-2. 柱の組立て

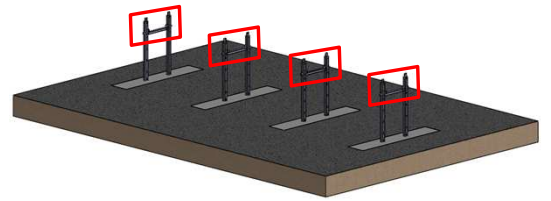
### 3-2-1. 柱の組立て

下図のように、2本背合せで構成される柱Dの間に、柱スペーサA、柱スペーサB、ガセットプレート(中間)D、ガセットプレート(柱頭)SDFをD-Lockボルト(M12xL45)で取付けて、トルクMd=56[N・m] (許容値48~64[N・m])<sup>※1</sup>で締付けます。



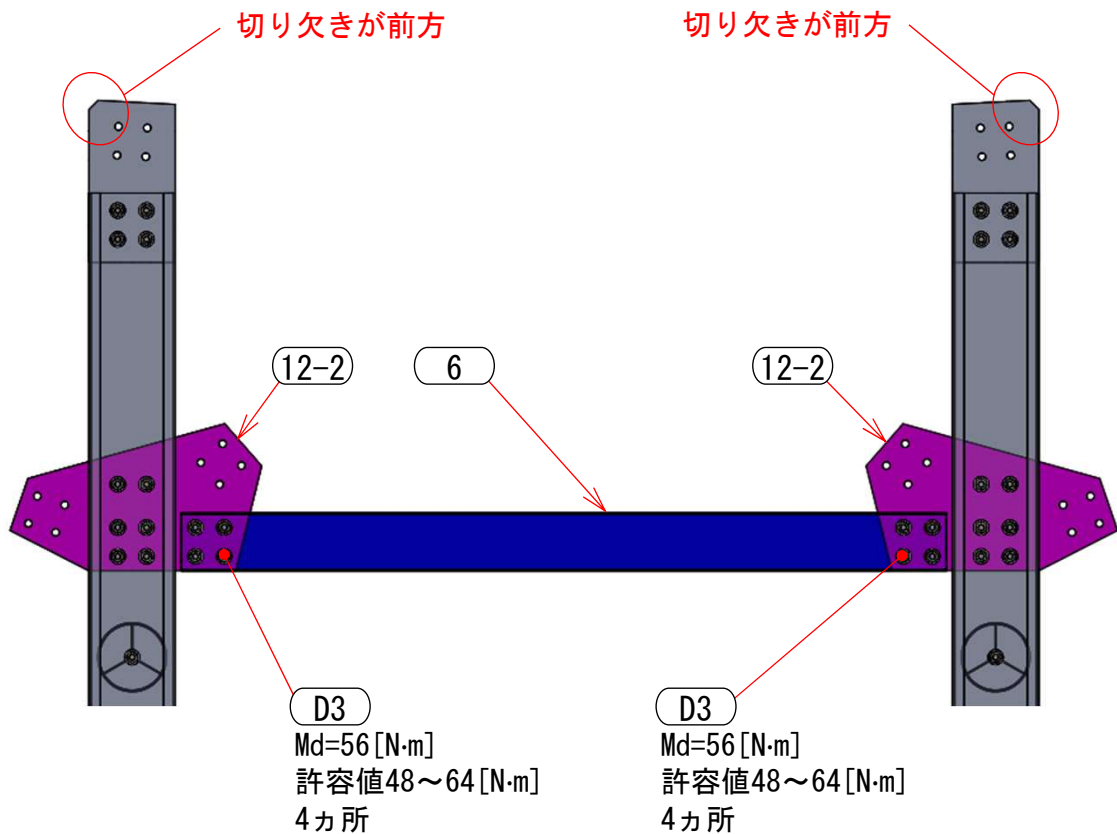
※1. 締め過ぎにご注意ください。

※2. 部材メッキ層に傷がついた場合には、次工程に移る前にローバル等により補修してください。



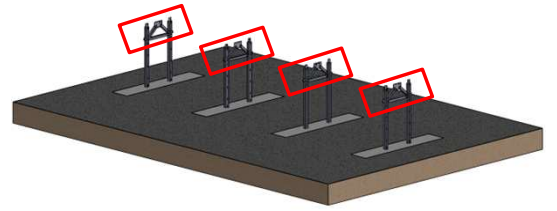
### 3-2-2. 水平繋ぎの取付け

下図のように、各水平繋ぎを2本使用して、各柱のガセットプレート(中間)Dを背合せで挟み、D-Lockボルト(M12xL45)でトルクMd=56[N・m] (許容値48~64[N・m])※1により取付けます。



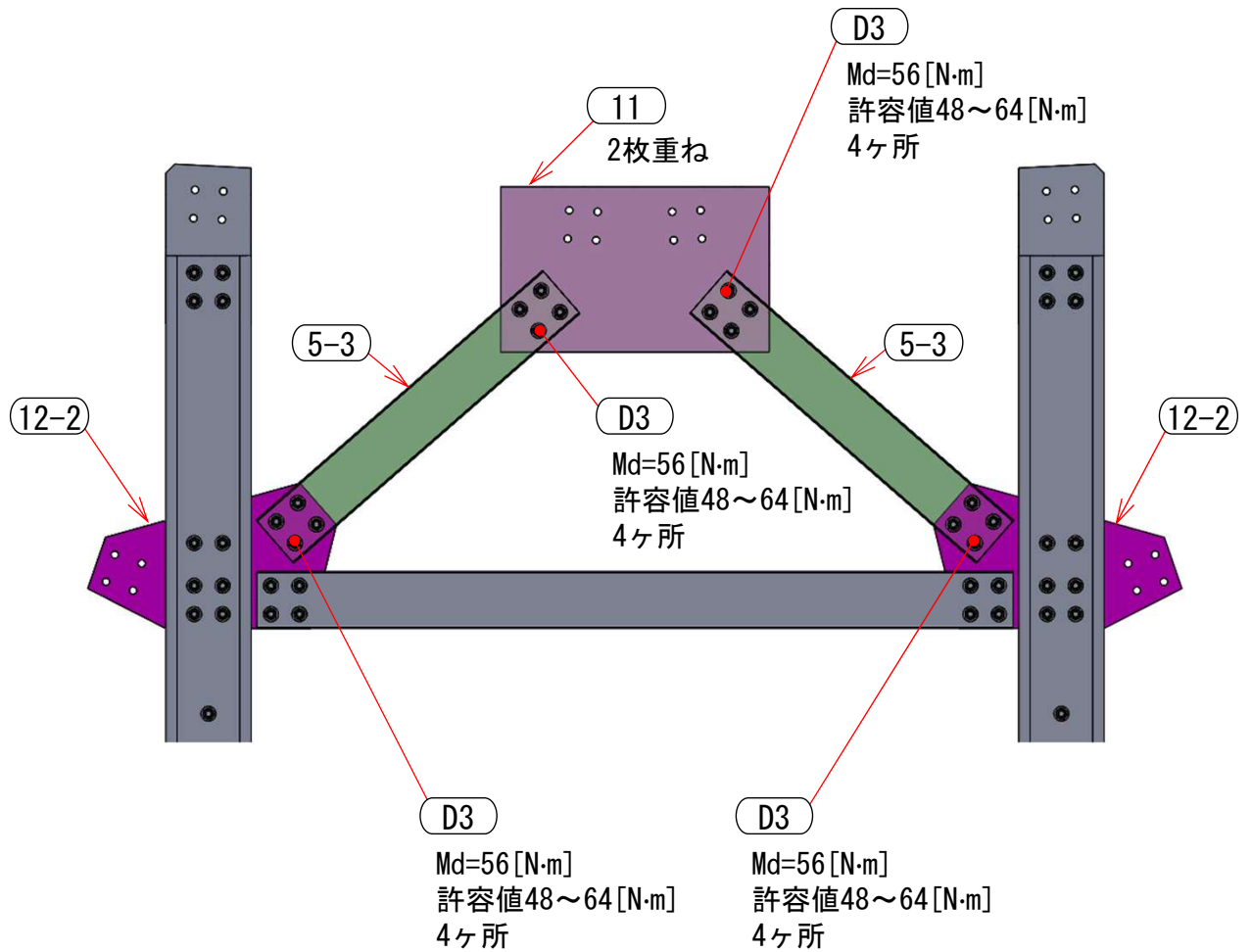
※1. 締め過ぎにご注意ください。

※2. 部材メッキ層に傷がついた場合には、次工程に移る前にローバル等により補修してください。



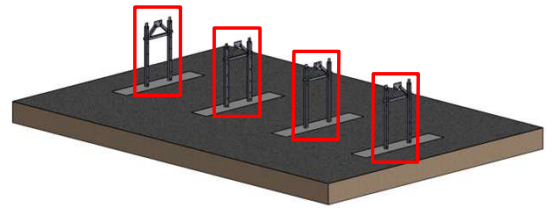
### 3-2-3. ガセットプレート(連結)の組立て

下図のように、2本背合せにした斜材DRの間に2枚1組のガセットプレート(連結)をD-Lockボルト(M12xL45)で取付けて、トルクMd=56[N・m] (許容値48~64[N・m])<sup>※1</sup>で締付けます。



※1. 締め過ぎにご注意ください。

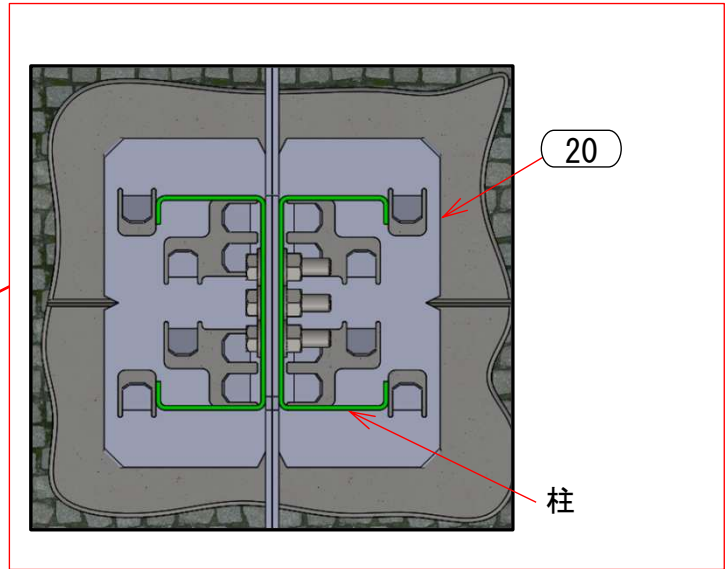
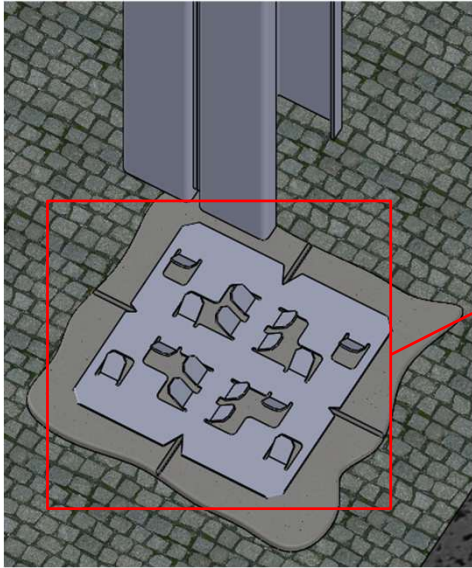
※2. 部材メッキ層に傷がついた場合には、次工程に移る前にローバル等により補修してください。



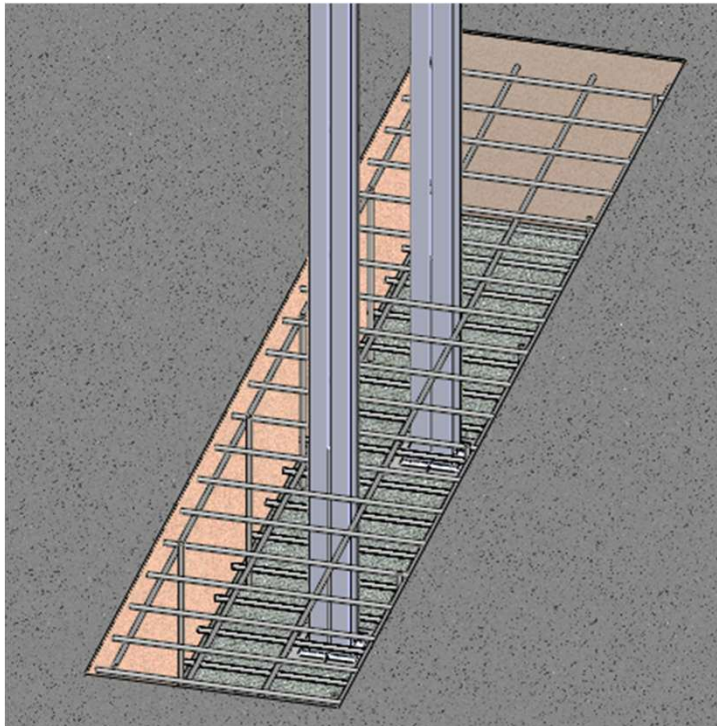
### 3-3. 柱の設置

#### 3-3-1. 柱の設置

- 1). モルタル面が固まったことを確認し、下図のように柱をそれぞれ杭ベースに載せます。

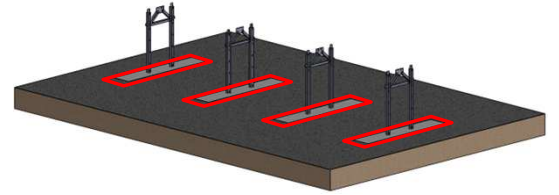


- 2). コンクリート基礎の補強用に鉄筋を組立てます。



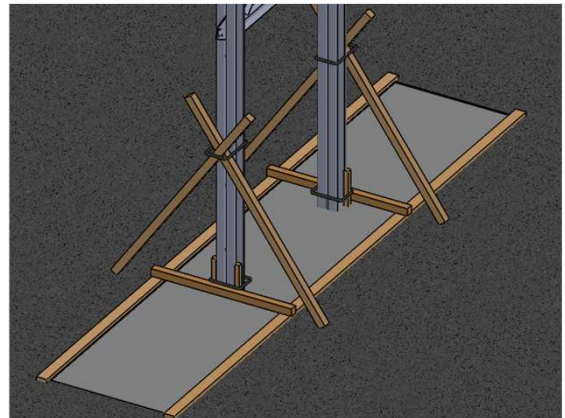
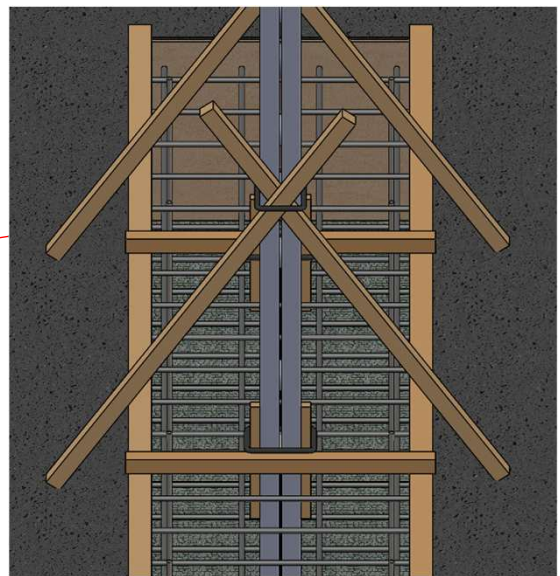
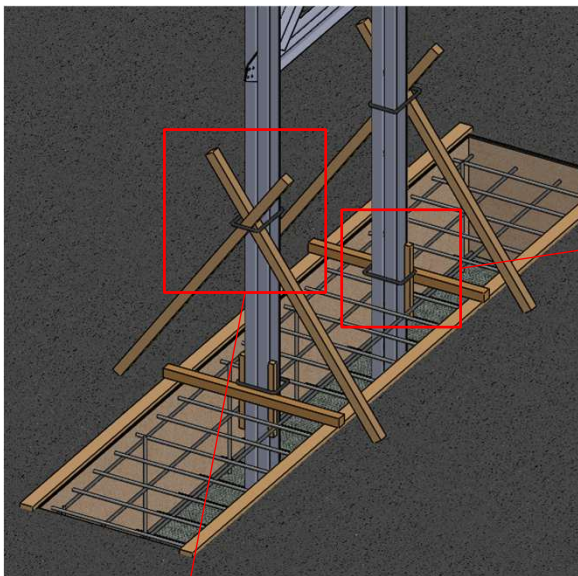
鉄筋組立て例



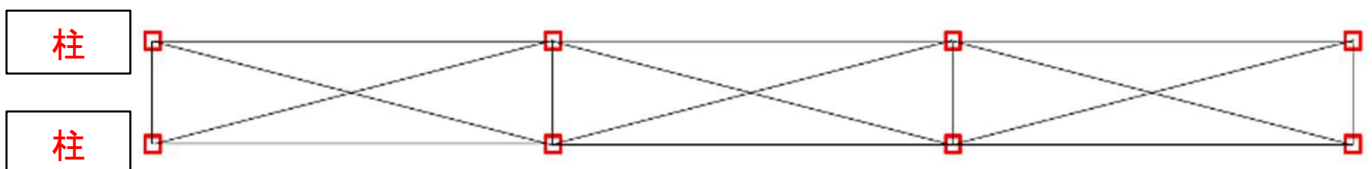


### 3-3-2. 柱部の仮固定及びコンクリート打設

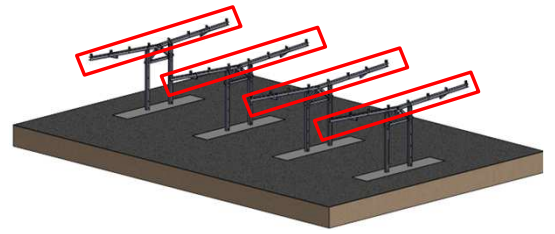
- 1). 柱から下げ振り(錘垂)を垂らして柱の鉛直度を確認し、水平方向と鉛直方向を固定します。  
下図に栈木による筋交いやゴムバンドによる結束方法の例を示します。  
**※. 水平器では十分な鉛直度を確保できませんのでご注意ください。**
- 2). 柱の設置精度を再度確認した後、コンクリートを打設します。
- 3). 柱位置のコンクリート天端が低くならないように(水溜まりができないように)配慮しながら天端を均し、金ゴテ仕上げを行います。



**※. オプション品の柱間固定治具を使用することで、柱の間隔、対角、直角度を精度良く確保することが可能です。**

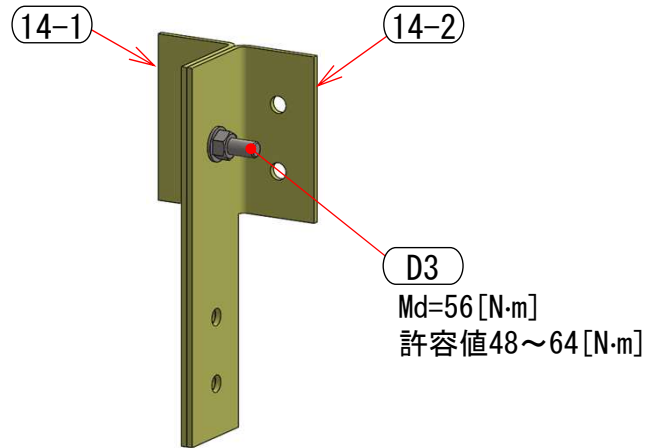


柱間固定治具の例

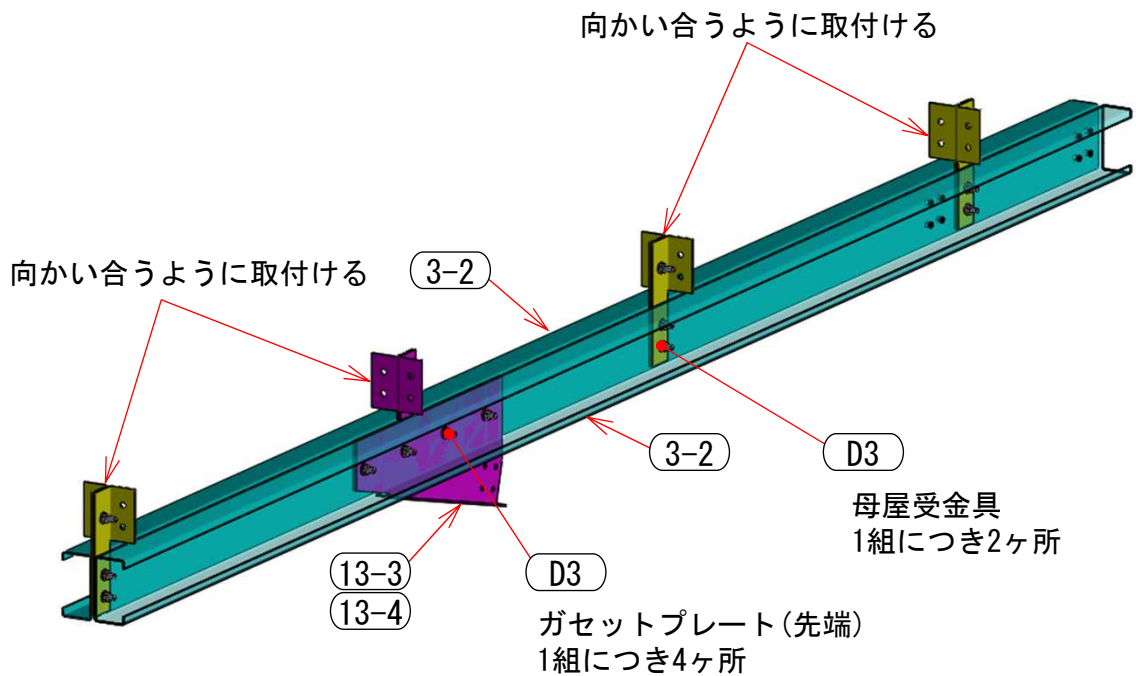


### 3-3-3. 登り梁の組立て

- 1). 下図のように、2枚1組の母屋受金具をD-Lockボルト (M12xL45) で組立て、トルクMd=56 [N・m] (許容値48~64 [N・m]) ※1で締付けます。

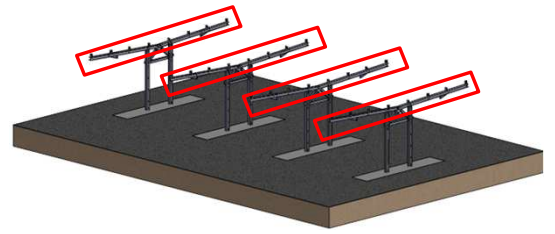


- 2). 登り梁Dに、組立てた母屋受金具、2枚1組のガセットプレート (先端) をD-Lockボルト (M12xL45) で取付けて、仮締めします。



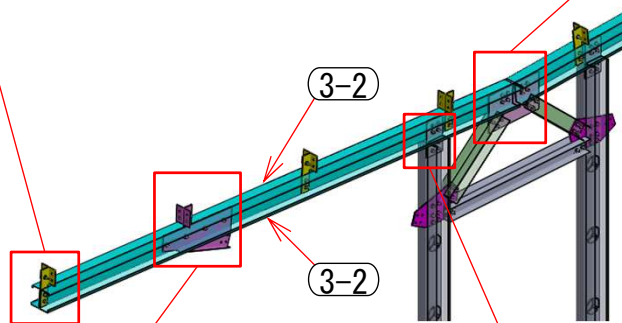
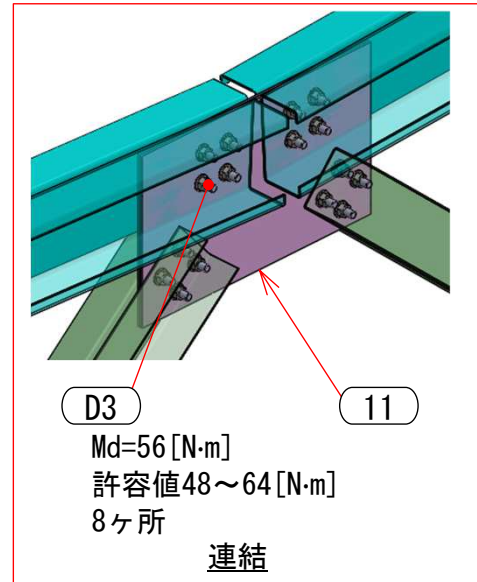
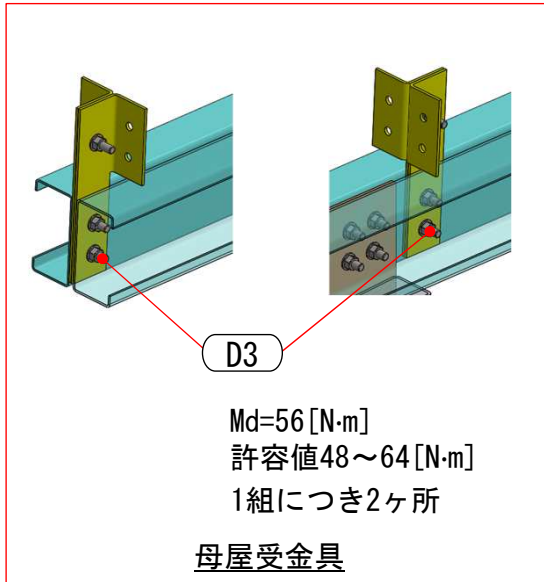
※1. 締め過ぎにご注意ください。

※2. 部材メッキ層に傷がついた場合には、次工程に移る前にローバル等により補修してください。

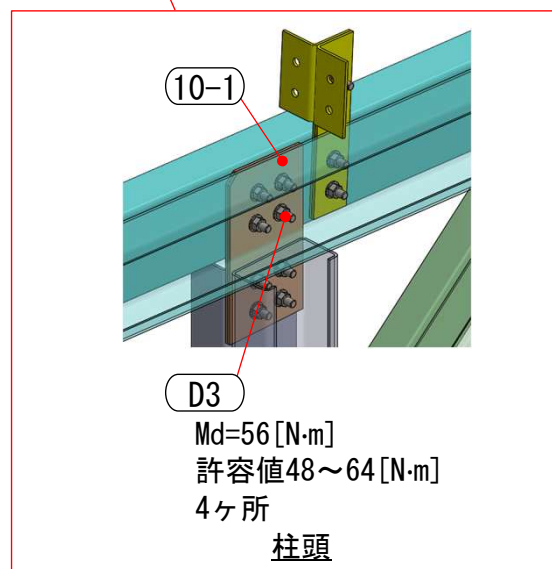
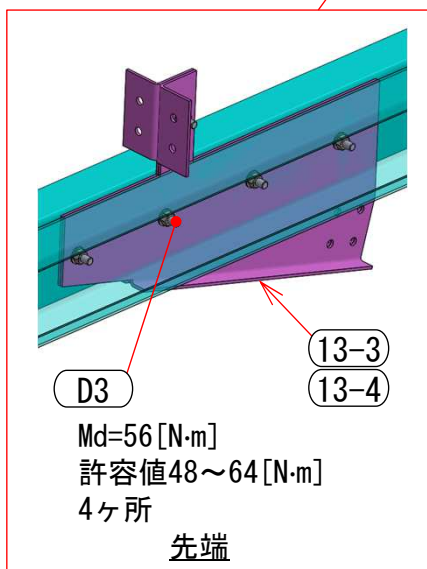


### 3-3-4. 登り梁の取付け

下図のように、組立てた登り梁DをD-Lockボルト (M12xL45) で柱部に取付け、トルクMd=56 [N・m] (許容値48~64 [N・m])※1で締付けます。



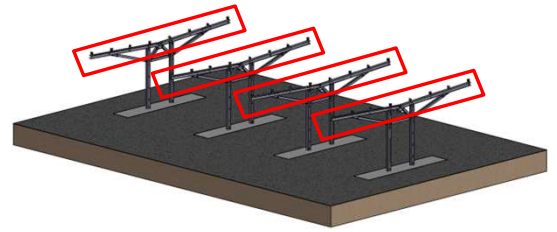
※. 反対側の登り梁Dも同様の内容の為、図示を省略します。



※1. 締め過ぎにご注意ください。

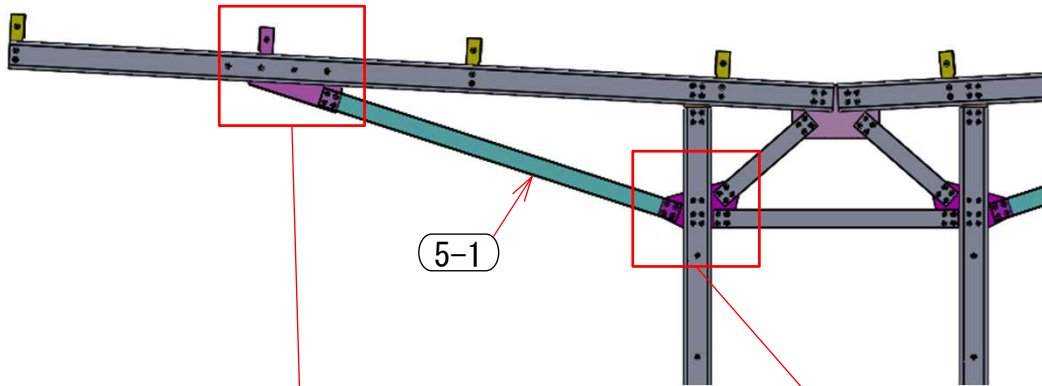
※2. 部材メッキ層に傷がついた場合には、次工程に移る前にローバル等により補修してください。



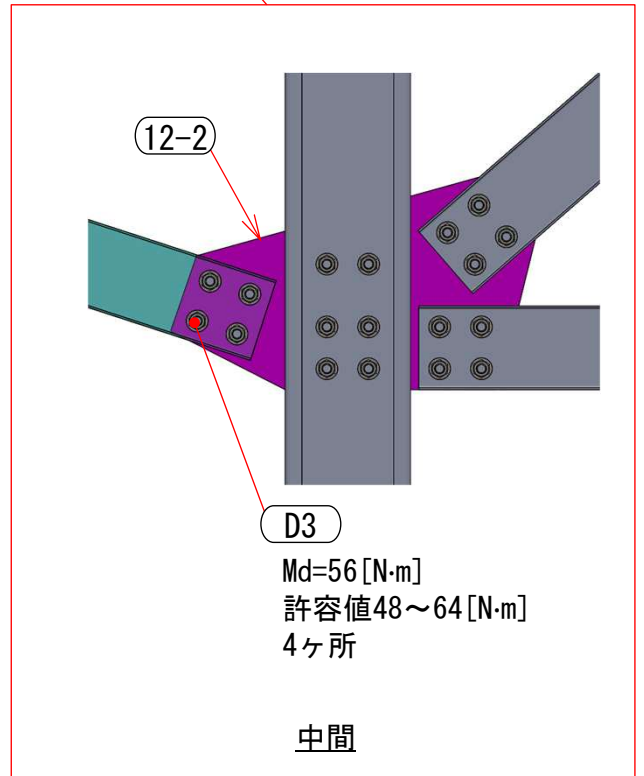
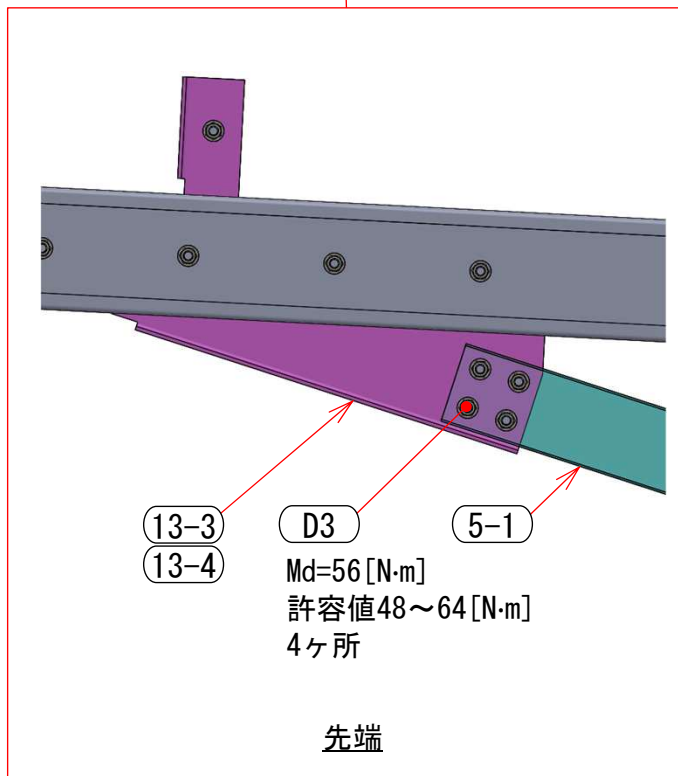


### 3-3-5. 斜材前の取付け

下図のように、柱部のガセットプレート(中間)Dと  
 登り梁S先端のガセットプレート(先端)を繋ぐように、  
 2本背合せで斜材SDFをD-Lockボルト(M12xL45)で取付けて、  
 トルクMd=56[N・m] (許容値48~64[N・m])※1で締付けます。



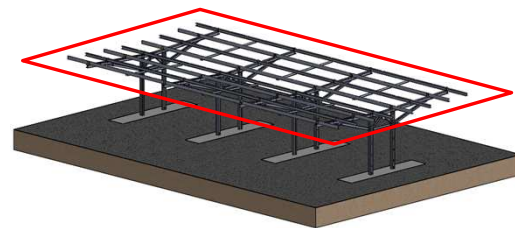
※. 反対側の斜材前も同様の  
 内容の為、図示を省略します。



※1. 締め過ぎにご注意ください。

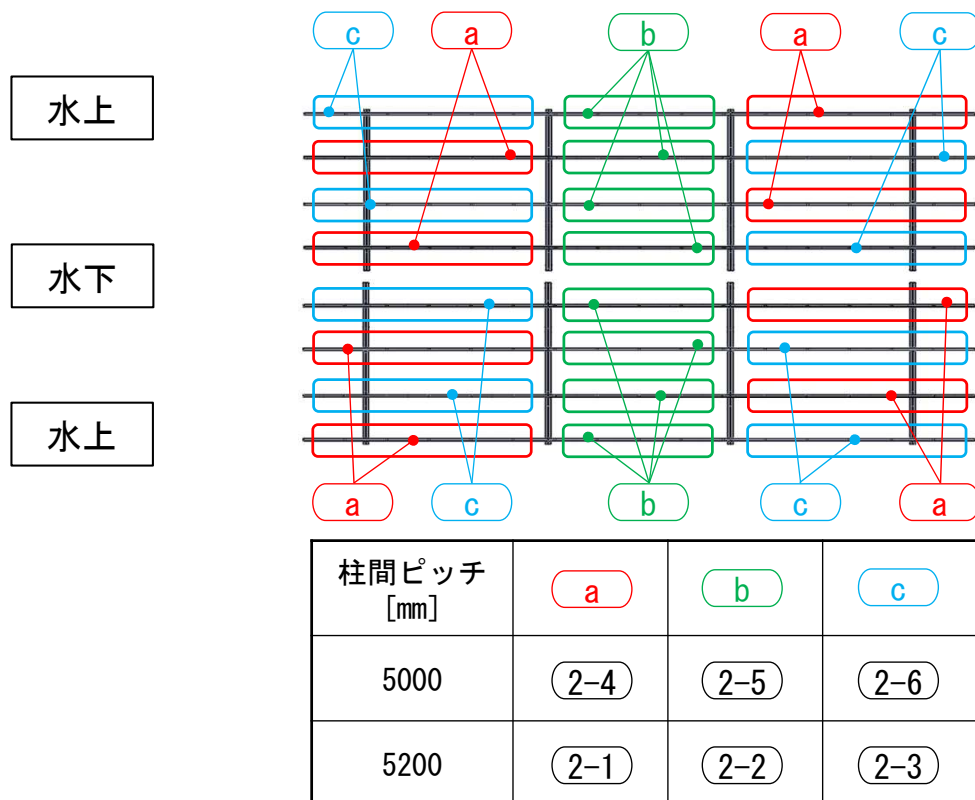
※2. 部材メッキ層に傷がついた場合には、次工程に移る前にローバル等により補修してください。

## 4. 母屋の取付け

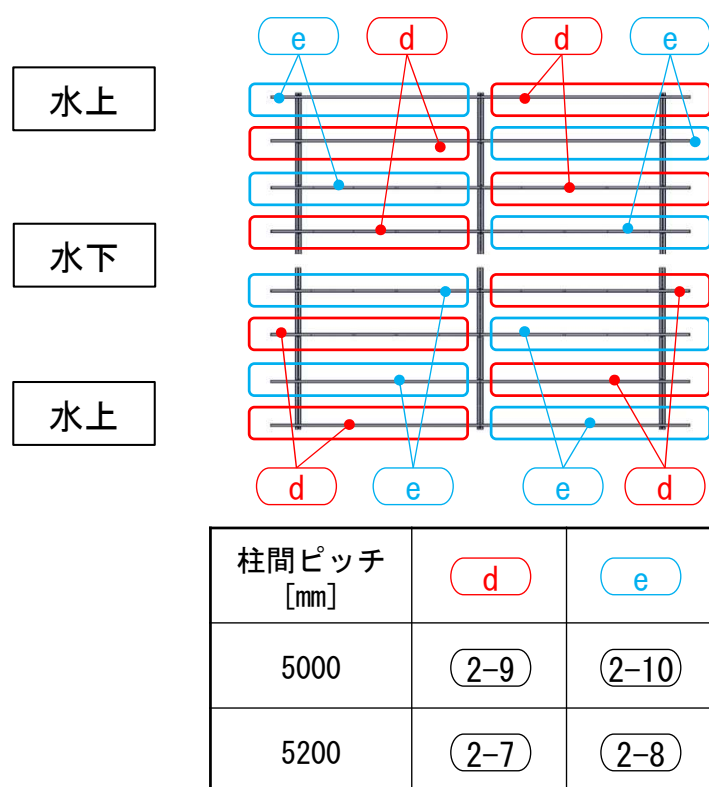


### 4-1. 母屋の配置

母屋は各仕様により、下記のように配置します。

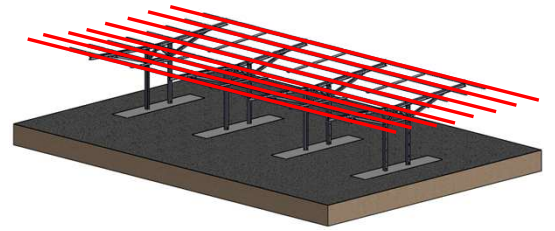


背合せ12台仕様の場合

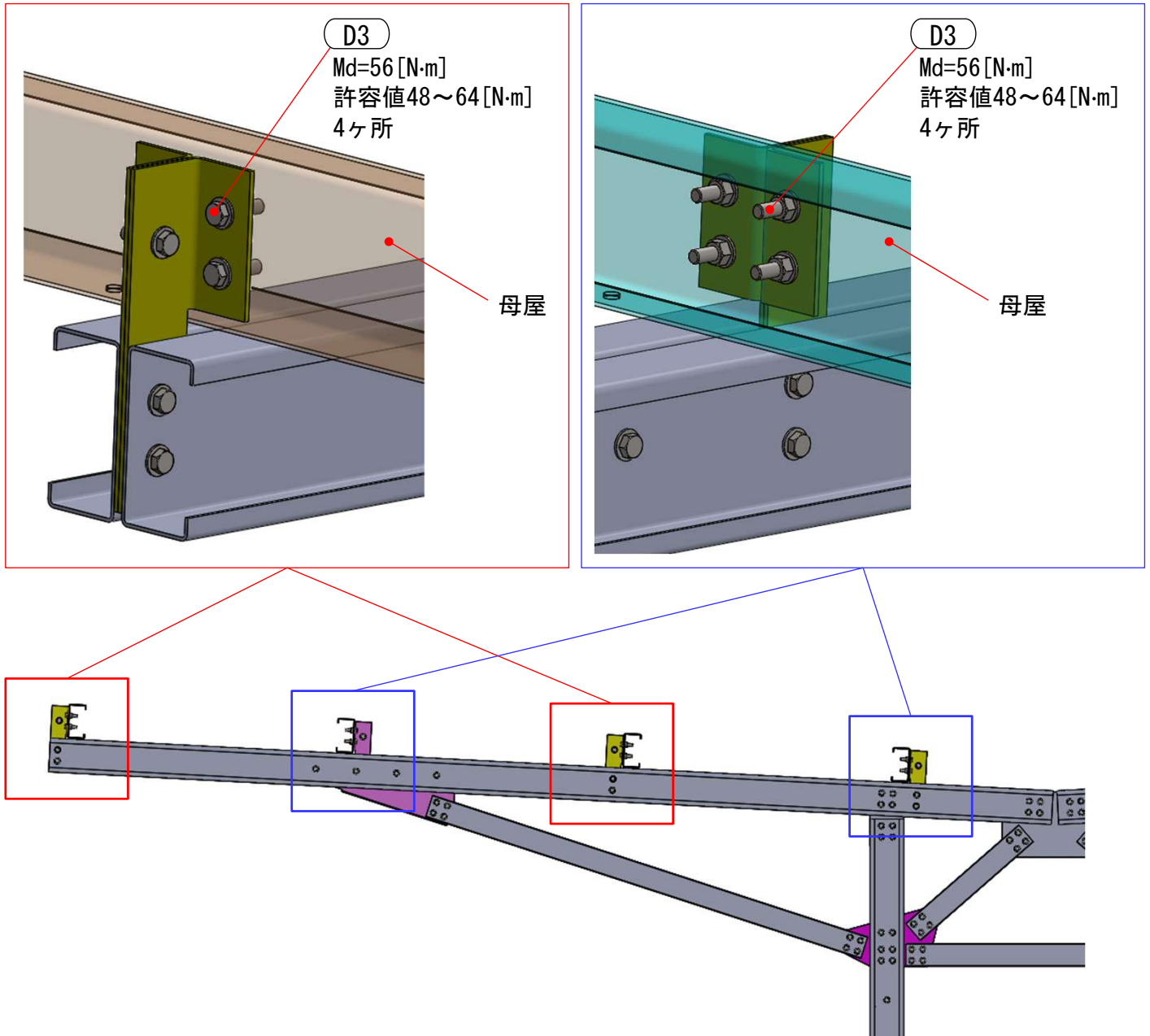


背合せ8台仕様の場合

## 4-2. 母屋の取付け



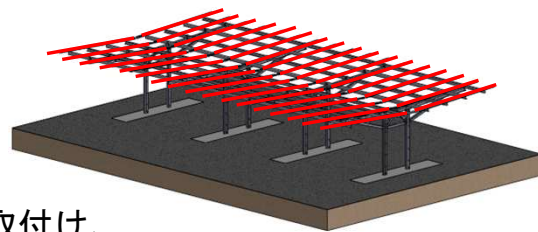
下図のように母屋が向い合せになるようにD-Lockボルト (M12xL45) で取付け、トルクMd=56 [N・m] (許容値48~64 [N・m])※1で締付けます。反対側も同様に施工します。



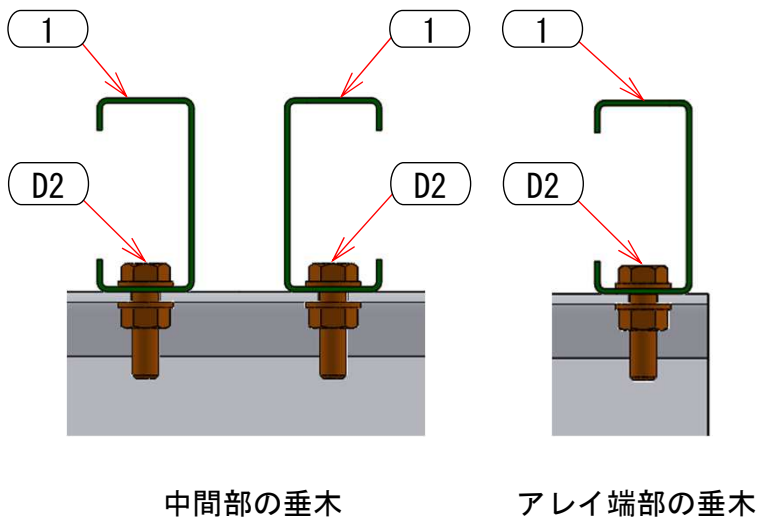
※1. 締め過ぎにご注意ください。

※2. 部材メッキ層に傷がついた場合には、次工程に移る前にローバル等により補修してください。

## 5. 垂木の取付け



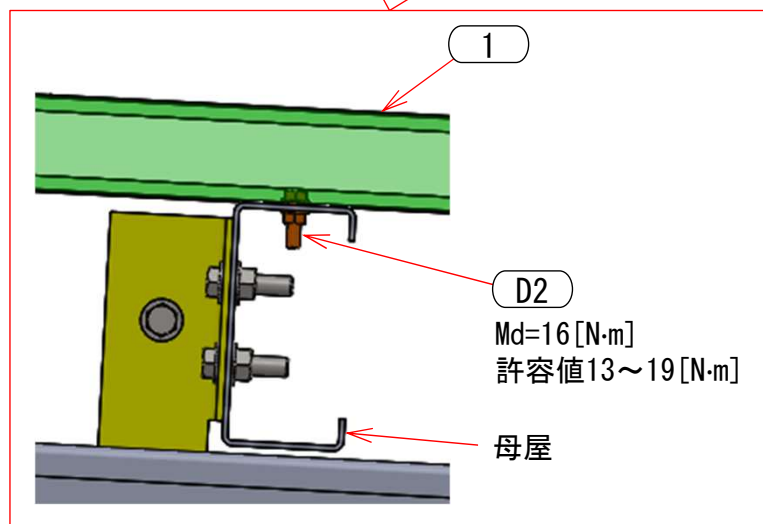
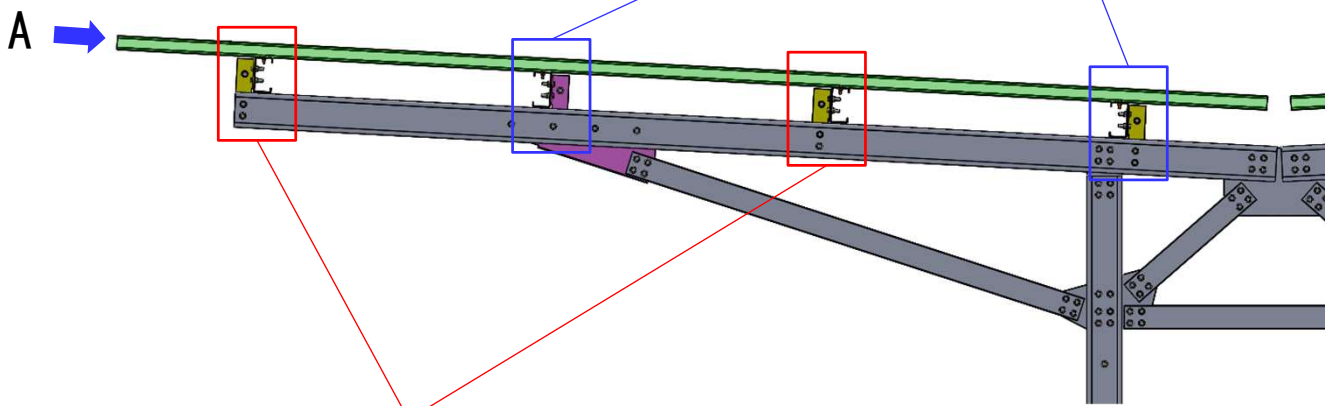
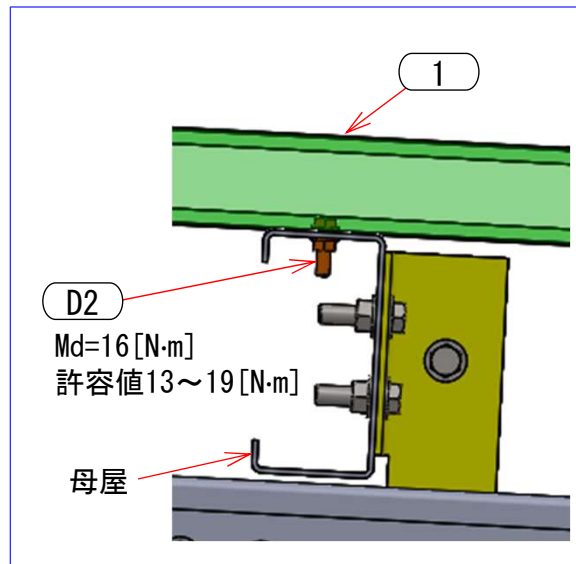
下図のように垂木をD-Lockボルト (M8xL30) で取付け、トルクMd=16 [N・m] (許容値13~19 [N・m]) ※1で締付けます。



中間部の垂木

アレイ端部の垂木

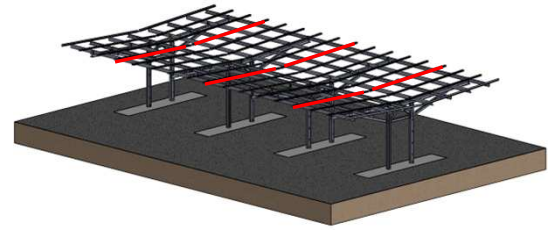
A矢示図



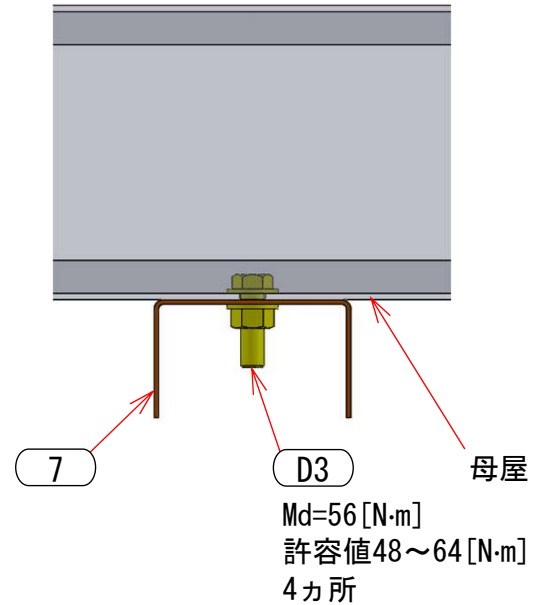
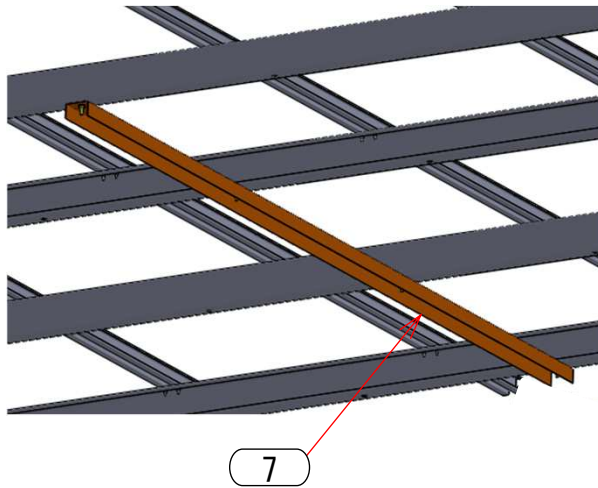
※1. 締め過ぎにご注意ください。

※2. 部材メッキ層に傷がついた場合には、次工程に移る前にローバル等により補修してください。

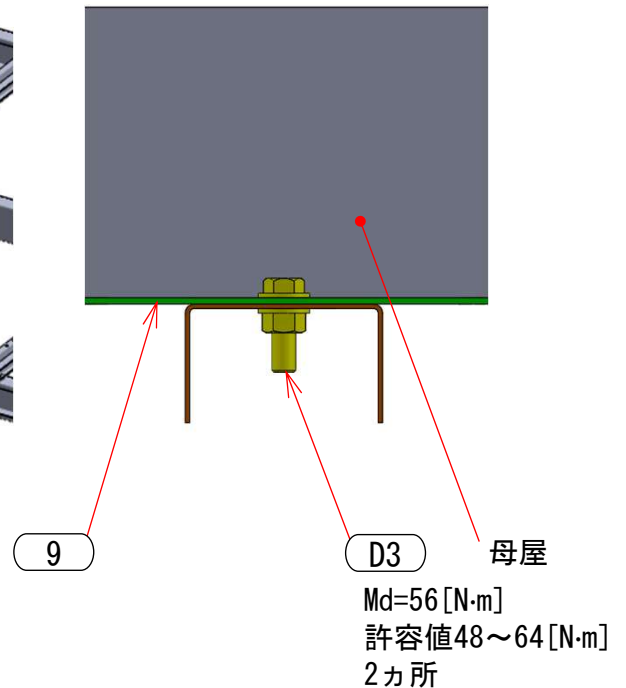
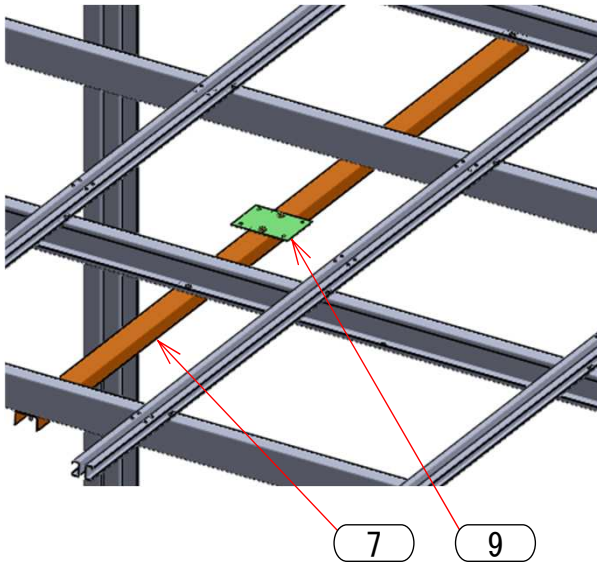
## 6. 屋根ブレースの取付け



- 1). 下図のように母屋に母屋繋ぎをD-Lockボルト (M12xL45) で取付けて、トルクMd=56 [N・m] (許容値48~64 [N・m]) ※1で締付けます。



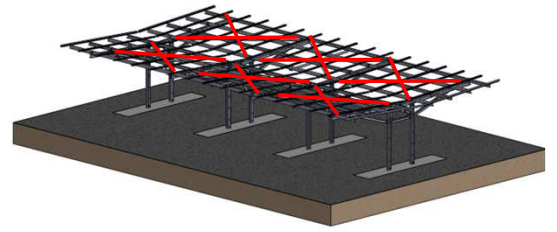
- 2). 母屋繋ぎに屋根面プレート (9) をD-Lockボルト (M12xL45) で取付けて、トルクMd=56 [N・m] (許容値48~64 [N・m]) ※1で締付けます。



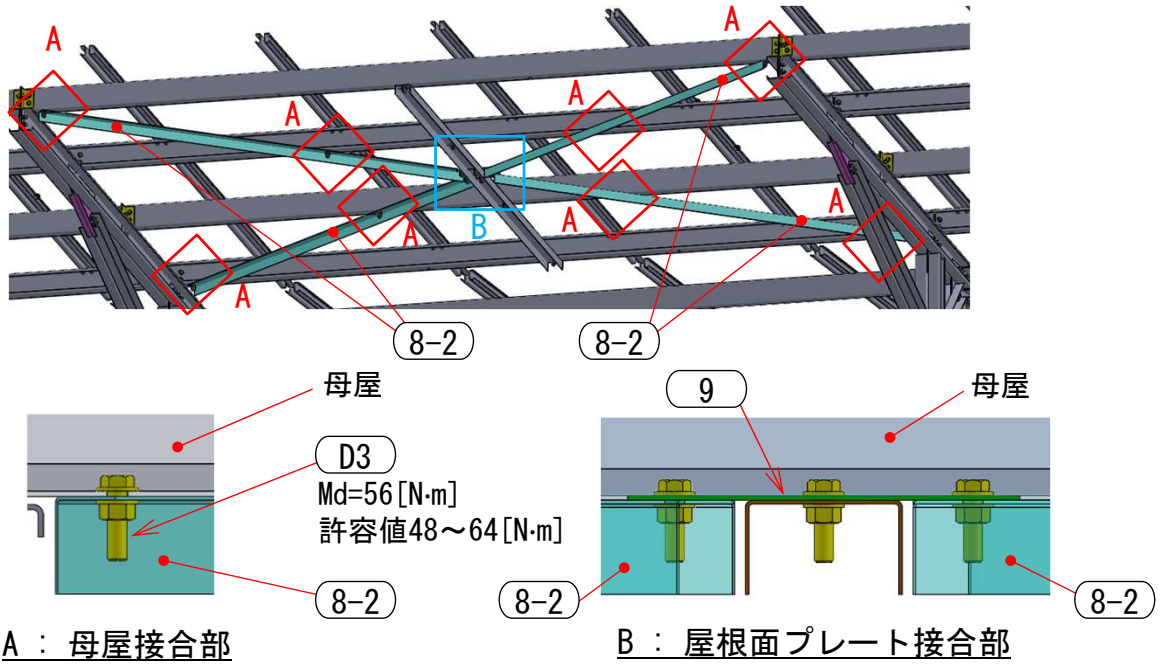
※1. 締め過ぎにご注意ください。

※2. 部材メッキ層に傷がついた場合には、次工程に移る前にローバル等により補修してください。

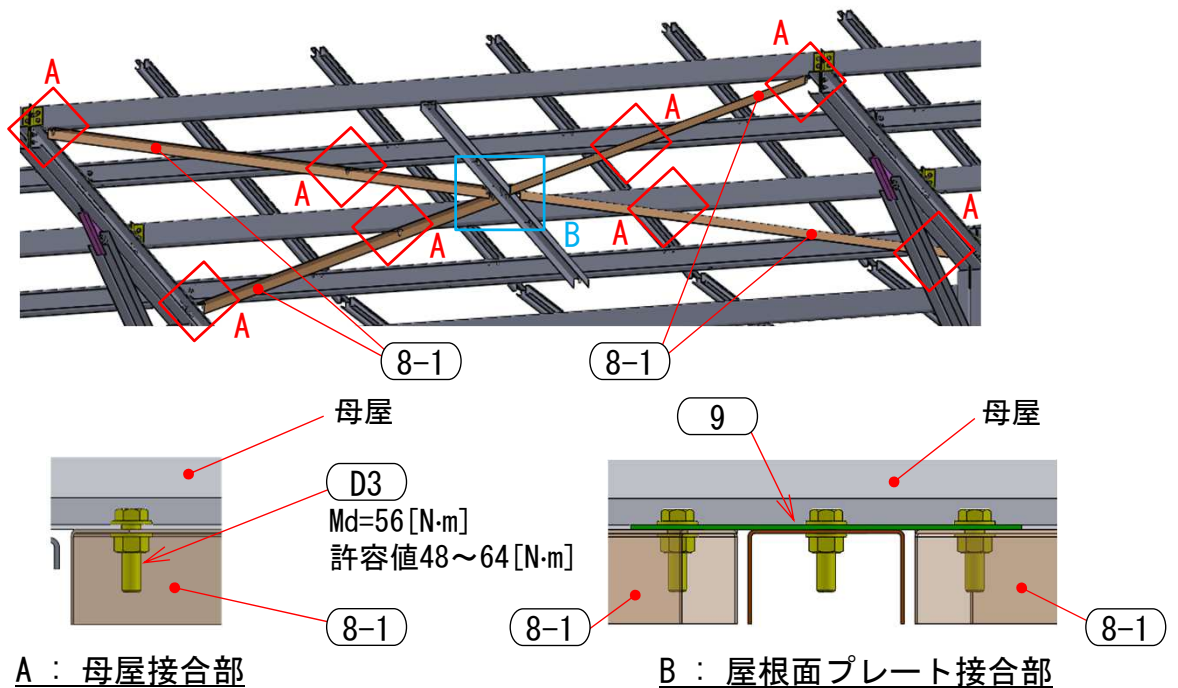




- 3). 下図のように、母屋と屋根面プレートを繋ぐように屋根ブレースをD-Lockボルト (M12xL45) で取付けて、トルクMd=56 [N・m] (許容値48~64 [N・m]) ※1で締付けます。



柱間ピッチ5000mm



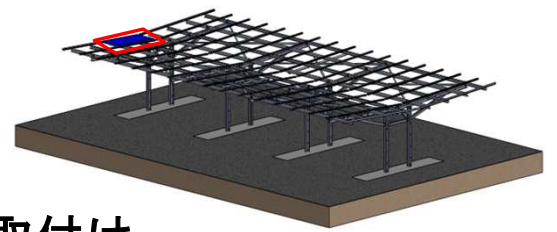
柱間ピッチ5200mm

※1. 締め過ぎにご注意ください。

※2. 部材メッキ層に傷がついた場合には、次工程に移る前にローバル等により補修してください。

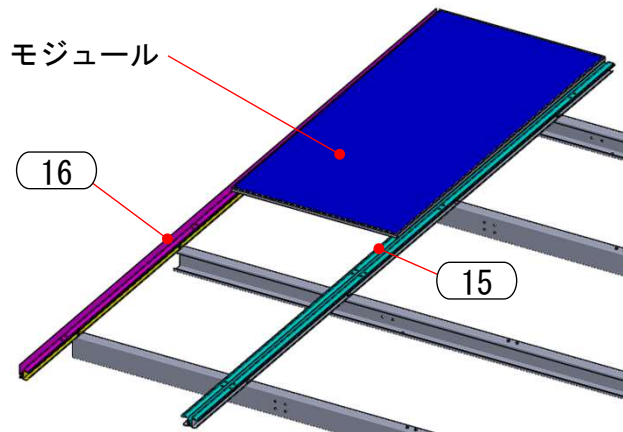


## 7. 太陽電池モジュールの取付け

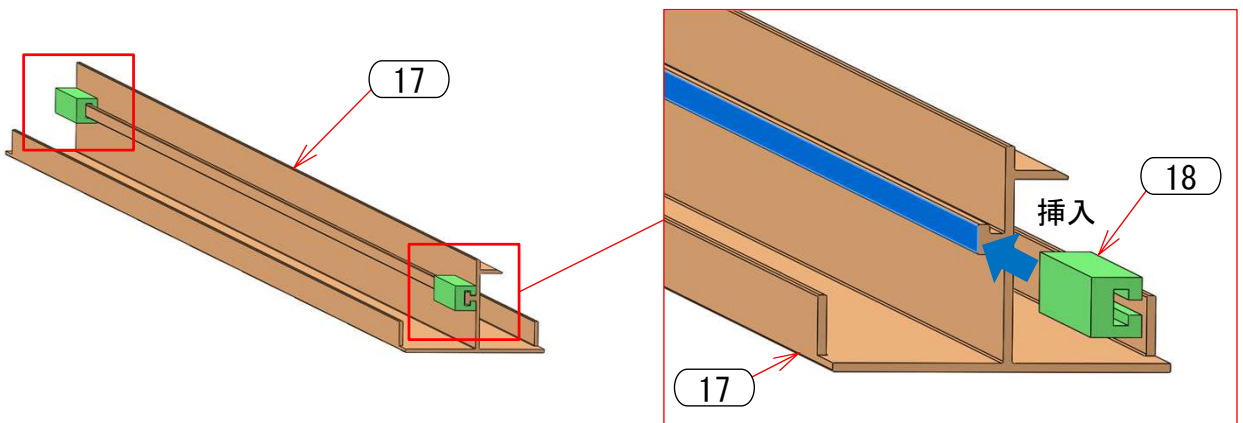


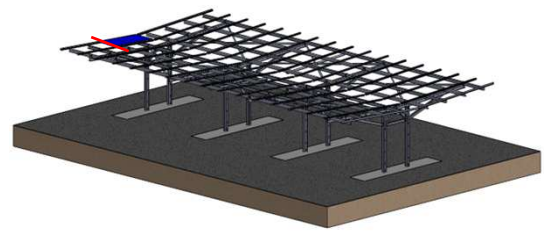
### 7-1. 1段目太陽電池モジュールの取付け

- 1). 取付けた垂木の上に隙間樋を仮置きし、隙間樋の上に太陽電池モジュール(以降「モジュール」)を仮置きします。  
※. アレイ端の垂木には端部樋30を使用します。

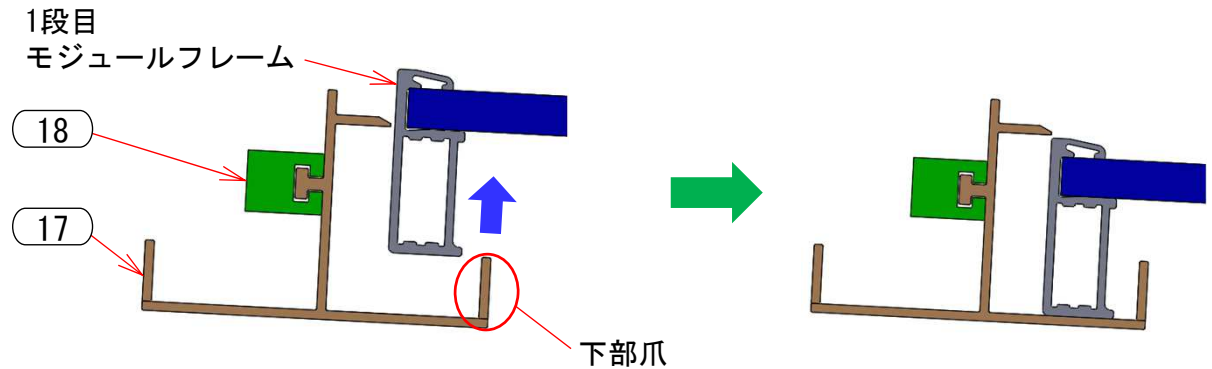


- 2). レインモールPB30(1134)(以降「レインモール」)の両端にスペーサーSを挿入します。

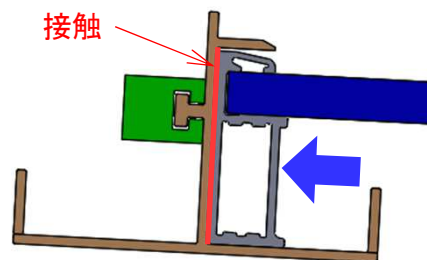




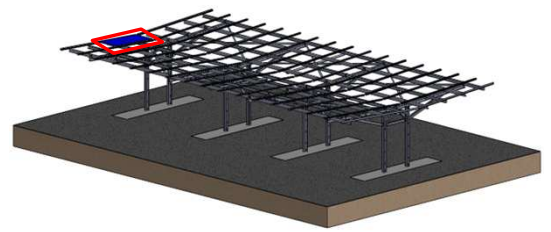
- 3). 1段目のモジュールを持ち上げて、下図の様にレインモールの下部爪にモジュールが被さる様に配置します。



- 4). レインモールがモジュールフレームに接触するまで、しっかりと寄せます。

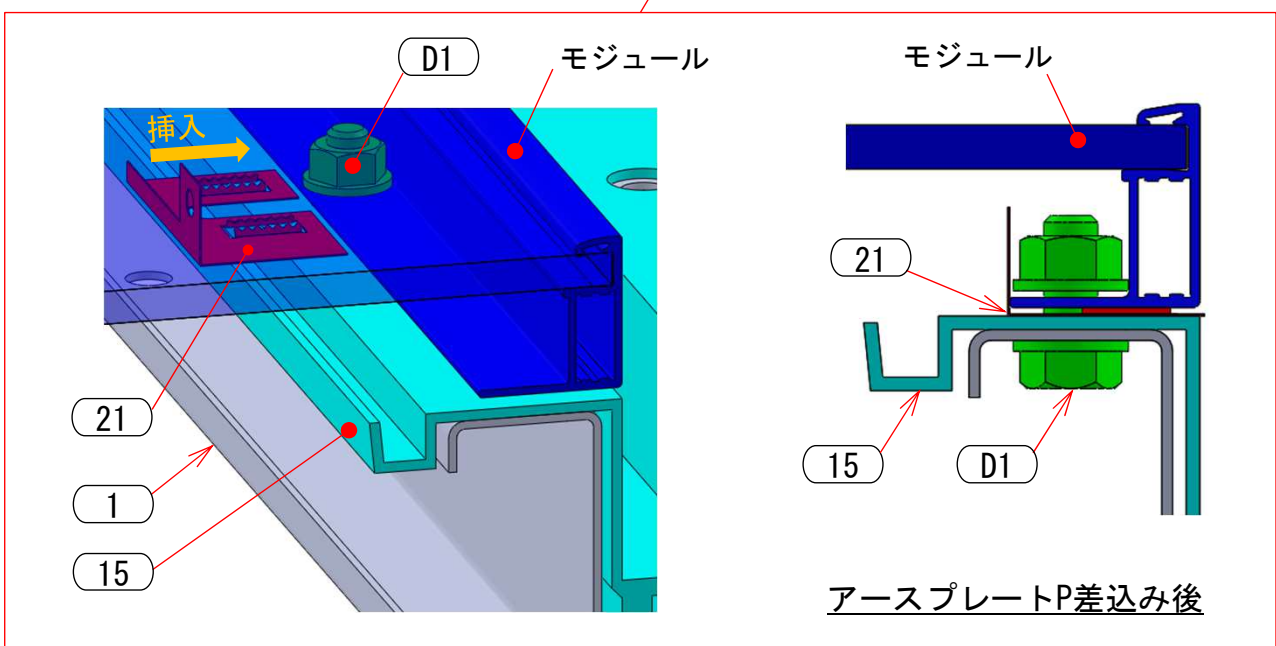
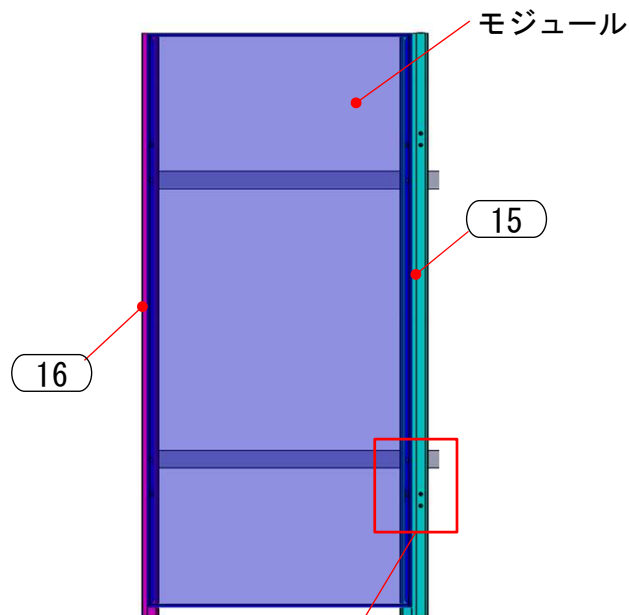


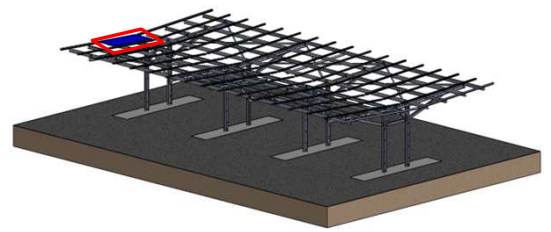
※. レインモールは実用的な防水性能を有していますが、雨量、地成り設置角度、風速が大きい場合また、積雪後の雪解け時に雨垂れが発生することがあり、完全防水とはなっておりません。



- 5). 下図のようにモジュールと隙間樋及び端部樋30を、垂木側からD-Lockボルト (M8xL20) を挿入して仮締めします。モジュールを押し上げて、モジュールフレームと隙間樋の間にアースプレートPを差込みます。

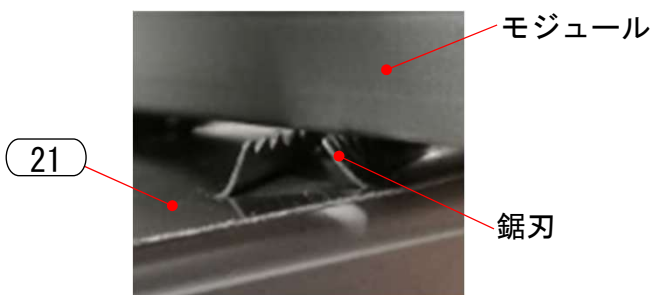
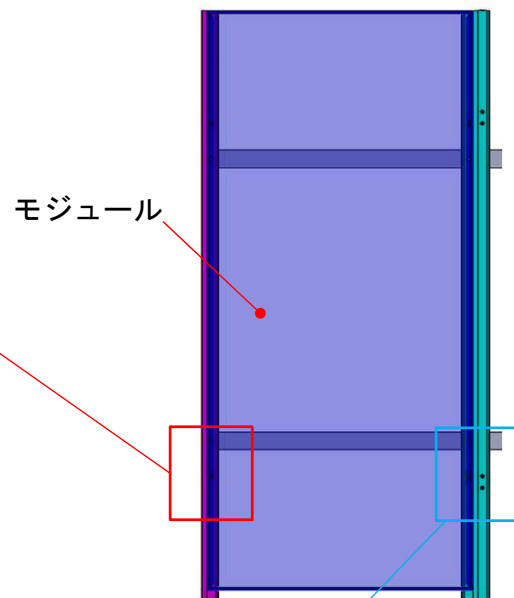
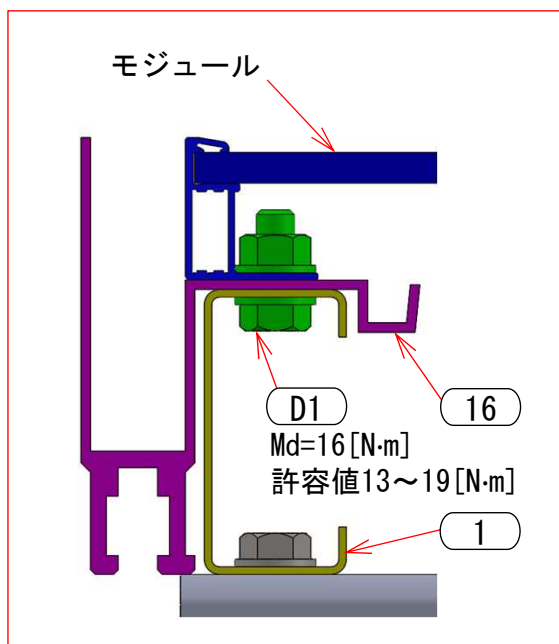
※. アースプレートPの取付け位置は、アレイ架台構造図を参照して下さい。



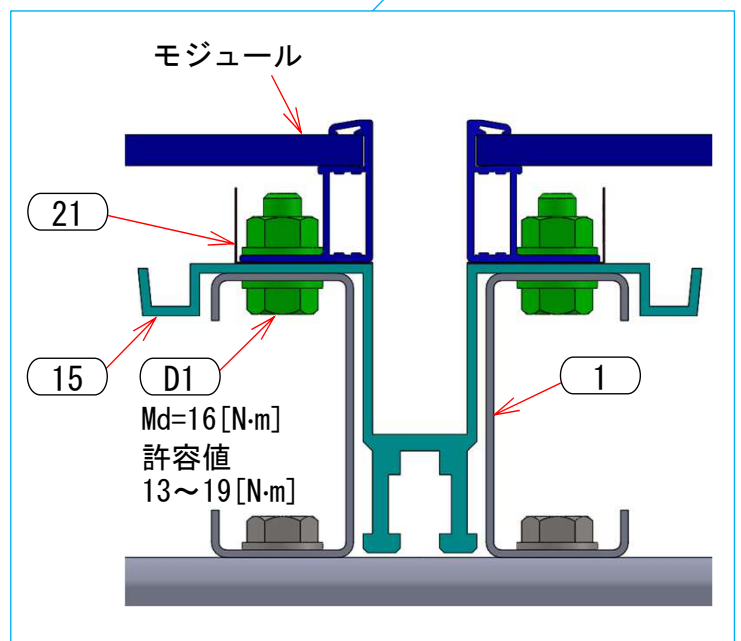


- 6). 仮締めしていたD-Lockボルト (M8xL20) をトルクMd=16 [N・m] (許容値13~19 [N・m])で締付けます。アースプレートPの鋸刃が倒れていない時は、既定トルクを上回っても鋸刃が倒れるまで、締付けてください。

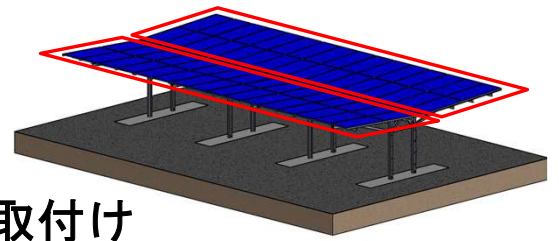
※. アースプレートで、モジュールのアルミフレーム表面のアルマイト層を、傷つけることによりモジュール同士を導通する構造となっています。ただし、一定の導通効果を保証するものではなく、アレイ全体としての接地についてはお客様自身で設計願います。



※. 規定トルクを上回っても鋸刃が倒れるまで、締付けて下さい

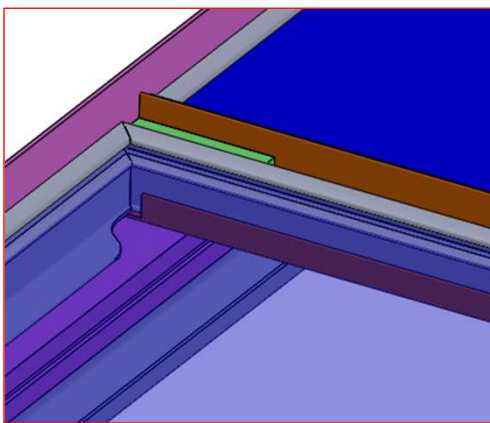
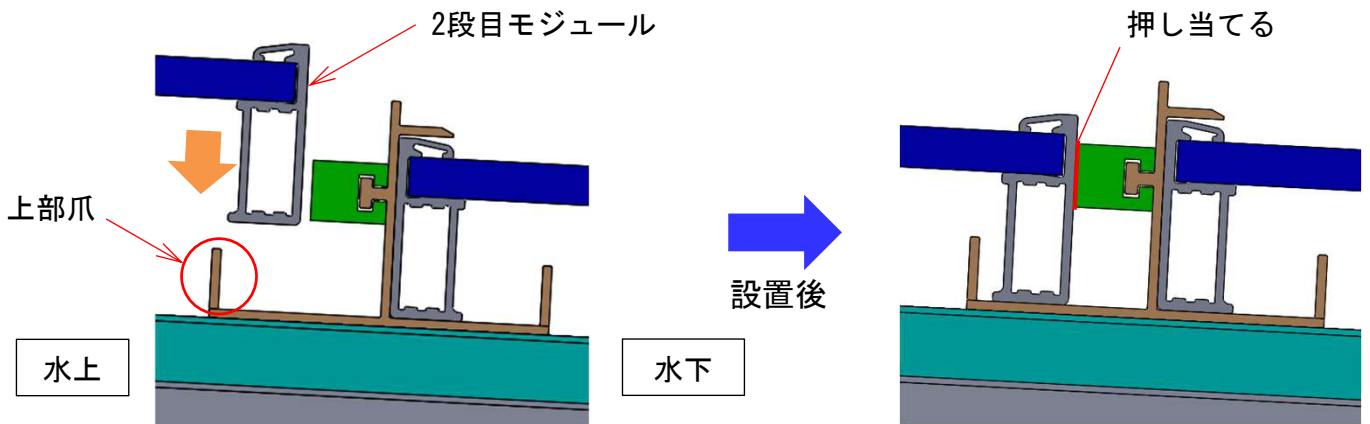


※. 締め過ぎにご注意ください。

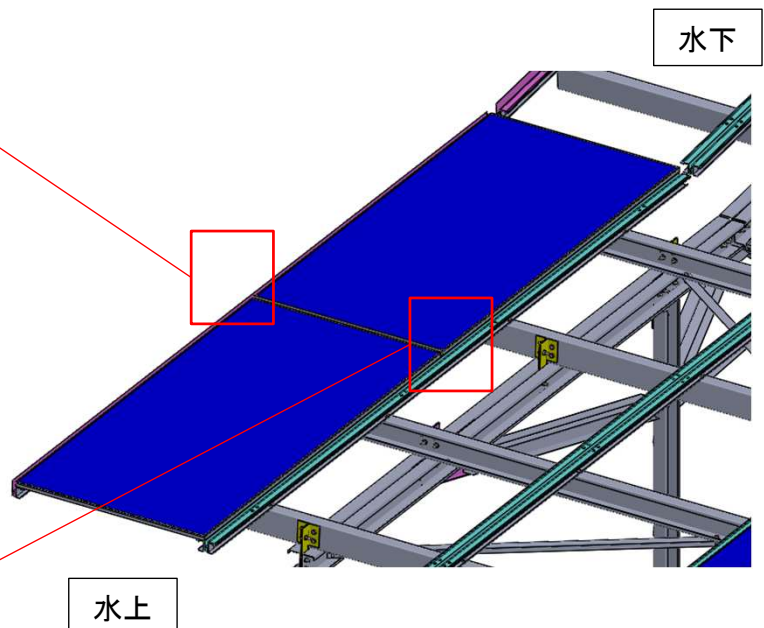
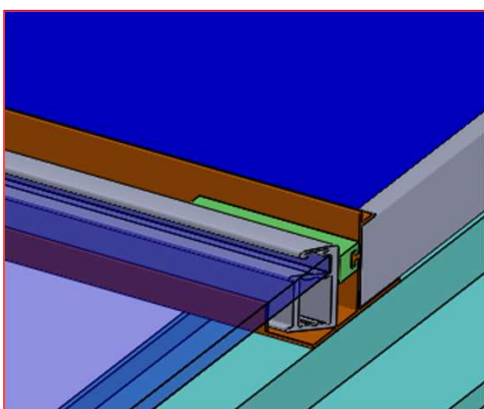


## 7-2. 2段目太陽電池モジュールの取付け

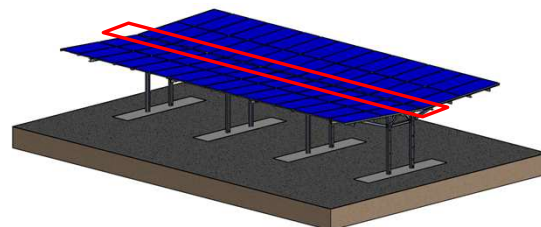
- 1). 下図のようにレインモールの上部爪に、2段目のモジュールフレームが被さるように配置します。
- 2). モジュールフレームがスペーサーSに接触するまで、1段目側に寄せます。



両端のスペーサーSに  
モジュールが接していること

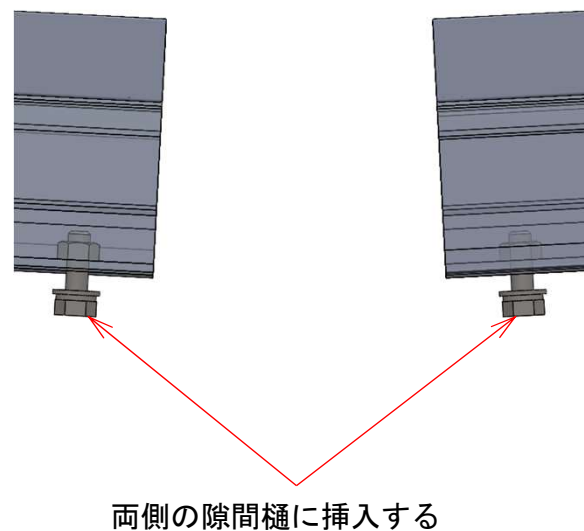
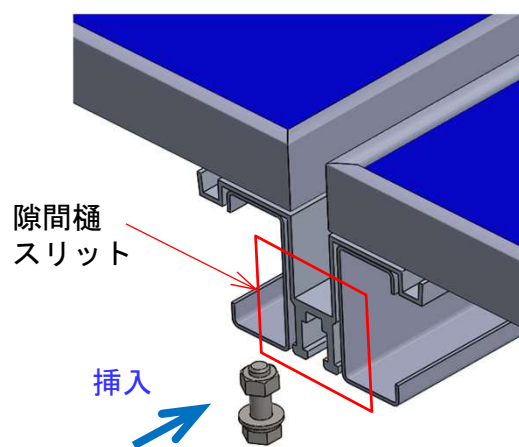
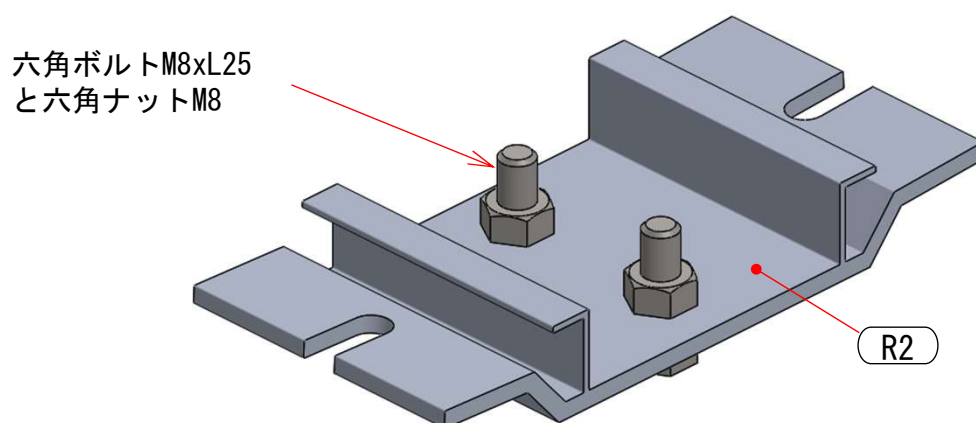


## 8. 雨樋取付金具の取付け

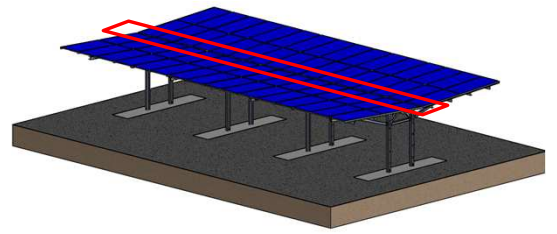


### 8-1. 減勢アングルの分解

減勢アングルDプリアセンブル(以降「減勢アングル」)構成品の六角ボルトM8xL25と六角ナットM8(2ヵ所)を外して、図のように、隙間樋または端部樋30のスリット部に六角ナットを挿入し、仮固定します。

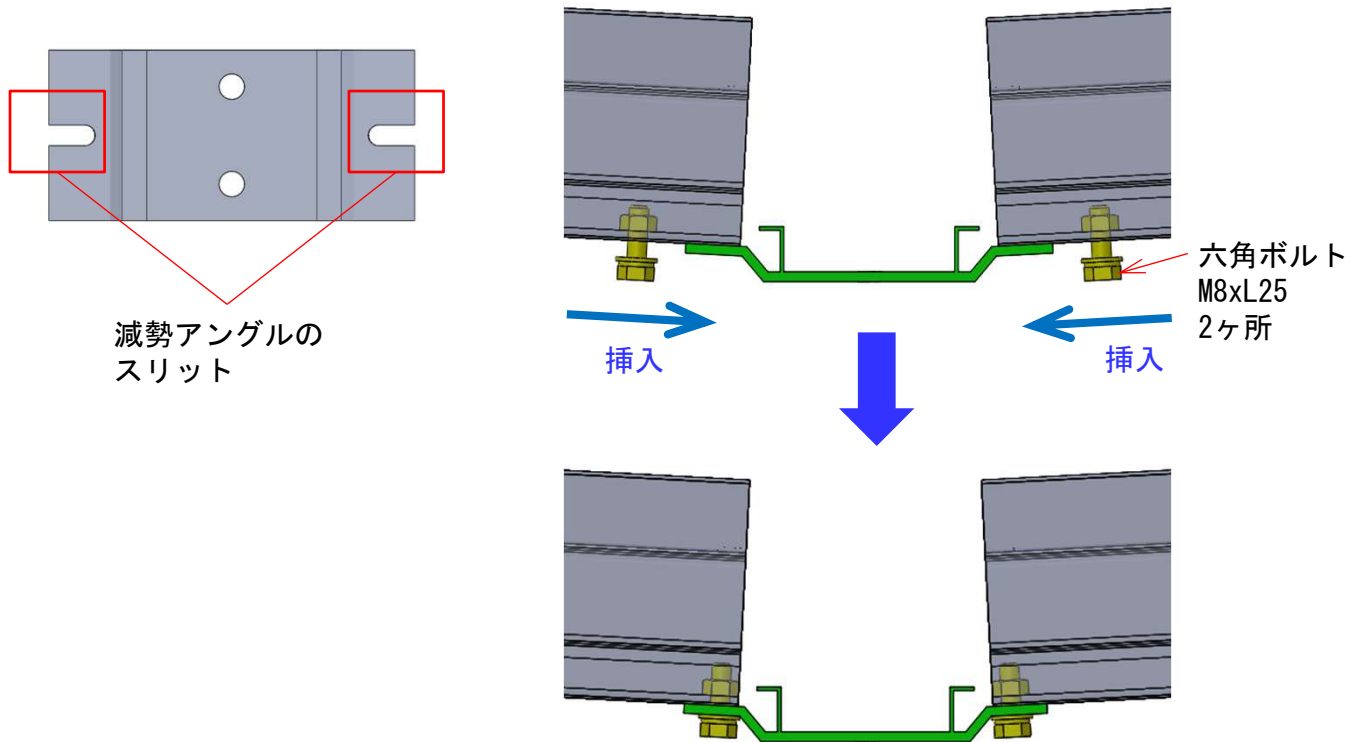




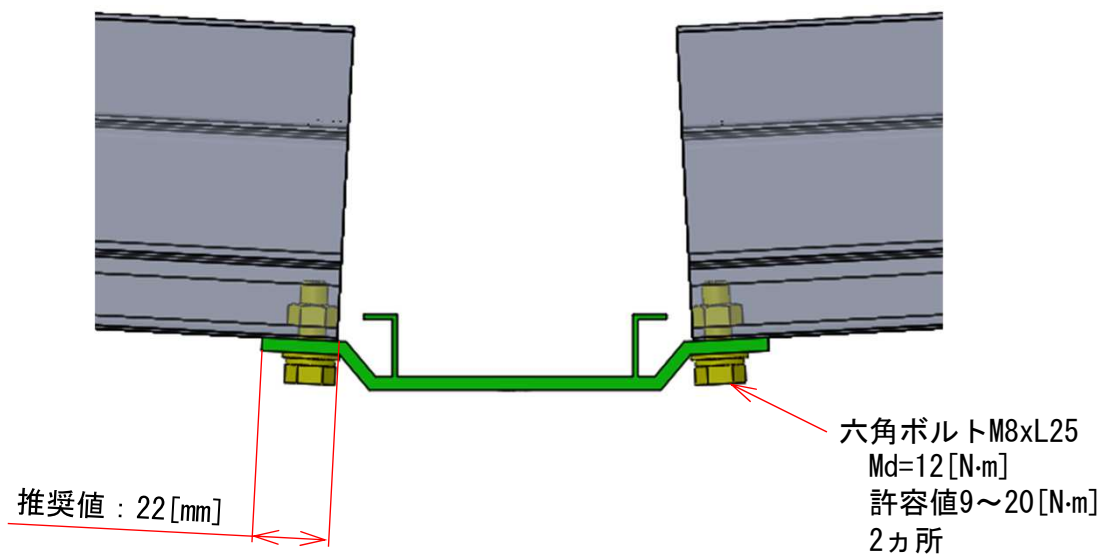


## 8-2. 減勢アングルの取付け

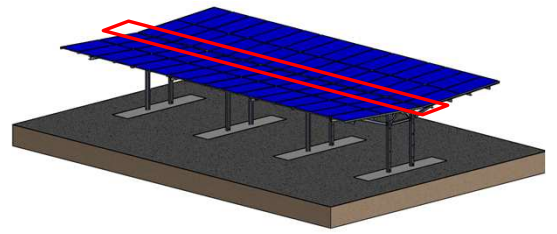
- 1). 減勢アングルのスリットに隙間樋に挿入した六角ボルトの頭部を挿入し、動かない程度に仮固定します。



- 2). 減勢アングルを下図推奨位置に合わせた後、六角ボルトM8xL25 (2ヶ所) をトルクMd=12 [N・m] (許容値9~20 [N・m]) で締付け固定します。

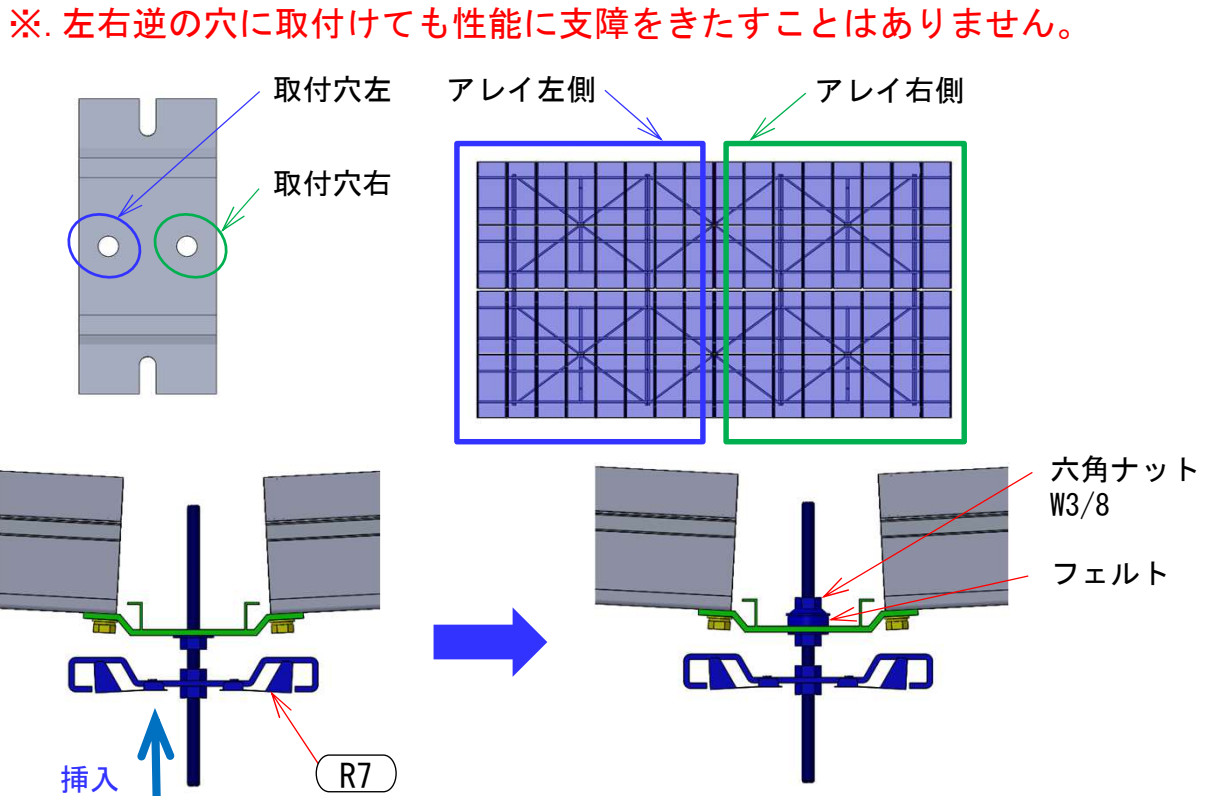


※. 締め過ぎにご注意ください

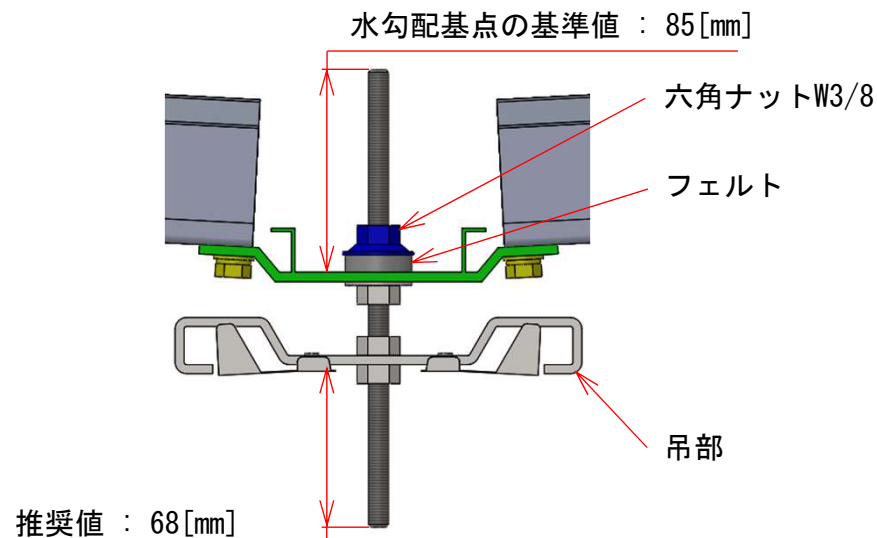


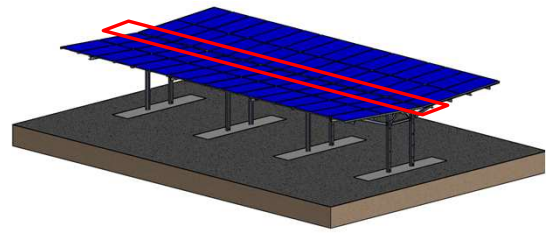
### 8-3. 横樋吊具の取付け

- 1). AKセツパンツリ 88(以降「横樋吊具」)の六角ナットW3/8、フェルトを取外し、下図のように減勢アンクルに仮止めします。使用する減勢アンクルの取付穴※は、アレイ中心より右側は取付穴右、左側は取付穴左を使用してください。



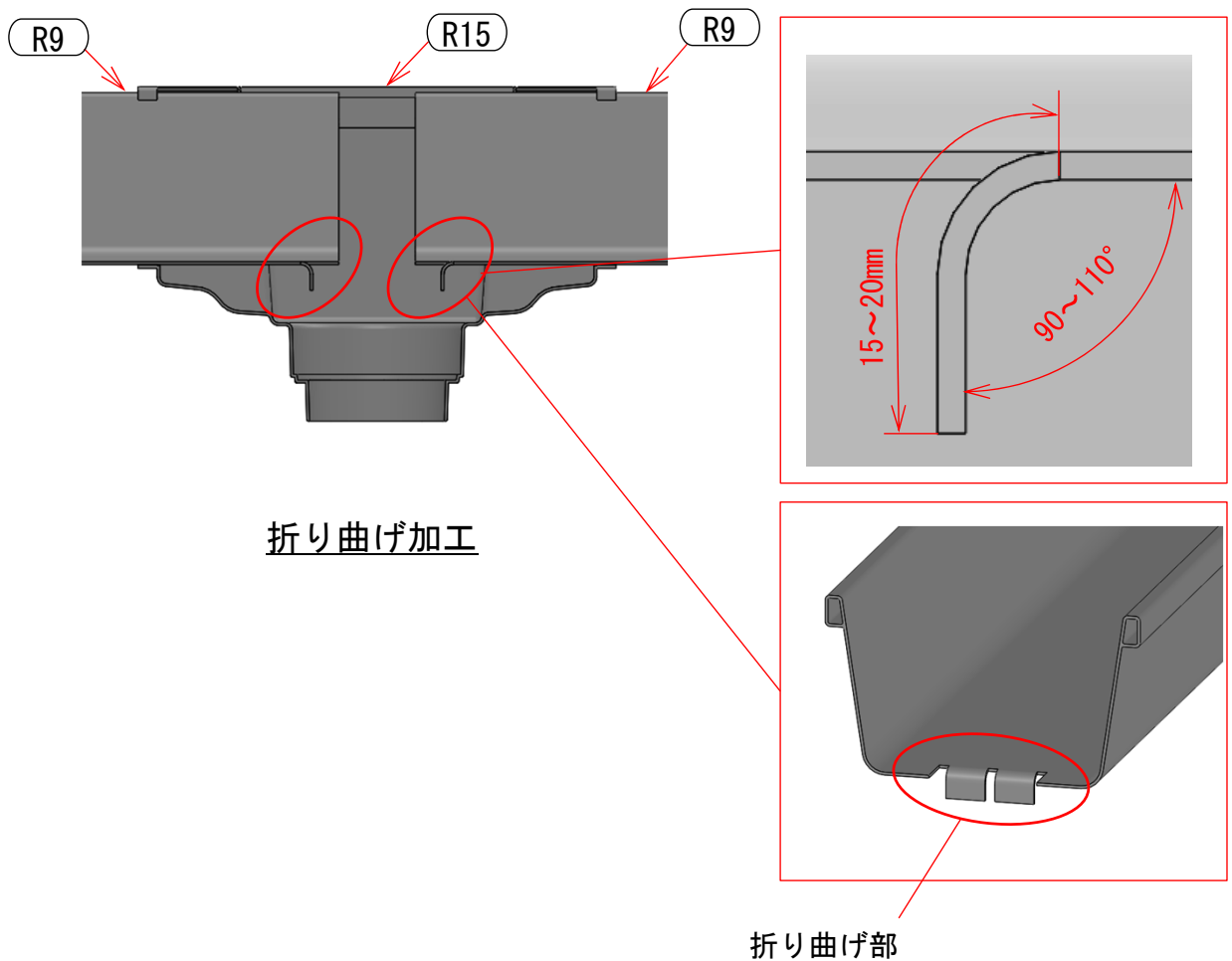
- 2). 吊部から下側へのボルトの突出量を推奨値に合わせた後、下図をアレイ水勾配基点の基準として、横樋吊具を減勢アンクルに六角ナットW3/8で仮止めします。横樋の勾配に合わせて、六角ナットW3/8から上側へのボルトの突出量を調整しつつ、フェルトが少し沈み込む程度まで六角ナットW3/8を締付けます。



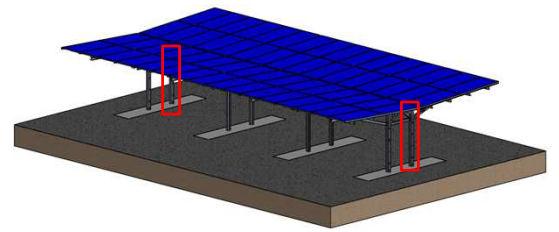


## 8-4. 横樋の取付け

- 1). セツパントイ(以降「横樋」)の切断寸法や横樋取付け位置寸法、勾配についてはアレイ構造図をご参照ください。  
雨樋部材の切断及び接着剤の使用箇所等については、タキロンシーアイ社による下記をご参照ください。  
「雨どい総合カタログ 2024.08、P86以降の[施工について]」
- 2). 横樋とAセツハンジヨゴ(以降「漏斗」)を接続する際は、横樋脱落防止の為に、横樋に折り曲げ加工※を施してください。

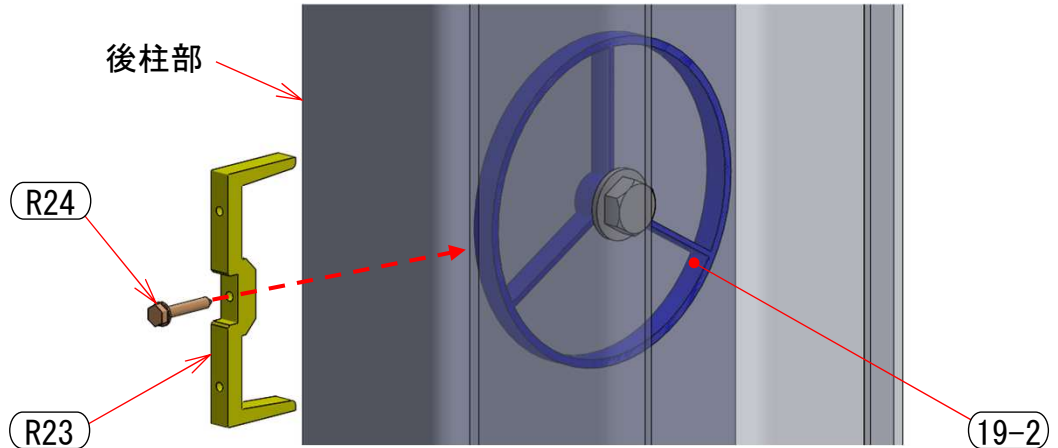


※. 折り曲げ加工は、横樋端部の底面に約20mm間隔で3ヶ所に15~20mmハサミ等で切り込みを入れて、下方へ90~110° 折り曲げてください。

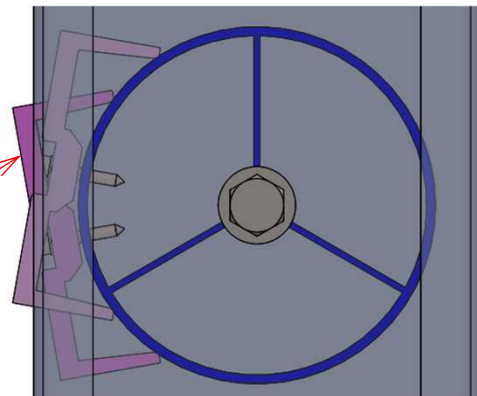


## 8-5. 縦樋取付金具の取付け

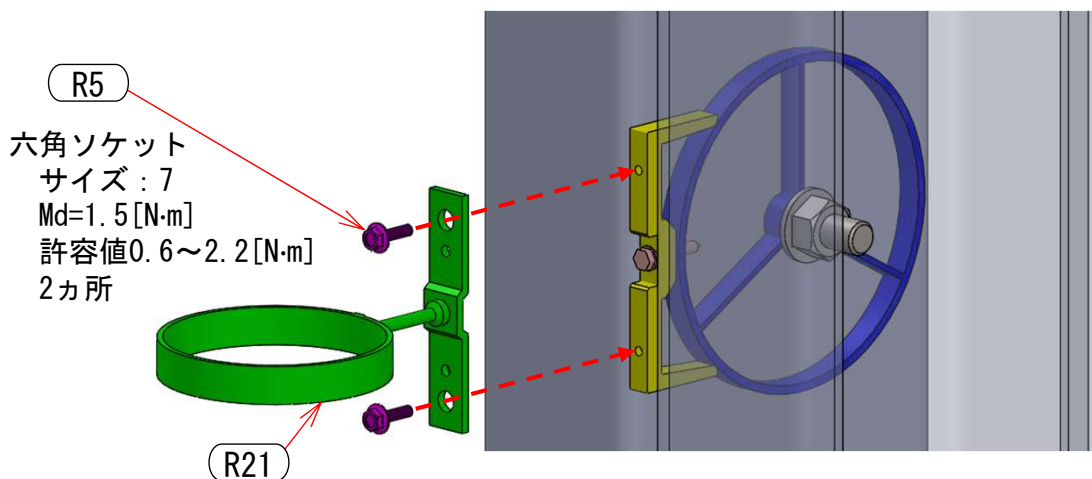
- 1). 縦樋取付金具S2を縦樋取付箇所の子スペースBに水下側から、タッピングビスST4. 2xL25を用いて下図のように取付けます。



縦樋取付金具Sの傾きに注意して下さい。  
柱スペースBを固定しているD-Lockボルトを  
緩めることで傾き調整が可能です。

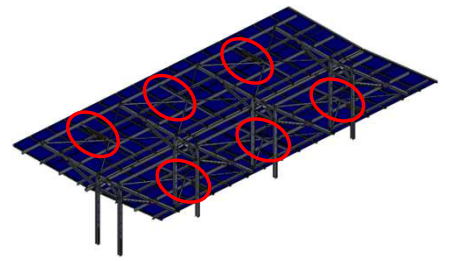


- 2). 縦樋控具φ75と縦樋取付金具S2を六角ソケットサイズ:7六角フランジボルトM4xL15(セレーション無)を2個用いて、締付トルクMd=1.5[N・m](許容値0.6~2.2[N・m])で固定します。



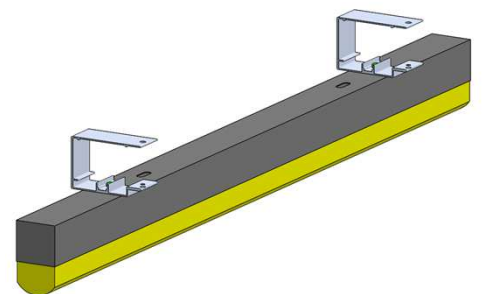
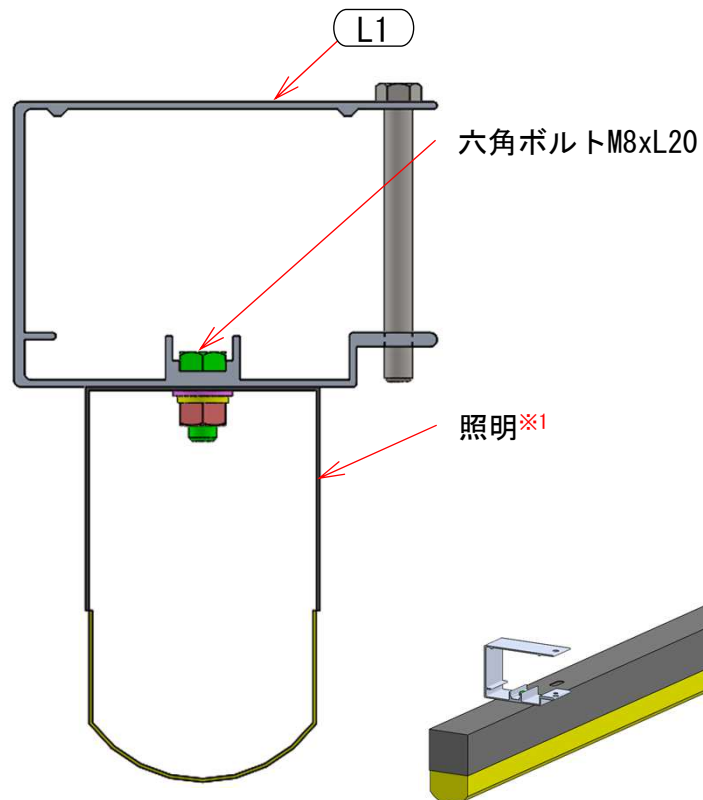
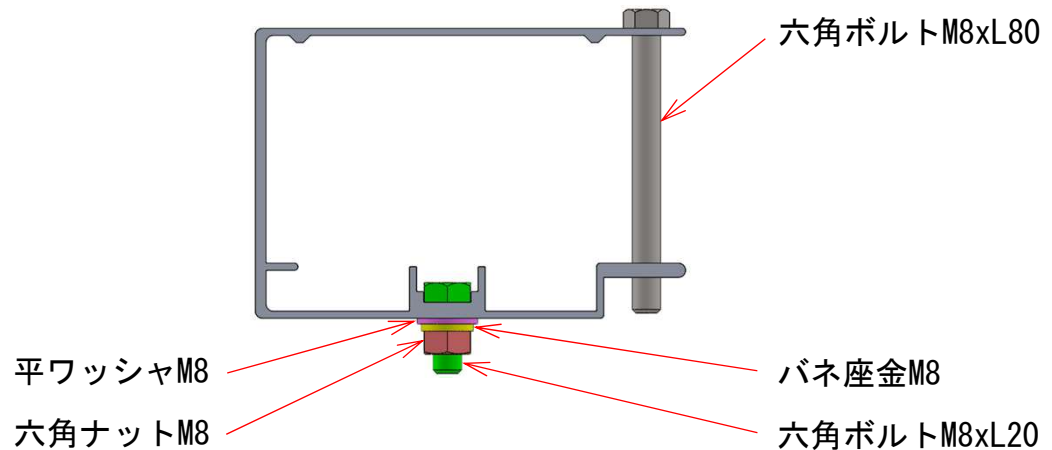
※. 締め過ぎにご注意ください

## 9. 照明取付金具の取付け



### 9-1. 照明の仮固定

照明取付金具S2プリアセンブル(以降「照明取付金具」)  
構成品を使用し、下記のように照明を仮固定します。

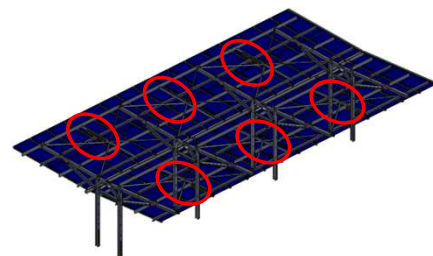


照明仮固定イメージ

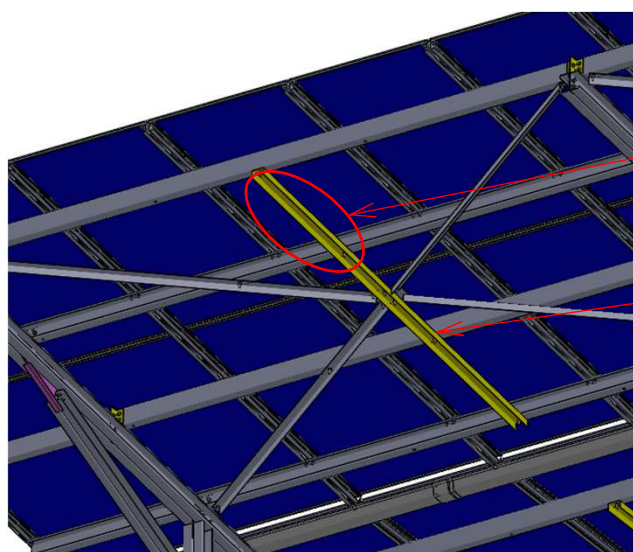
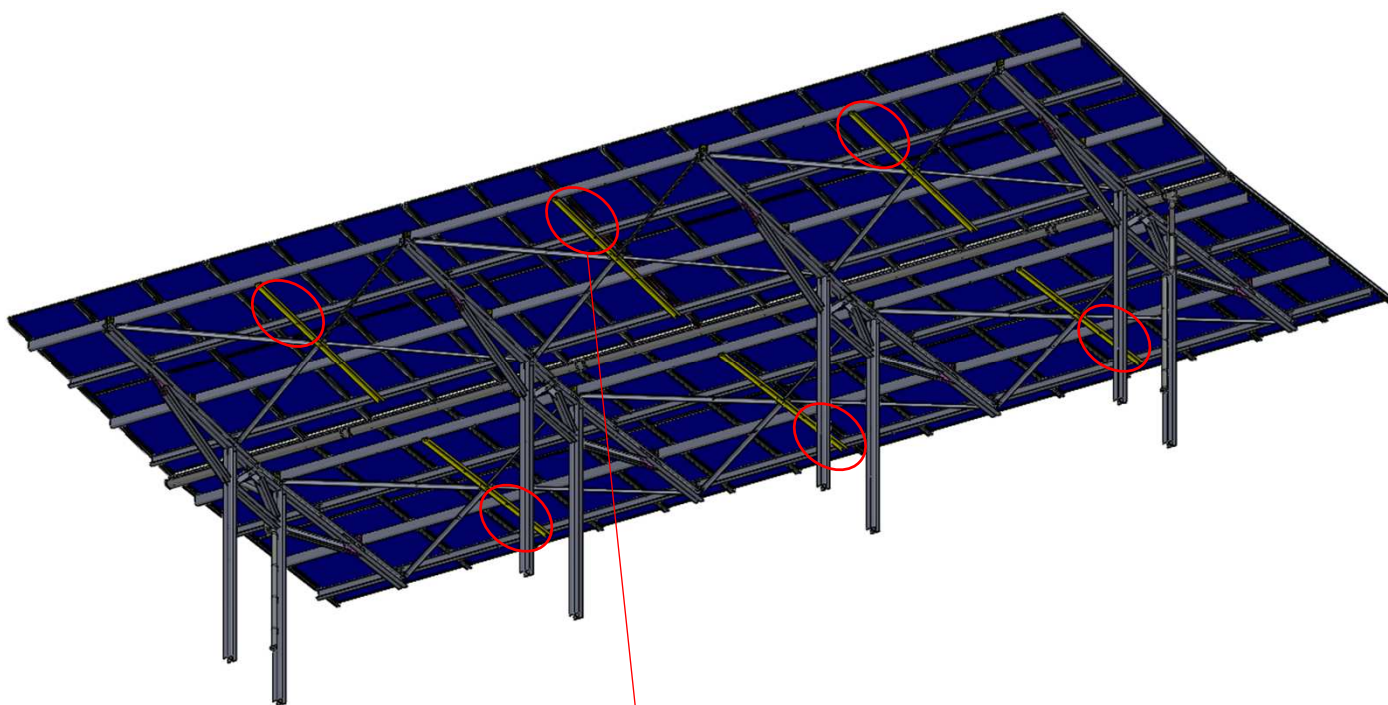
- ※1. 照明は屋外用品を使用し、照明の取扱説明書に従い施工して下さい。
- ※2. ボルトには、ねじゆるみ止め用接着剤の塗布を推奨します。



## 9-2. 照明取付け推奨位置



照明取付け位置は、母屋繋ぎの前方～後方までの任意の位置をお選び頂けますが、下図のように母屋繋ぎの中央から前方寄りの母屋直下付近を推奨します。照明を前方寄りに取付けることで、運転席、車両前方の通行路、柱を効率よく照らすことができます。

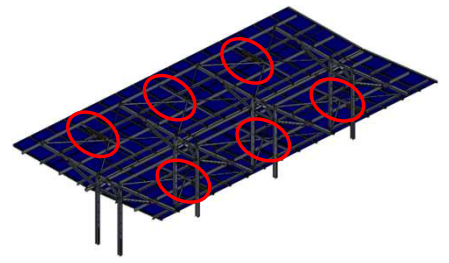


母屋繋ぎの中央から前方寄りを推奨します。

7

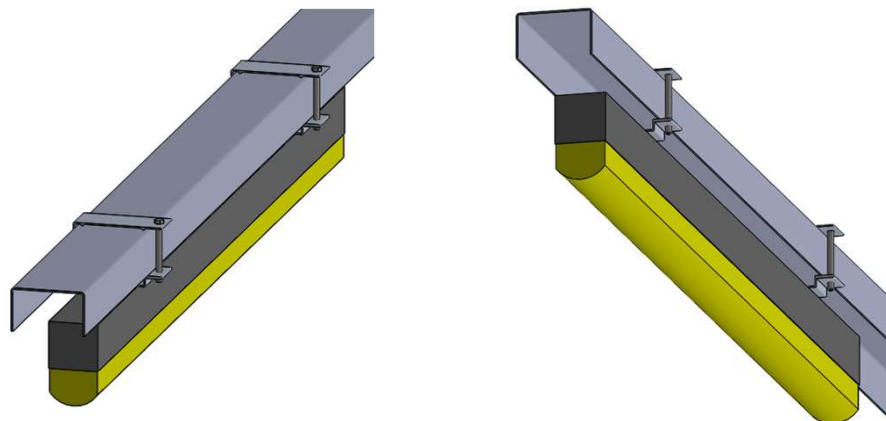
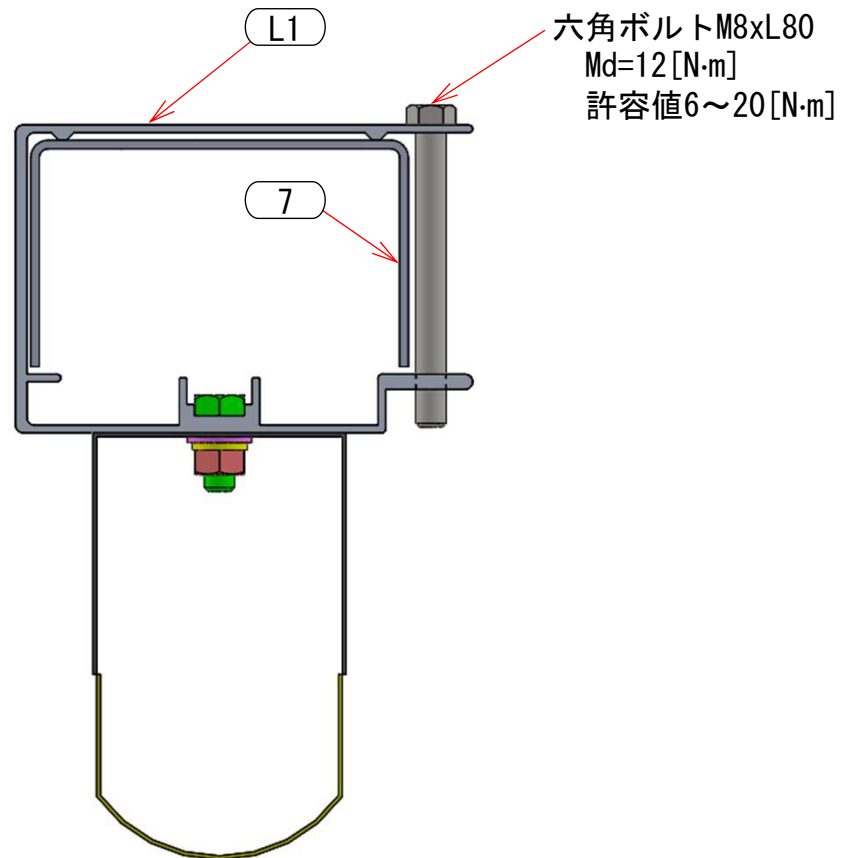
照明取付け推奨位置





### 9-3. 照明の取付け

照明取付金具の六角ボルトM8xL80を取外します。  
照明取付金具を下図のように母屋繫ぎに設置した後、  
取外した六角ボルトM8xL80を使用して、  
トルクMd=12[N・m] (許容値6~20[N・m])で締付けます。

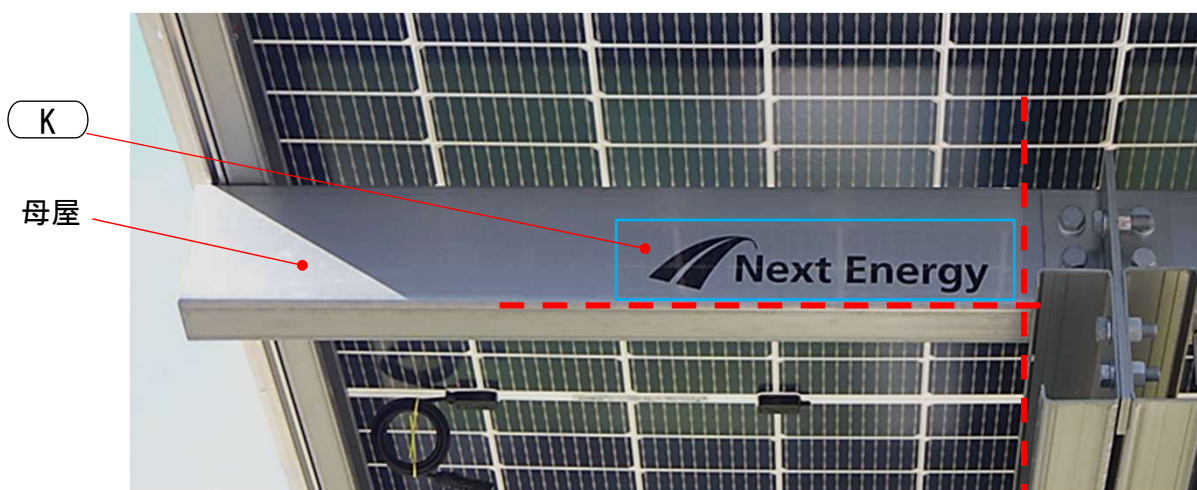
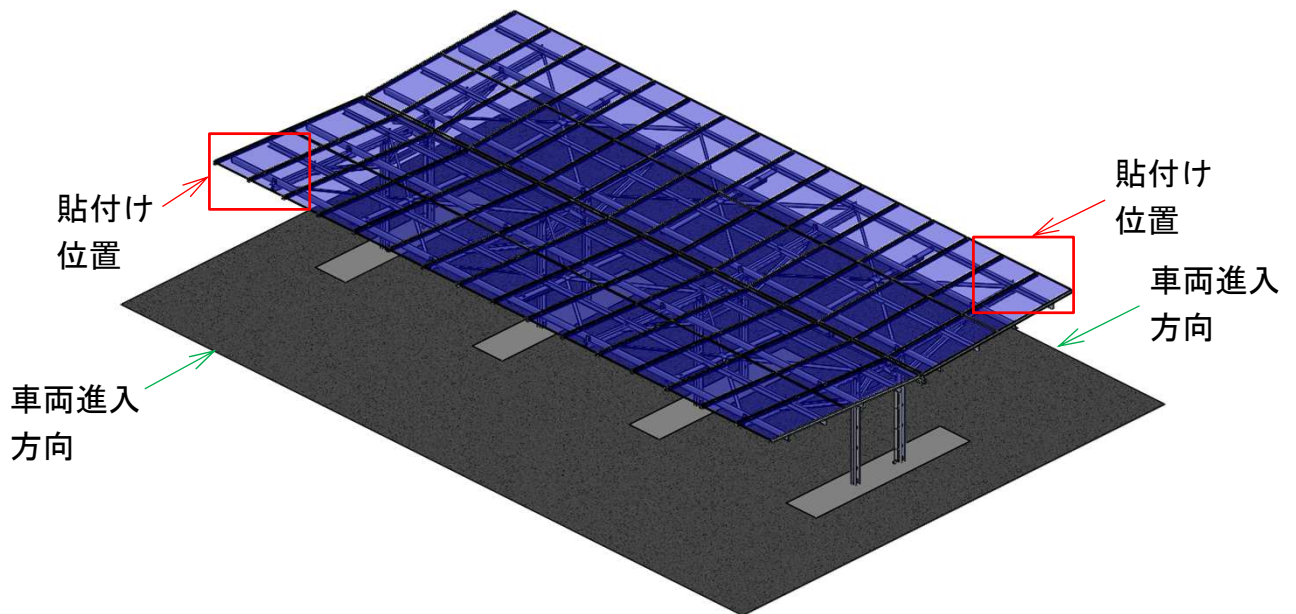


照明取付けイメージ

※. 締め過ぎにご注意ください

## 10. カーポート用ラベルシールの貼付け

- 1). 下図貼付け推奨位置の母屋正面側を清掃して、ゴミや埃、油分を除去します。  
※. 配線等の関係でラベルシールが見えにくくなる場合は、貼付け位置を変更しても可とします。
- 2). カーポート用ラベルシールの右端を登り梁の延長線上に、下端を母屋の下端に合わせて、カーポート用ラベルシールの保護フィルムを端からゆっくり剥がし、ずれないように軽く指で押えながら、気泡やしわが入らないように貼付けます。



貼付け推奨位置